

社会環境が結婚・出産・育児に及ぼす影響に関する研究

分担研究者：高野 陽¹⁾

研究協力者：庄司順一¹⁾・宮原 忍¹⁾・加藤忠明¹⁾・水野清子¹⁾・小山 修¹⁾

千賀悠子¹⁾・齋藤幸子¹⁾・斉藤 進¹⁾・川井 尚¹⁾

要 旨：

我が国の少子化は大きな社会問題となっている。少子化の原因の究明に当たり、社会環境が結婚・出産・育児に及ぼす影響について検討した。研究は、①全国の既婚・未婚の20代から30代の男女合計7,078人を対象としたアンケート調査、②小児保健・児童福祉等の分野での指導的立場の人材からの少子化に関する意見聴取調査、③3歳児神話などの我が国の伝統的な育児に関する文献的検討、の3方法によって実施した。その総括的な結果としては、わが国の伝統的結婚観や育児観のもとに、個人の自由を大切に束縛されたくないという気持が底辺にあって、結婚や育児を躊躇させる要因となっている。そのうえに、経済的理由が今日の若者の晩婚や非婚の原因となっていることも確認された。さらに、出産に障害を及ぼす要因に関しても、経済面や仕事と育児の困難性をもたらしている今日の諸制度の不備な状態をあげることができる。また、少子対策に関しても地域特性を十分に配慮した子育ての経済的支援、保育体制の整備等が必要であることも確認された。

見出し語： 少子 結婚 出産 育児 エンゼルプラン

I. 研究目的

我が国では、1994年に一時的な増加を認めたものの、その後も出生数は減少をみせており、少子化は継続している。20世紀の出生率で、最も高率を呈した年次に比して1996年

には、その約1/4にまで低下した。その少子化による労働力、介護力などの減少などは大きな社会的問題として取り上げられるようになっている。その対策についても、多角的に考える必要がある。すなわち、子どもを増

¹⁾ 日本子ども家庭総合研究所

やす方向に作用すると考えられる対策、少子社会を認めたくえでいかに望ましい子育てを実践できるように対応すべきかという対策もあろう。

少子化は、社会的観点や経済的視点に立てば、労働力や年金対策の面から重大な問題としても無視できぬことはこれまでも多くの識者の指摘しているところである。少子化は、経済面に及ぼすだけに留まらない。特に、次世代を担う子どもそのもの、いうなれば、少子化の当事者ともいえる子ども自身に及ぼす影響も非常に重要な問題である。すなわち、子どもの健全な発育発達や健康状態にも少子化による重要な影響が及んでいる。今日発生している子どもの心身の問題、母親や家族・大人の子どもに対する養育上の問題のなかには、この少子現象が誘因と思われる事態がみられるともいわれている。例えば、いわゆる一人っ子については、古くから問題がある存在として報告されてきた。しかし、今日のように、少子時代では一人っ子が当然のこととなった場合、古くからいわれていた問題が依然として存在しているのか、旧来からの育児観が、そのままの形で、今日の育児に通用されるべきなのかという問題も十分に検討される必要もあろう。

一方、少子化は、単に一つの家庭の育児に影響する現象だけではなく、地域内の子育てに影響を与える現象としても認識されなければならない問題でもある。少子化は、地域の子ども人口の減少や子ども人口の偏在化を招いているだけではなく、子どもを育てる人口、換言すれば、育児仲間が減少し、偏在化していることにもなる。それが、育児不安の要因の一つにもなっていることも否定できない。

このように多くの問題が指摘されている少子化のもたらす事象については、この期に子

どもに与える影響を多角的な検討が行われることが必要であろう。特に、子どもの発育発達状態に応じた生活の質（QOL）の向上を図ることを目的とする小児保健学的視点での検討は重要な意義をもつものといわねばならない。

と同時に、少子化をもたらした原因についても多方面からの解析を行うことが、今後の少子対策の確立にも必要なことと考えられる。少子化の原因については、過去の研究や人口問題審議会の指摘にあるように、①結婚をめぐる意識の変化、②出産・育児に及ぼす障害、③個人にとっての子どものもつ意味の変化、が挙げられる。それらには、従来からの性役割、性別による分業意識、親の扶養等の経済的負担、結婚による生活水準の低下に対する不安、育児に対する不安、仕事と家事や育児の両立の困難さ、エンゼルプランをはじめとする子育て支援対策面の効果の少なさ、子育てに対する経済的負担の増大、などが指摘されている。

しかし、個人としての男女の心身の状態や生活実態に伴う要因については、必ずしも明確になっていない。特に、今日の学歴偏重の風潮が、年少時からの塾通いや稽古事通いに代表される余裕のない生活を送るなど、子どもに対しては、幼い時期から心身の過度の緊張を課しているという現状がある。さらに、家庭や職場においては、対人関係、家事や仕事の繁雑さを強く感じていることも多い。そして家庭でも職場でも、各種の機械器具等が利用されて、生活面の利便さは確保できたものの、その反面、心身の健康面への良くない影響も指摘されている。

こうした見地から、年少期からの生活や家族関係、受験や就労に伴うストレス、テレビやOA機器の導入に伴う家庭や職場での育児、

就労状況や日常生活の心身面への負担、また、従来の我が国の伝統的な育児の方法や考え方等の社会環境が、結婚・出産・育児に対する影響について明らかにする必要があると思われる。特に、社会環境要因と少子化との関係を整理し、少子化の要因の分析を行うことも必要と考えられる。そこで、以下に述べる研究を実施した。社会環境の内容が多岐にわたることが予測されるので、多分野からの専門的な分析を導入することによって、より広範な要因の究明を可能にするように配慮した。すなわち、社会環境の結婚・出産・育児に及ぼす影響について、医学的・保健学的・心理学的・社会学的視点からの多角的な検討を行い、我が国の少子対策の確立にとって有効な方向性を提示することを目的とした。本研究では、政策面の対策の策定に留まらず、個人の生活において有効な対応策が提示できることも目的に加えた。

II. 研究方法

1. 社会環境が結婚・出産・育児及ぼす影響に関するアンケート調査による分析

全国の20代から30代の男女(約12,300人)を対象とし、離家年齢との関連で家庭環境と家族関係、生活環境や生活状況、子ども

観・結婚観・育児観、エンゼルプランなどの施策に対する意見などについて、アンケート調査を実施した。これらを性別、既婚未婚別、子どもの有無別、合計特殊出生率の高低による地域別などで検討した。調査は、企業、大学・短大・市町村を通じて調査票を配布し、日本子ども家庭総合研究所で回収(回収率63%)し、離婚者と記載の不備を除外した7,078件を分析対象とした。調査時期は1997年11~12月であった。

2. 少子に関する専門家の考え・意見の分析(以下、有識者調査という)

小児保健・学校保健・児童福祉・育児学領域の学会の評議員・理事など(804人)に対する少子に関する要因や対策に関するアンケート調査を実施した(回収率44%)。調査時期は1998年1~2月であった。

3. 我が国の伝統的育児に関する妥当性に関する検討

我が国でいわれている「3歳児神話」の妥当性に関して、母子保健学、心理学的視点で、主として文献などで検討を行った。

III. 結果及び考察

III-1. 社会環境が結婚・出産・育児に及ぼす影響に関するアンケート調査による分析

1. 属性

1) サンプル数

男性 2575 人 (36.4%)、女性 4503 人 (63.6%) で、男女比はおよそ 1:2 となつて

いた(表1, 2)。

本報告では過去に結婚していたことがあっても離別者・死別者は集計対象から除外したので、既婚とは「現在結婚している人」、未婚

は「一度も結婚したことがない人」を示す。なお、結婚の定義は、法律婚・事実婚など特に規定せず、回答者の判断に任せた。

現在結婚している人は 2973 人 (42.0%)、未婚者は 4105 人 (58.0%) であった。男女別既婚者の割合は男性 42.4%、女性 41.7% ほぼ同率であった (表 8)。性別・既婚未婚別サンプル数は以下のとおりである。

既婚男性	1,093 人 (15.4%)
既婚女性	1,880 人 (26.6%)
未婚男性	1,482 人 (20.9%)
未婚女性	2,623 人 (37.1%)
計	7,078 人 (100.0%)

2) 年齢構成

20 歳から 5 歳区切りで見ると、20～24 歳 22.4%、25～29 歳 25.8%、30～34 歳 23.3%、35～39 歳 19.0% となっており、20 歳～34 歳については、わが国の人口動態統計の年齢別人口比にほぼ近似している。なお、20～30 歳代を調査対象としたが、大学生に限り 20 歳未満 (全体の 9.5%) が含まれる (表 1)。未婚率は、20 歳代前半 96.8%、20 歳代後半 65.0%、30 歳代前半 30.3%、30 歳代後半 15.6% であった (表 2)。

3) 出生地・居住地

出生地、現在の居住地は全国各都道府県すべてに渡っていた。首都圏にやや集中がみられ、関東地方で生まれた人が全体の 32.3%、現在関東地方に住んでいる人が 41.0% であった (表 3、表 4)。

4) 家族構成・同居者・住居

回答者自身のきょうだい数は本人を含め 1 人が 5.8%、2 人が 55.4%、3 人が 30.8%、4 人が 5.3%、5 人が 1.2%、6 人が 0.3%、7 人

が 0.2%、8 人が 0.1%、9 人以上は 0.04% (3 人) であった (表 5-1)。出生順位では 1 番目が 47%、2 番目が 37.5%、3 番目が 10.8% で 1～3 番目で 95.3% を占める (表 5-2)。

現在、誰と暮らしているかについて、既婚者のほとんど (既婚男性 98%、既婚女性 99%) が親子・夫婦など家族と暮らしている。未婚者では「一人暮らし」が未婚男性の 39.6%、未婚女性の 13.5%、「寮生活」をしていた人は未婚男性の 20.4%、未婚女性の 7.0% であった。「家族と同居」は未婚男性の 37.1%、未婚女性の 75.1% であった (表 9)。このうち「親と同居」していたのは未婚男性の 34.8%、未婚女性の 74.0% で、未婚女性では 4 人中 3 人、未婚男性では 3 人に 1 人が親と同居していた (表 11)。

現在住んでいる、住居の形態は「一戸建」50.1%、「集合住宅」40.3%、「寮・下宿」8.5% であった (表 15)。

5) 子どもの有無

子どものいる人は 2295 人で、全体の 32.4% であった。既婚男性の 70.3%、既婚女性の 80.6% に子どもがいた (表 10)。子どもの数は 1 人が 31.1%、2 人が 48.2%、3 人が 18.6%、4 人 1.2%、5 人 0.1% であった (表 10-1)。回答のあった 2279 人の平均子ども数は 1.9 人であった。子どもの年齢では、複数回答で 2 歳未満の児を持つ人が 26.1%、2～4 歳 35.3%、4 歳～就学前 36.6% と幼児を持つ親が多かった。

6) 職業・学歴

職業は「専門職・管理職の勤め人」が 12%、「事務・販売・サービスなどの勤め人」が 54.7%、「工場など現場の勤め人」が 2.9% で、勤め人が全体の 70% を占めた。その他、学生 19.2%、

専業主婦 2.9%などとなっていた（表 7）。

最終学歴または現在在学中の学校は、大学・大学院卒が全体で 41.1%、男性では 79.6%を占めた。女性は短大卒が最も多く、41.0%、女性の大学・大学院卒は 19.2%となっていた。男性が高学歴の集団といえる（表 6）。

2. 親との経済的・心理的關係

1) 親との同居

(1) 対象全体の特徴

ここでいう同居とは、自分あるいは配偶者の親のどちらかと同居している場合である。

既婚では男性 12%、女性 35%、未婚では男性 35%、女性 74%が親と同居している（表 1-1）。既婚男性の同居率が低く、未婚女性の同居率が高い傾向がある。

(2) 年齢別検討

(a) 既婚男性では年齢が高くなるに従い同居率がやや高くなる傾向がある。既婚女性も同様に同居率が高くなり、30 歳代 38%・35 歳代 39%であり、25 歳代の 25% に比べ同居率が高い（図 1）。

加齢に従い親の年齢も高くなるので、このように同居率が高くなるのであろう。

20 歳代の同居は男性 20%、女性 34%であるが、25 歳代では男性 11%、女性 25%と減少する。若くして結婚をした場合は、収入が低いので親と同居せざるを得ない状況があるといえる。

(b) 未婚男性の 35 歳以上の同居率は 49%であり、他の年齢群に比べ同居率が高い。他の年齢層では 33%前後の同居率であることから、既婚同様に加齢に伴い親との同居率が高くなると考えられる。

女性は、25 歳代が 83%で最も同居率が高く、30 歳代及び 35 歳代ではいずれも 74%である。

年齢が高くなると同居の比率が減少することは、結婚によるもの、そして 30 歳以上の場合は親から離れて独立する人がいることも推察される。

未婚女性は、どの年齢層においても男性に比べ同居率が高いことは、経済的理由あるいは未婚女性の一人住まいに対する世間の偏見などの理由が考えられる。

以上のように、未婚男女の親との同居状況は、性別によって異なる傾向がある。

2) 親の経済的援助

(1) 既婚者に対する経済的援助

「親から住宅や家賃などの住宅の援助を受けているかー住宅費」、あるいは「住宅費以外の金銭的あるいは物質的援助を受けているかー金銭的・物質的援助」について設問をした。この場合の親は、自分あるいは配偶者の親のどちらも含むこととした。

既婚では、親からの住宅費援助が男性 11%、女性 22%、金銭的・物質的援助が男性 13%、女性 28%である（表 1-3、図 2）。

30 歳以上の年齢別では、既婚男性の住宅費援助及び金銭的・物質的援助は 10%、12%で、既婚女性が受けている援助は各々 22%、20%である。

また、子どものいる既婚女性の 30%が金銭的物質的援助を受けている。

経済的援助を受けているという比率が女性の方が高いということは、日本では妻が家計管理をしている場合が多いので、親に経済的不足分を補填してもらっている実態を示している。

既婚の約 28%は親から何らかの経済的援助を受けていると推察できる。

しかし、男女共に年齢が高くなるに従い親からの経済的援助の比率は低くなっている。

(2) 未婚者に対する経済的援助

住宅費援助が男性 38%、女性 60%、金銭的・物質的援助男性 38%、女性 52%である(表13、図2)。

年齢階層別では30歳以上の住宅費援助が、男性 17%、女性 48%、金銭的・物質的援助が男性 13%、女性 24%である。

女性は男性に比べ経済的援助の比率が高い傾向があり、特に前述した同居率の高さからも住宅費援助率が高い。

男女共に年齢が高くなるに従い、親からの経済的援助の比率は低くなっている。女性の住宅費援助率も30歳以上では48%である。

年齢の上昇に従い収入も増えることや、親は加齢に伴い多くの場合は減収に向かうことから、親からの経済的援助は少なくなるものと考えられる。

30歳以上の未婚男女の親からの住宅費援助は、既婚男女に比べやや高い傾向があるが、金銭的・物質的援助に関しては未婚及び既婚ともに同傾向である。未婚者の方が金銭的な援助を受けている比率が高いとは一概にはいえない。

3) 親から受ける日常的世話

(1) 既婚者の場合

「親から日常的に自分や家族の世話をしてもらっているか」という親からの世話は、男性 13%、女性 32%である(表13、図2)。

女性の方が親から日常的に世話を受けていると回答している比率が高い。

子どもがいて親と同居している既婚女性は606例であり、その中で親から世話を受けている女性は553例91%である。

子どものいる世帯では、子どもや家族の世話を親と一緒にしている、あるいは生活のある部分は親がやってくれていると理解できる。

未婚者が自分のことに関して日常的に世話をしてもらっているということとは意味が異なるであろう。

(2) 未婚者の場合

日常的に世話を受けているのは男性 35%、女性 71%である(表13、図2)。

30歳以上の未婚者では男性 26%、女性 57%である。

未婚者は日常的に世話を受けている比率が高く、経済的援助よりも日常的な世話を受けているといえる。

4) 親との現在の関係性

(1) 既婚者とその親との関係

現在自分の親との関係が「うまくいっている、あるいはどちらかというとうまくいっている」という比率は、男性 86%、女性 87%である(表14、図3)。

年齢層別で検討すると、男性は20歳代 80%、25歳代 92%、30歳代 88%、35歳代 82%である。

女性は20歳代 90%、25歳代 90%、30歳代 86%、35歳代 85%である。

男性では、親とうまくいっている比率が25歳代をピークとし山型になっている。

女性では、20歳代から25歳代をピークとしてやや下降している。

(2) 未婚者とその親との関係

未婚者において親とうまくいっている比率は男性 82%、女性 86%である(表14、図3)。

未婚者でも年齢層が高くなると親とのよい関係の比率がやや低くなる傾向がある。

(3) 既婚・未婚ともに親とよい関係にあるものの比率が高い。しかし、既婚・未婚を問わず、加齢に伴い親の問題を引き受ける年齢になると、親との関係性がよい比率がやや低くなる傾向がある。

既婚・未婚ともに 25 歳代が親との関係がよいのは、青年期にみられる親との葛藤を乗り越え、親を受容できる状態になっているからと理解できる。

25 歳代及び 30 歳代の未婚男女では、同年齢層の既婚男女に比べ、親とうまくいっている比率が低い傾向がある。

また、35 歳代の未婚男性は他の同年齢層の男女に比べ、親とうまくいっている比率が低い傾向にある。

(4) 結婚に対する態度と親との関係

「一生結婚するつもりがない」という非婚傾向群と「早く結婚をしたい」という結婚積極群について親との関係を検討した。「親との関係がよくない」という比率は、男性では非婚傾向群 13%、結婚積極群 2%である。

同様に女性では非婚群 14%、積極群 2%である。

なお、非婚傾向群では 24 歳以下の比率が男性 68%、女性 71%であり、年齢層が若年傾向にある。

非婚傾向群あるいは未婚群では、親との関係が現在よいという比率が低い傾向がみられる。

青年期の親子関係が結婚観に影響を及ぼしているのか、あるいは結婚をせず未婚状態であることが現在の親子関係に影響を及ぼしているのかは、本研究では明らかにはならなかった。

5) 親の心理的態度

現代では、子ども数が少なく親が心理的に子離れできにくいのではないかとされている。そこで、このような親の態度が青年の自立を遅らせ、晩婚化に影響を及ぼしているのかどうか検討を行った。

親の子ども（調査対象者）に対する心理的

態度（密着的、指示的、配慮的）が、思春期及び現在においてどのようであったかを設問した。

特に「親が自分と一緒に行動したり、自分のそばにいつもいたがるか、あるいはいたがったか」と、親の子どもに対する「密着的態度」について分析した。

(1) 思春期に密着的態度の親

思春期に密着的父親は、既婚男性 5%、未婚 6%、既婚女性 6%、未婚 10%である。

密着的母親は既婚男性 16%、未婚 15%、既婚女性 17%、未婚 21%である（表 1 2, 図 4）。

母親の方が父親に比べ密着的態度を示す比率が高い傾向がある。

(2) 思春期及び現在も密着的態度の親

密着的父親は既婚男性 1%、未婚 4%、既婚女性 1%、未婚 6%である。密着的母親は、既婚男性 5%、未婚 9%、既婚女性 7%、未婚 15%である（表 1 2・2 7, 図 4）。

母親は、子どもが成人した後も密着的態度を持ち続ける傾向がある。また、思春期も現在も密着的態度の親は、未婚男女の方に多い傾向がある。

(3) 親の心理的態度と未婚の検討

(a) 親の密着的態度と未婚者の年齢階層別検討

30 歳以上の未婚男女で、現在密着的父親を持つものは男性 2%、女性 3%、密着的母親は男性 7%、女性 14%である。30 歳以上の男女では、他の年齢層に比べ密着的親の比率は低い傾向がある。

(b) 親の密着的態度と結婚志向の検討

結婚志向等に関する結果を図 5 に示す。「理想の人が見つければ結婚したい」という結婚消極群と、「結婚相手がいる、相手はいないが早く結婚したい」という結婚積極群とを比較した。

現在密着的母親は消極群男性 13%、積極群男性 16%、消極群女性 19%、積極群女性 26% で、密着的母親の比率は男女共に結婚積極群の方がやや高い傾向がある。

(c) 未婚者の結婚観等

シングルでいる理由で比率の高い項目は、「適当な相手が見つからない」男性 43%、女性 45% である。結婚で犠牲にしたいくないことの中で比率の高い項目は、「自由な時間や行動」男性 65%、女性 74% である。

未婚者の多くは結婚を望んでいるが、自由で束縛されない生活を大切にし、その上で理想の人がいれば結婚してもいいと考えている。結婚に対して「束縛」というイメージがあるので、結婚に消極的になるとも考えられる。

母親が密着的態度の場合は、結婚に積極的な傾向が示されたが、これは親から自由になりたいという気持ち、あるいは結婚に関して親の積極的関与があるのではないかと考える。

6) 小括

親子間における経済的援助、また子ども時代からの心理的關係が青年のライフスタイルのデザインにどのような影響を及ぼしているのかを検討した。本調査の結果からは、既婚・未婚者も加齢やライフスタイルの変化によって、親との経済的援助関係及び心理的關係が変化することが明らかになった。結果を要約すると、次のようになる。

- ① 未婚者は親から日常的に生活上の世話を受けている比率が高いが、30 歳以上の未婚男女では親から受ける世話の率は低くなっている。
- ② 未婚者が親から受ける経済的援助の比率は、年齢が高くなるに従いその比率は低くなり、既婚者に比べて高いとはいえない。

- ③ 既婚者で子どものいる家庭では、少なくとも 3 割近くが親から経済的援助を受けている。また、多くの家庭では日常的に生活上の世話を親から受けている。
- ④ 親子の心理的關係では、未婚者の方が親の密着的態度の比率は高い。
- ⑤ 30 歳以上の未婚の男女では、親の密着的態度の比率は低い。また、親からの経済的援助の率も既婚に比べ高くはない。
- ⑥ 「親との関係が現在よい」という比率は、既婚者では高い。しかし、30 歳代では親との関係がよいという率は低くなり、親の加齢に伴う問題が関係性に影響を及ぼすとも考えられる。未婚者では既婚に比べ、「親との関係がよい」という比率が低い傾向がある。

親の経済的援助や日常的な世話、あるいは親の密着的態度などの心理的關係が、青年の自立を遅らせ晩婚化現象に影響を与えているという結果は得られなかった。

未婚男女が結婚によって犠牲にしたいくないものの第 1 位は、「自由な時間・行動」である。自由で束縛のない生活を志向する青年にとって、結婚や子育てには自由を束縛するというイメージがある。「自由」あるいは「犠牲」という意味をどの様に考えているのであろうか。このような結婚観や家族観など、ライフデザインに影響を及ぼす価値観の形成に関する研究は、今後の課題である。

子育てや家族と暮らす時には、いわゆる犠牲や自由さを失うこともある。しかし、このような体験や行為にどのような意味を見いだすかは個人によって異なるであろう。損をしたという犠牲なのか、没頭し世話をした体験から重要な何かを感じ「犠牲」という行為に「新

しい意味」を見いだす場合もあろう。行為や体験について様々な角度から考えたりあるいは感じたりすることができたならば、考え方に新風が吹き込み、暮らし方に幅が広がるのではないだろうか。また、一人一人が行為と体験の「意味」を再考しながら暮らしていくことが社会通念の縛りからの解放となるのではないだろうか。

少子社会における結婚・育児等の家庭生活を検討するにあたり、親子間の経済的・心理的援助や、世話をしあうことなどの家族関係に関する事、そして経済的・心理的親子関係と青年の晩婚化に関しては、さらに文化的・経済的・保健学的視点から分析することが必要であるとする。

(千賀悠子)

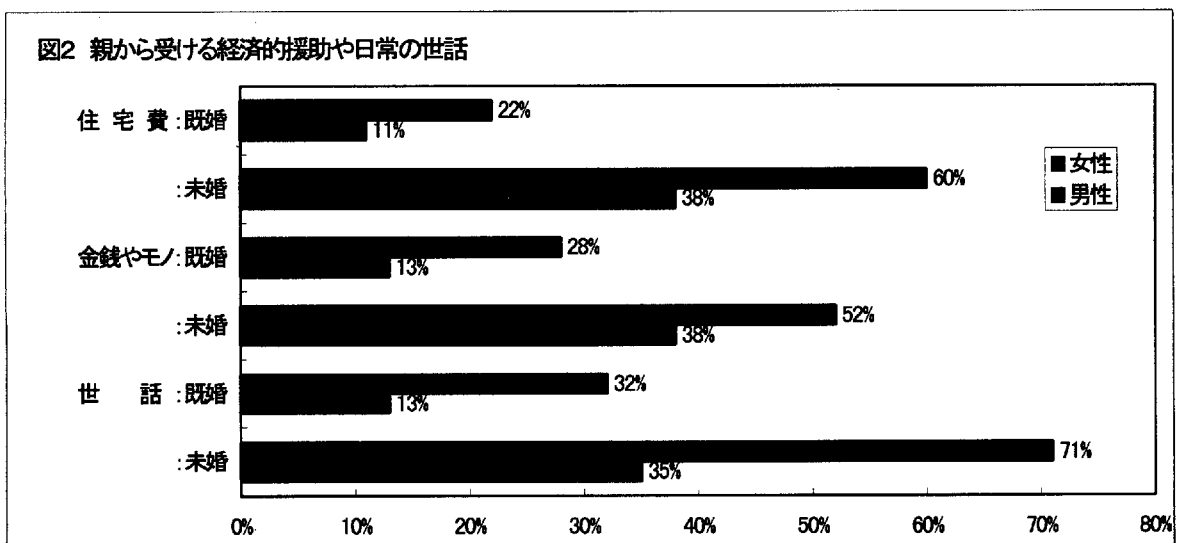
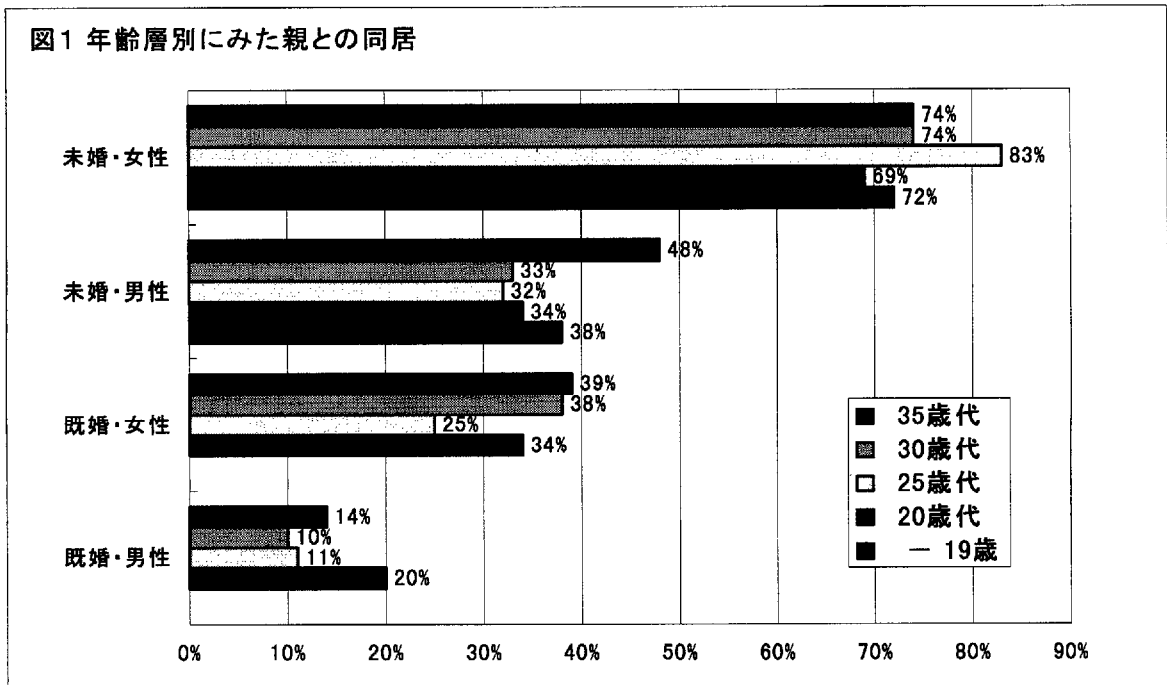


図3 年齢層別にみた親との関係(うまくいっている比率)

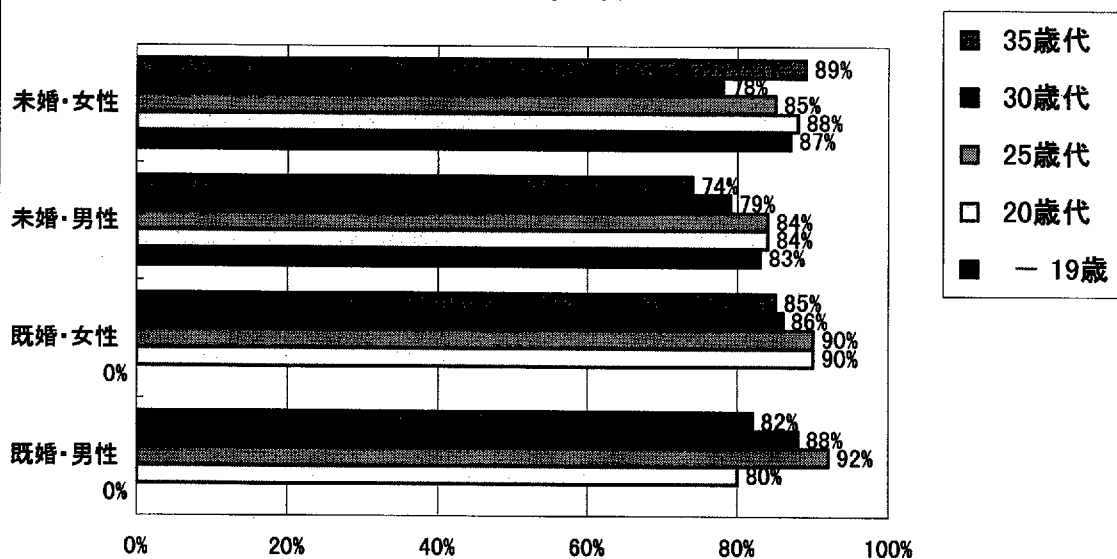


図4 親の心理的態度

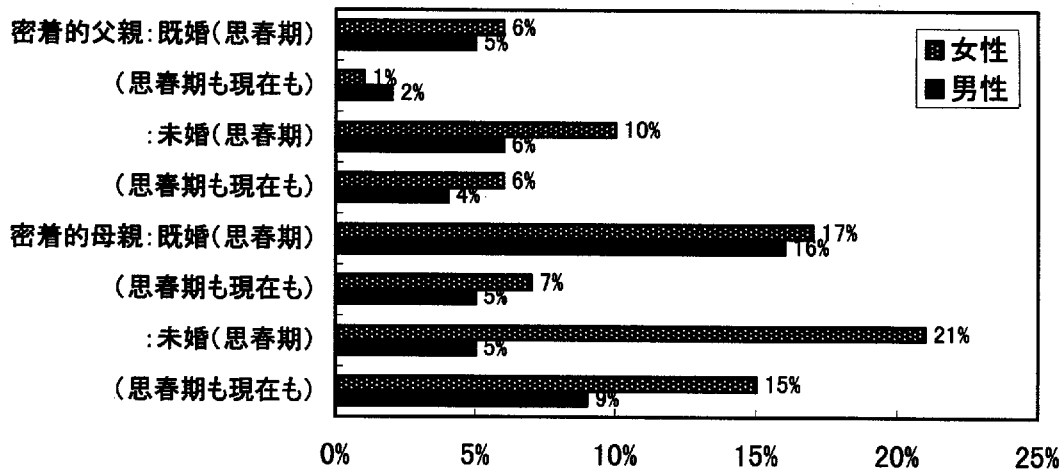
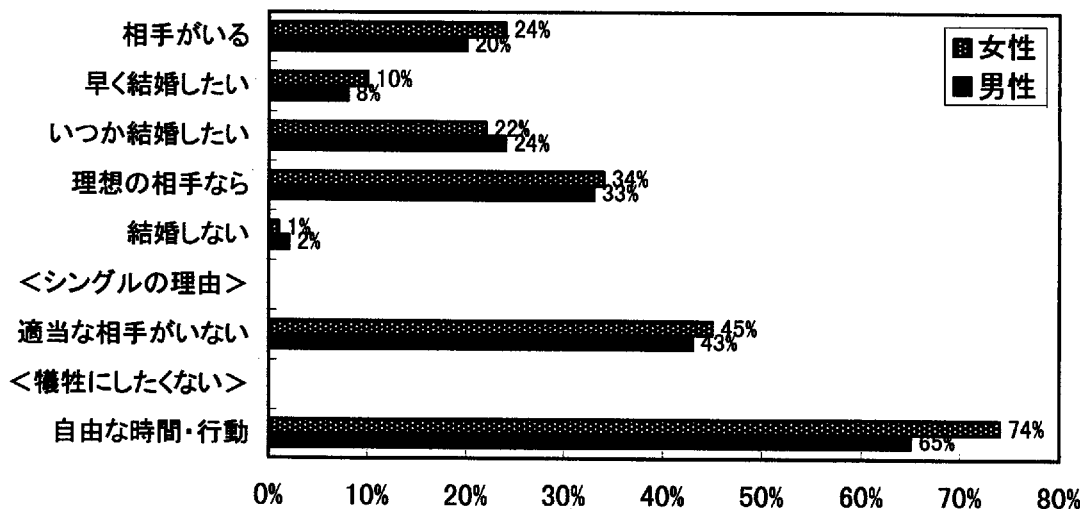


図5 未婚者の結婚志向



3. 生活状況

1) 平日の睡眠時間

睡眠時間を「足りている」、「ほぼ足りている」、「少し足りない」、「足りない」の4段階に分けて調査した(表16)。

全対象についてみると、57.3%の者は睡眠時間は「おおむね足りている(足りている、ほぼ足りている)」と回答し、「足りない」者は1/10程度であった。男女別にみると女性に比べ、男性に睡眠時間の不足を訴える割合が多少高かった。しかし、男女共に半数以上の者(男性54.0%、女性59.1%)は睡眠時間は「おおむね足りている」と回答していた。

既婚・未婚別にみても大差は認められないが、「足りない」者は男女共に既婚者に比べ未婚者に幾分多かった。未婚者では自由時間の過ごし方や生活の不規則性などが睡眠時間に影響するものと思われる。

年齢別にみると、睡眠時間が「おおむね足りている」割合は既婚男女では30~34歳台に比べ25~29歳台に低いが、それでも既婚女性の54.6%はおおむね足りており、男女共に睡眠時間の不足を訴える者はいずれの年齢においても10%前後であった。これらの結果から育児の負担が睡眠時間に影響を及ぼしている可能性は考えられない。これに対し未婚の25~34歳台の男性では睡眠時間の不足を訴えていた割合は16~19%に増加し、また、未婚の女性では35~39歳台になるとその割合は既婚者のほぼ倍(16.3%)に増加した。この年代の未婚女性では仕事の内容などが睡眠時間に関与するよう見受けられる。

既婚女性において睡眠時間の不足を訴える者は専業主婦2.0%で、有職者ではこの割合が約3.5~5倍高かったが、それでもその割合は10%以下であった。

2) 食生活

主に食事環境を中心に「家族と一緒に食事をとること」「1人で食べる食事」についての考え方を調査した(表17)。

全体の80%の者は「家族と一緒に食事をすることを楽しい」と答え、このような食事環境を否定する者は4%に過ぎなかった。性別でみると男性は女性に比べ「家族と一緒に食事をとる」環境を肯定的に受け止める割合は約6%低いが、それでも3/4以上の者はこのような食事環境受け入れていた。既婚の男女では90%以上の者は「家族と一緒に食事をすることは楽しい」と思っているが、未婚者ではその割合は低く(男性64.8%、女性76.7%)、未婚男女のそれぞれ8.8%、4.7%の者は「家族と一緒に食事をすることを楽しいとは思わない」と答えていた。また、「1人で食べる食事は煩わしくなくてよい」と食事環境を否定的に受け止めている者は、男性では既婚者よりも未婚者に多くみられたが(前者14.7%、後者23.9%)、女性では既婚・未婚を問わず17%の者がそう感じており、既婚女性に食卓における家族の煩わしさを感じる傾向が認められた。

年齢別にみると、25歳~39歳台の既婚者では男女共に89~95%の者は、「家族と一緒に食事をとることを楽しい」と感じており、また、未婚女性においてはその割合は15~20%低下するものの年齢差は認められなかった。しかし、未婚男性ではこのような食事環境を肯定的に受け止める割合は加齢と共に減少し、25~29歳では70.1%を占めていたのに対し35~39歳では53.8%と低下した。また、「一人で食べる食事は煩わしくなくて良い」と思う者は、20歳台では未婚男女共に約5人前後に1人の割合(男性23.0%、女性18.2%)で認められた。男性では年齢によりこ

の割合はほとんど変化しないが、女性では 25～29 歳台にこの割合は 3.4 %減少したものの、30 歳以降では加齢と共に「一人の食事環境」を肯定的に受け止める割合が増加し、未婚男性の比率を多少凌駕した (26.5%)。

就労している女性は専業主婦に比べ、食事作りの負担感は大いものと推測される。特に既婚者では就労者、専業主婦のいずれにおいても 90%以上の者は「家族と一緒に食事をとることは楽しい」と感じていたが、「一人で食べる食事環境は煩わしさがなくてよい」と受け止める者は、専業主婦に比べ、就労者に幾分多い程度であった。

結婚に対する考え方と食生活観との関連づけを行った。「結婚はしたくないが、パートナーとなる人が欲しい」または「一生結婚するつもりもなく、パートナーもいない」という結婚否定派は結婚肯定派に比べ、男女共に食事環境の重要性を否定する割合が高かった。すなわち、結婚否定派では「家族と一緒に食事をとることは楽しい」と思わない者が多く (結婚否定派：男性 17.3～29.0%、女性 7.9～23.8%、結婚肯定派：男性 5.5～10.6%、女性 4.0～5.6%)、一人で食べる食事環境を好む者が男性の 33.3～48.4%、女性の 28.6～39.6%を占めていた。

食生活観と理想の子ども数との関係をみると、既婚・未婚、男女共に子どもを欲しくない者は子どもを持つことを希望する者に比べ、否定的な食事観を持ち、また、理想の子ども数が 1 人よりそれ以上の場合に肯定的な食事観を示す傾向が認められた。

3) 休日などの自由時間の過ごし方

休日などの過ごし方を一人、親やきょうだい、子ども、恋人や婚約者、配偶者やパートナー、仕事関係の人、クラブやサークルの仲

間、友人、その他の人と過ごす、自由な時間はほとんどないの 10 項目に分けて複数回答で調査し、その結果を表 18 に示す。

「自由な時間がない」と回答した者は全体の 2.8%であり、既婚女性に幾分その割合が高かった (4.1 %)。

全体では「友人と過ごす」者が 48.3%で最も多く、次いで「一人で過ごす」(38.6%)、「配偶者やパートナーと過ごす」(31.4%)、「子どもと過ごす」(29.7%)、「親やきょうだいと過ごす」(29.1%) の順であり、「恋人や婚約者」と回答した割合は 21.9%であった。また、「クラブやサークルの仲間」や「仕事関係の人」を挙げた者はそれぞれ 8.4%、5.9%で少なかった。男女別にみると、男性では「一人で過ごす」(44.9%) と「友人と過ごす」(44.7%) が多く、次いで「配偶者やパートナー」(34.6%)、子ども (26.7%) であり、女性では友人 (50.2%) が最も多く、「親やきょうだい」(39.3%)、「一人」(34.9%)、「配偶者やパートナー」(29.4%)、「恋人や婚約者」(24.0%) の順であった。

未・既婚別にみると、既婚者では男女間で 1 位および 2 位の順序は異なるものの同じ傾向が認められた。すなわち、男性では 81.2% が「配偶者やパートナー」と過ごし、62.9% は「子ども」を挙げており、女性では「子ども」(74.9%)、「配偶者やパートナー」(70.4%) であり、家族で過ごす者が多かった。未婚の男性では「一人で過ごす」(67.6%)、「友人」(64.1%) が多く、「恋人や婚約者」は 30.2%であった。女性では友人 (75.5%)、一人 (52.1%)、親やきょうだい (51.6%) であり、「クラブやサークルの仲間」を挙げた者は男女共に少なく、特に女性では男性の約半数であった。年齢別にみると、未婚の 20 歳台の男性の 65%前後は「一人」または「友人」

と過ごしており、30歳台になると「友人」と過ごす者が50%台に減少し、「一人」で過ごす者が75～79%に増加した。また、25～39歳の12～18%は「仕事関係の人」と過ごしており、この割合はいずれの年齢の既婚者に比べ約2倍の値を示していた。未婚女性ではいずれの年代においても75%前後は「友人」と過ごし、30歳以降では「一人」で過ごす者の割合が約10%増え(62～64%)、また、35～39歳では「親やきょうだい」と過ごす者が65%を占めていた。

既婚の25～39歳の男性では76～87%は配偶者やパートナーと過ごし、また、30～39歳の65～78%は子どもと過ごしていた。特に、30歳台では配偶者やパートナーよりも子どもと過ごす割合が増加していた。既婚女性も男性と同様な傾向が認められたが、25歳以降の女性では男性に比べ配偶者やパートナーと過ごす割合が減少して子どもと過ごす割合が高かった。

次に既婚女性について、有職者と専業主婦との休日の過ごし方を比較した。専業主婦の8割前後は子ども、配偶者やパートナーと過ごしていたのに対し、有職者ではその割合は10%程度低く、1人で過ごす割合が専業主婦に比べ約2倍であり、また、友人やその他の人と過ごす者が多かった。特に、既婚女性の管理職・経営者では、自由な時間がないと答えた者は男性の約3倍であり、専業主婦より多かった。

4) 小括

生活状況を睡眠時間、食事環境、休日などの自由時間の過ごし方から調査した。以前に比べ、現代では生活の多忙さが問題視されることがあるが、今回の調査において社会環境、子育て、仕事などが睡眠時間を特に削減する

ような状況は認められなかった。既婚者に比べ、未婚者では男女共に食事環境に対して否定的な考え方を持つ者が目についた。現代では個々にまた一人で自由に食事をとる「個食」や「孤食」傾向が問題視されているが、特に幼少時から思春期にかけて、「食事」を通して家族の在り方を会得させ、保護者も「食事」を心を育てる重要な場として捉え直す必要があると思われる。休日の自由な時間の過ごし方は、未婚男女の半数以上は「一人で過ごす」「友人と過ごす」と回答していたが、女性は男性に比べ「親やきょうだいと過ごす」者が多く、家族と密着している傾向が認められた。このように未婚の男女は既存の人間関係を中心とした生活の仕方が伺えた。このような状況は、非婚者の増加や晩婚化につながり、少子化の進展に拍車をかける可能性が考えられる。未婚者では友人や仲間、また、恋人や結婚相手にめぐり合う機会として、クラブやサークル等に積極的に参加することがあっても良いと思われる。結婚や育児は見方を変えれば、新しい人間関係の開拓となろう。新しい人間関係の構築に繋がる場の存在や構築が必要であると思われる。

(水野清子)

4. 通信情報環境

1) コンピュータゲームやビデオ鑑賞

余暇の過ごし方について、コンピュータゲームやビデオ鑑賞の利用状況をたずねた。結果は表19のとおり、両方とも「ほぼ毎日」「休みの日はいつも」の割合は少なかった。これらに「時々」を含め、利用の有無を比較すると、コンピュータゲームで遊ぶものは約3割、ビデオ鑑賞をしているものは約7割と対照的な利用状況となった。コンピュータゲームやビデオ鑑賞では、ソフトの質と量が圧倒的に

ビデオに多いという点や両者の性格的違いによるものと考えられる。

(1) コンピュータゲーム

男女別にコンピュータゲームで遊ぶ状況を見ると表 19 のとおり、男性で「ほぼ毎日」は 6.6%、「休みの日はほぼいつも」4.4%、「時々」34.7%であった。「ほとんどなし」が一番多く、53.6%を占めていた。女性で、「ほぼ毎日」は 1.6%、「休みの日はほぼいつも」1.1%、「時々」17.0%であった。男性と同様に「ほとんどなし」が一番多く、79.2%を占めていた。女性より男性の方がコンピュータゲームで遊ぶことが多いようであった。男女での相違はコンピュータゲームというゲームそのものの性格がその差をつくっていると考えられる。また、既婚・未婚別にみると、既婚男性の場合、「ほとんどなし」は 63.6%で未婚男性では 46.2%とコンピュータゲーム遊ぶものの割合は若干低い傾向がみられた。女性では、「ほとんどなし」が既婚者 (79.8%) と未婚者 (78.8%) で差は見られなかった。

コンピュータゲームで遊ぶ利点についての意見は、表 19-1 のとおりであった。「他にすることがないのでやっている」といった意見を除き、「人に関わらず、ひとりで楽しめる」、「人・子どもと共通の話題ができてよい」、「趣味の世界にひたれるのがよい」、「ストレス解消になる」等は少なく、少なくとも現在の子育て世代はコンピュータゲームにプラスイメージを持っているとはいえない。

(2) ビデオ鑑賞

男女別にビデオ鑑賞するものの状況を見ると表 19 のとおり、男性で「ほぼ毎日」は 2.1%、「休みの日はほぼいつも」6.3%、「時々」が一番多く 64.6%であった。「ほとんどなし」は 26.4%であった。女性で、「ほぼ毎日」は 0.9%、「休みの日はほぼいつも」4.0%、

「時々」は 62.6%で一番多く、男性と同様であった。「ほとんどなし」は 31.8%だった。男女共にビデオ鑑賞されている状況が伺える。また、既婚・未婚別にみると、既婚男性では「ほとんどなし」32.4%で、未婚男性では 21.9%と未婚男性に若干低い傾向がみられた。女性でも「ほとんどなし」の既婚者 (37.4%) と未婚者 (27.8%) では若干未婚者が低く、従って、既婚者より未婚者のほうがビデオ鑑賞することが若干多い傾向があった。これらは既婚者、未婚者の余暇時間の量に関係があると考えられる。

ビデオ鑑賞する利点についての意見は、表 19-2 のとおりであった。「他にすることがないのでやっている」といった意見を除き、「人に関わらず、ひとりで楽しめる」、「人・子どもと共通の話題ができてよい」、「趣味の世界にひたれるのがよい」、「ストレス解消になる」等は、コンピュータゲームに比べて高く、また、「趣味の世界にひたれるのがよい」の割合も高く、余暇、趣味という面において、プラスイメージを持っていることが伺われる。ビデオ鑑賞自身、映画、テレビの発展形と考えれば、当然の結果であろう。

2) 通信機器の使用状況

情報との関連でその情報発信、収集の道具となる通信機器を利用状況をたずねた。近年急速に普及した携帯電話・PHS・ポケベルとニューメディアあるいはマルチメディアといわれているインターネットとその前身ともいえるパソコン通信を取り上げた。

全体的には表 22 に示すとおり、インターネット・パソコン通信利用者は 13.0%で、携帯電話等に比べれば低いですが、使用され始めた時期とあわせて考えると、かなり普及しているとも考えられる。まだ一部の人にしか使用さ

れていないが、機器等の家電化や低価格化が進めば、さらに急速に普及するだろう。携帯電話・PHS・ポケベルは約 6 割とかなり普及している様子がわかった。

パソコン通信、インターネットの使用について男女別に使用状況をみると、表 22 のとおり、男性は 21.2%、女性 8.3%であった。未既婚者別では、既婚男性は 25.2%、未婚男性は 18.4%であった。また、既婚女性は 8.2%、未婚女性 8.4%で全体的に使用が少ないことがわかる。

携帯電話、PHS、ポケベルの男女別の使用状況は、表 22 のとおり、男女共に約 6 割が使用していた。未既婚者別では、男性の未既婚者別では差がないが、女性では、既婚女性（47.6%）と未婚女性（69.8%）に差が見られた。しかし、通信機器の使用に関しては、年齢等のファクターも影響すると考えられるので、今後検討していきたい。

これらの情報通信機器の普及は、生活における情報の即時性や利便性を向上させたが、コミュニケーション形態を変化させていると考えられる。

3) 結婚・出産・育児等に関する情報源

表 23 に示すとおり、全体的には、「書籍・雑誌・新聞・ビデオ」が 64.7%、「テレビ・ラジオ」が 61.1%と従来のメディアが多く、次いで「友人」47.6%、「家族・親戚」39.7%、以下、「職場」(25.0%)、「学校教育の中で」(12.5%)、「医療・保健・福祉関係機関（病院、保健所、役所など）」(9.3%)、「サークルなど、社会的活動の場で」(4.1%)、「市区町村の広報紙」(3.8%)等であった。また、「パソコン通信またはインターネット」は 0.6%であった。

男女別でも同様に、マスメディア、次いで

友人や家族の順で、同傾向であったが、「友人」については男性が 37.3%、女性 51.6%と女性のほうが友人からの情報が多い傾向がみられた。未既婚別にみていくと、既婚男性では、「家族・親戚」43.5%、「友人」29.5%の順で、逆に未婚男性では「友人」45.7%、「家族・親戚」26.0%の順で逆転している。しかし、既婚女性では「友人」52.1%、「家族・親戚」46.8%の順で、未婚女性でも「友人」53.0%、「家族・親戚」40.7%で、同傾向であった。

保健行動のみならず、結婚・出生・育児に関してもその方向を決める、または決定するための情報源として、「友人」の存在は大きいことが推測できる。

4) 小 括

ビデオの利用率の高さは、今後の出産・育児情報の提供や教育用教材としての有用性を示唆している。また、情報機器やインターネットサービスの普及の状況から、携帯電話・PHS・インターネットなどの機器やメディアを活用した情報提供やコミュニケーション方法の開発も必要である。あわせて、市区町村役場の広報紙や医療・福祉関係機関の機能・役割のあり方を検討する必要性が示唆されている。

結婚・出産・育児における意思決定は、映像や活字情報であるテレビや新聞雑誌で情報を集め、友人や家族、職場の仲間（対人コミュニケーション）に確認する形態が想定される。従って、従来の方法である新聞雑誌、テレビ等による情報提供も一層強化することが必要である。

余暇を過ごす相手としての「友人」、情報源としての「友人」の存在は大きいことから、問題解決や意思決定に関わる重要な他者としての「友人」の存在をどう位置づけていくか、

今後の戦略としての重要な点であると考えられる。

(斉藤 進)

5. ストレスの影響とその対処法

現代人は、いろいろなストレスにさらされながら生活しているが、結婚・出産・育児へも、さまざまな面からの影響があると考えられる。日本は、先端産業の発達が目覚ましく経済大国となる一方で、企業の海外進出を含め技術革新にともなう社会・労働環境の変化、職場のO A化、伝統的価値観の崩壊、少子・高齢化社会の到来、子どもの教育問題、家族をはじめとする人間関係の希薄化など、多くの新しいストレスが発生している¹⁾。そのような社会的・心理的ストレスの影響と、その対処法に関して考察した。

1) ストレスの有無と内容

自分のことや家族の生活のことで、近頃、心配ごとや困っていることの内容を12項目に分類し、その有無とストレスの程度を男女別、未既婚別、地域別に検討した(表20、図1)。

「心配ごとや困っていることあり」と回答した内容は、全体として多かった順に、「仕事や勉強や将来に備えての、資格・能力・成績・地位に関して」61.9%、「経済的なことに関して」53.3%、「仕事上の(または学校での)人間関係に関して」41.9%、「労働(または学業)時間について」41.0%の順であった。

①既婚者

既婚男性では、「将来の資格・能力・地位」、「経済的なこと」、「労働時間」、「仕事上の人間関係」の順、既婚女性では、「経済的なこと」、「将来の資格・能力・地位」に次いで、「家事・

育児・介護など、家庭のことに関して」53.6%、「家庭内の人間関係や家族の問題に関して」46.5%、の順に多かった。また、既婚男女は、未婚者と比較して、「家事・育児・介護」の他、「地域やPTAなどの人間関係について」(既婚女性27.0%)が多かった。

既婚男性が職場指向であるのに対し、既婚女性では家庭を中心としつつも、将来に備えての資格・能力に対して心配していることがうかがえる。

性生活や出産へのプレッシャーは、全体的には7~19%と比較的少なかったが、既婚で子どもがいない女性359人中、183人(51.0%)は、出産へのプレッシャーを感じていた。不妊症治療のますますの進歩とともに、周囲の人達がプレッシャーを与えない配慮が望まれる。

地域別の比較では、1995年の合計特殊出生率²⁾が1.11と最も低かった東京都で、「通勤(または通学)時間について」困っているとの回答が比較的多く、ことに既婚女性では33.0%と高かった。ことに都市部では、職住接近の推進と、通勤地獄の解消が望まれる。

②未婚者

未婚男女はともに「将来の資格・能力・地位」、「経済的なこと」の順で、未婚男性では「労働(学業)時間」、「恋愛や性生活について」、「仕事上(学校で)の人間関係」、未婚女性では「仕事上(学校で)の人間関係」、「恋愛や性生活」、「労働(学業)時間」と続いた。

「結婚(または出産)へのプレッシャーに関して」(男28.1%、女41.3%)は男女とも6位であったが、年齢差が大きかった。35~39歳の男性の53.8%が、女性では25~29歳の61.4%が、30~34歳の59.4%がプレッシャーを感じていた。従来結婚適齢期以降の年齢の未婚者は、結婚へのストレスが強いと考

えられる。

未婚男女はともに、将来に備えての資格や能力に注目し、既婚者に比べて、恋愛や結婚・出産に関してのストレス度が比較的高かった。ことに未婚女性では高かった。但し、ストレス度が高いということは、逆に言えば前向きの意識の表われともいえよう。

地域別の比較では、1995年の合計特殊出生率²⁾が1.62以上と比較的高かった11県で、「経済的なこと」が比較的多く心配され、ことに未婚男性では63.9%と高かった。ことに過疎地では、より多くの経済振興策などによる若い人達への将来の経済保障が望まれる。

2) ストレスの影響

ストレスの程度は、12項目の内容ともに「少し感じる」が約半数をしめ(表20)、また、ストレスの影響を複数回答で求めた結果では(表20-1)、全体で「ある程度のストレスは何とかやっていける」が45.6%と最も多かった。多くの人達は、多少のストレスを感じながらも、それほど問題なく生活していると考えられる。

しかし、多くのストレス項目で、20%前後の人達がストレスを「非常に感じる」と回答した。また、ストレスの影響に関して、全体では「いらいらして、周囲の人に当たった」24.8%、「仕事や家事・育児、勉強する意欲が減退した」20.9%であった。ことに前者は、管理職・経営者の女性では38.3%、専業主婦では38.2%と多かった。

その他、男性では、「たばこやお酒の量が増えた」(勤め人の男性25.1%)が、女性では、「食べ過ぎるようになった」(未婚女性25.5%)や「身体症状がでた(病気になったり、体調をくずした)」(未婚女性23.8%)が多かった。ストレスの対処法としての喫煙・

飲酒行動や食行動などの心理学的、社会学的検討の意義があらためて示唆される。

全体としては、「結婚のチャンスをのがしたり、恋人を失った」、「結婚に興味がなくなった」、「性生活ができなくなった」、「性的欲求が減退した」など、結婚や出産に影響を及ぼす内容を回答した割合は低かった。しかし、それぞれ数%程度は存在していたので、そのようなストレスへの適切な対応が望まれる。

3) 心配ごとの相談相手

男性では83.7%、女性で95.5%が「相談相手がいる」と回答した。

相談相手を複数回答によって得た結果は、既婚者では男女とも「配偶者・パートナー」(84.8%、70.7%)を、次いで「同性の友人」(44.3%、67.1%)をあげ、3位は既婚男性が「上司、先生、先輩」24.7%、既婚女性が「親・きょうだい」51.8%であった。

男性が配偶者に依存する割合が高いのに対し、女性はそれよりやや低く、同性の友人や親・きょうだいに相談する割合が高かった。

未婚者では、男女とも「同性の友人」(79.8%、89.7%)、「親・きょうだい」(37.9%、58.4%)の順であったが、いずれの割合も年齢とともに減少傾向がみられた。次いで、「恋人」、「異性の友人」などの割合が高かった。

多くの人達には相談相手がいるものの、一部は相談相手がいないと回答した。後者の中でストレスが強い場合、いろいろな問題が生じる可能性があるので、注意しなければならない。

4) 結婚を望まない未婚男女のストレスの影響

結婚を望まないと回答した未婚男女228人(男106人、女122人)は、男性では「ある

程度のストレスは何とかやっつけていける」(36.8%)が高く、2位以下では「人付き合いがいやになった」(24.5%)、「仕事や家事・育児、勉強する意欲が減退した」(23.6%)、「たばこやお酒の量が増えた」(21.7%)、「結婚に興味がなくなった」(20.8%)であった。女性では、同様に「ある程度のストレスは何とかやっつけていける」(42.6%)、「食べ過ぎるようになった」(36.9%)、「人付き合いがいやになった」(32.8%)、「いらいらして周囲の人にあたった」(31.1%)、「身体症状がでた」(27.0%)の順であった。結婚の意思があったり、理想の相手なら結婚したいという人達に比べて、2位以下の項目(男性の「たばこやお酒がふえた」のみ除く)の割合が高かった。

結婚を望まない未婚者は、身体症状や人間不信などのコミュニケーション上の問題を持つ割合が高く、それらに対する総合的な解決策を見いだすことが望まれる。

5) 小 括

家族、職場、学校、地域等での社会環境との関連でストレスの影響とその対処方法について検討した。女性は未既婚に関わらず、将来へ備えての資格や地位、経済的な問題に関

わる心配ごとの割合が高かった。結婚・出産・育児を通過しつつも自立意識の表われと考えられる。そのための再就職を含めた雇用環境の整備や、育児中のソーシャルサポート等のあり方が今後とも重要な課題である。

未婚女性は前向きであるが故にストレスも比較的多く持っており、将来のライフコース設定が容易に可能な社会保障や雇用環境の整備が必要である。

人数は多くはなかったが、子どものいない既婚女性、ストレスにより結婚や性生活に影響を及ぼした人達、ストレスが心身両面に影響を及ぼした、結婚を望まない未婚者など、一人一人がかかえるストレスに対してきめの細かい対策や配慮がより多く望まれる。

参考文献

- 1) 筒井末春：現代のストレスとその対処。日本医師会雑誌、119(9)：1413～1416、1998。
- 2) 厚生省母子保健課監修：母子保健の主なる統計。1997。

(小山 修・加藤忠明)

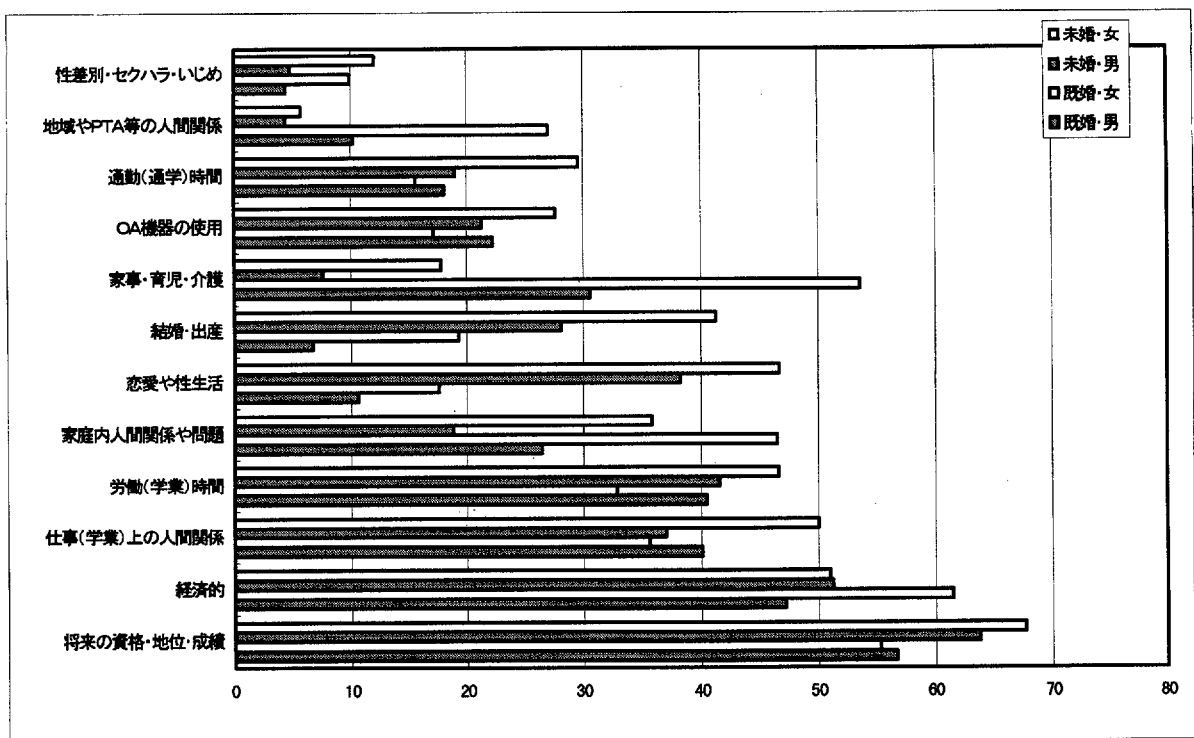


図1 既婚・未婚別、男女別のストレス

6. 子ども・育児環境・晩婚に関する意識・意見

調査対象の大多数は「子どもを欲しい」と思っており（表 34：欲しくない 3.1%）、未婚者のほとんどは結婚の意思をもっていた（表 37：一生結婚しない 1.3%）。このように今後、結婚・出産をする可能性のある対象が、一般論としてどのような子ども観や結婚観をもっているか設問をした。回答者自身の結婚の意思および未婚の理由、出産の意向に関しては別の項（表 34、表 37、表 38）で論じ、ここでは一般論としての子ども観、社会現象としての少子・晩婚化の理由についてたずねた。

1) 子ども観・子育て観について

子どもや子どもを生き育てることについては、1～9 まで 9 項目について賛否をたずねた（表 30）。

(1) 全体の傾向

「そう思う」の回答率を全体の傾向で見ると、肯定率が高い項目（80%以上）は、以下の4項目である。

1 位「8.私は、自分の子どもはかわいいと思う（または思うだろう）」89.4%、2 位「3.子どもは、人々にうるおいや活気を与える存在である」85.1%、3 位「4.子育てには面白いことや発見がある」83.4%、4 位「2.子どもは、社会の次世代の担い手として大切である」80.8%。

このような、一般的な子どもの存在を肯定的に捉えた項目（以下＜一般的な子ども観＞と称する）は、高い支持率となっており、5 位「9.私は、子どもが好きである」も 69.3%で続いていた。次に割合の高い「7.子どもの世話の大部分は、男親もできる」65.7%は性

差について後述する。

「6.子育てによって、親は犠牲にするものが多くある」は 53.5%で、上記のように一般論としては子どもを肯定的にとらえている人が多いが、反面、自分との関わりで子ども・子育てを考えた場合は、犠牲というマイナスのイメージを過半数の人がもっていた。

「5.子どもを生み育ててこそ、人として一人前である」36.6%は 9 項目中、「そう思う」割合は最も低く、保守的内容の項目であるが、3 人に 1 人は肯定していた。

(2) 性別／既婚・未婚別「子ども観・子育て観」

多くの項目で既婚者の「そう思う」の割合が未婚者を上回っていた（図 6-1）。その中で、差がなかった項目は「6.子育てによって、親は犠牲にするものが多くある」既婚 53.9%・未婚 53.2%であった。この項目についてはやや性差はみられ、男性 57.6%＞女性 51.1%であった。すなわち、子育てに伴う犠牲感は結婚しているか否かでは差がなく、性別は男性の犠牲感がやや高かった。

「私は、子どもが好きである」は既婚・未婚、性別は差がみられないが、図 6-1 のごとく 4 群で見ると、既婚男性 77.0%、未婚男性 62.3%、既婚女性 67.4%、未婚女性 71.3 と、既婚男性が高く、未婚男性が低いという特徴がみられる。これに似た傾向をもつのが、「子どもは、人々にうるおいや活気を与える存在である」未婚男性 72.9%、「子育てには面白いことや発見がある」未婚男性 64.0%、「自分の子どもは可愛いと思う（または思うだろう）」未婚男性 79.4%、となっており、未婚男性の肯定率が他の 3 群に比べて低くなっていた。

未婚女性は既婚女性をやや上回る 71.3%が「子ども好き」であり、85%が「子育てには、

面白いことや発見があり、子どもはうるおいや活気を与える存在である」と思っているのに対し、未婚男性はそれほど肯定率は高くない。男性の中には結婚・育児を経験を通して、子ども好きになったり、子どもの存在や子育ての意義を見いだすようになる可能性が考えられた。

全体で性差が顕著であったのは、「子どもの世話の大部分は男親でもできる」男性 48.8% < 女性 73.8% であった。4 群間では、未婚女性が 76.6% に対し、既婚男性は 45.5% と差が顕著であった (図 6-1)。

(3) 「現在子どものいる人」と「子どもを欲しくない」と思っている人の「子ども観・子育て観」比較

子どもは欲しくないと答えた 222 人 (既婚男性 20 人、既婚女性 39 人、未婚男性 58 人、未婚女性 105 人) (表 34 ; 理想の子ども数) と、既婚者で子どものいる人 2284 人 (男性 768 人・女性 1516 人) を抽出して集計し図 6-2 に示した。

子どものいる人の < 一般的子ども観 > の肯定率は男女とも非常に高く、「私は、自分の子どもはかわいいと思う (または思うだろう)」96.5% (男性 96.9%、女性 96.4%)、「子育てには面白いことや発見がある」96.3% (男性 96.2%、子ありの女性 96.3%)、「子どもは、人々にうるおいや活気を与える存在である」94.7% (男性 94.7%、女性 94.8%)、「子どもは、社会の次世代の担い手として大切である」85.7% (男性 98.2%・女性 83.9%) となっており、肯定率は 100% に接近している項目が多かった。

一方、子どもを欲しくない人は子どもを肯定的に捉えた項目の肯定率が全体に低く、特に「私は、子どもが好きである」は 11.7% で

あった。これに対し「子育てによって、親は犠牲にするものが多くある」は 75.2% と高くなっていた。

2) 子育て環境について

現在の子育て環境について、どのように思うか 1~10 の 10 項目を設問した (表 31)。

(1) 全体の傾向

全体で「そう思う」の回答率が高い項目 (70% 以上) は上位から次の通りである。

1 位「幼いころから習い事や塾に通わせることが過熱しすぎている」81.2%、2 位「安心して子どもを遊ばせることのできる場所が少なくなっている」79.8%、3 位「子どもの遊びでコンピュータゲームなどの一人遊びが増えたことには、子どもにとって好ましくないことだ」76.7%、4 位「仕事と育児を両立させるための保育・育児休暇制度などが十分でない」74.0%、5 位「子ども産業 (紙おむつ、離乳食、育児用品など) が盛んになってきたので、育児は以前より楽になった」73.7%。子どもの世話自体は育児用品などの利用で以前に比べて楽になったと認める人は多かったが、過熱気味の学習塾や習い事、社会環境の悪化に伴う遊び場の問題、コンピュータゲームの普及による遊びの変化について、多くの人が危惧を感じていた。また、仕事と育児を両立させるための制度の不十分さが指摘され、整備する必要性が再確認された。

続いて肯定率の高い項目は、6 位「乳幼児を連れて外出するには、交通機関や公共施設に不都合なことが多い」57.5%、7 位「子どもの世話をしながら働き続けると、仕事上の不利益を招く」47.3%、8 位「子育てをする親や子ども達に対し、思いやりや共感性のない人達が多い」45.5% となっていた。

社会環境における交通機関や公共施設とい

ったハード面、仕事上の不利益を受けたり、周囲が思いやりや共感性に欠けるといったソフト面、子育てのしにくさはこの両面にわたって指摘されていた。

9位「健診や保育指導サービスの内容がよくなった」25.7%、10位「保育所や児童館など児童福祉施設が整ってきた」25.1%は肯定率が低く、更に整備を進める必要のあることを示しているといえる。これらの項目は、子育ての経験がないと現状を知らず答えにくいのが実情であろうが、未婚者や子どものない人のために、子育て支援施設の存在や、利用に関する情報提供を推進することは、安心して子を生むことの一助となる重要な課題であろう。

(2) 性別／既婚・未婚別「子育て環境について」

性差がなかった項目は「子どもの世話をしながら働き続けると、仕事上の不利益をまねく」、「子育てをする親や子ども達に対し、思いやりや共感性のない人達が多い」、「幼いころから習い事や塾に通わせることが、過熱しすぎている」の3項目で、その他の項目はすべて女性の肯定率が男性を上回っていた。既婚・未婚別で差がなかった項目は「安心して、子どもを遊ばせることのできる所が少なくなっている」、「子育てをする親や子ども達に対し、思いやりや共感性のない人達が多い」、「幼いころから習い事や塾に通わせることが、過熱しすぎている」の3項目で、その他の項目はすべて既婚者の肯定率が未婚者を上回っていた。

育児環境について多くの項目では男性より女性、未婚者より既婚者の方が認識の高かったのは当然であるが、「思いやりや共感性のない社会状況」や「習い事や学習塾の過熱ぶり」

に対しては、既婚・未婚、性別を問わず認識されていた。なお、差のあった項目では、未婚男性のポイントの低さがそれぞれ未婚合計、男性合計のポイントを下げていたことは前項と同様であった(表31)。

(3) 子どものいる人のみの「子育て環境について」集計

育児環境については、子どものいない人には答えにくい項目であるので、子どものいる人のみの集計を行った。「健診や保育指導サービスの内容がよくなった」「保育所や児童館など児童福祉施設が整ってきた」は全体の肯定率がそれぞれ25%と低かったが、子どものいる女性では「健診や保育指導サービスの内容がよくなった」39.9%、保育所や児童館など児童福祉施設が整ってきた」36.1%とやや高くなっていった。現行のサービスや施設は子どものいる女性には、ある程度評価されていることが分かった。

3) 非婚・晩婚の増えた理由について

(1) 全体の傾向

非婚・晩婚傾向の理由に関する考えを1~12の12項目設問した(表32)。「そう思う」と答えた割合の多い順は以下のとおりである。1位「4.束縛されずに自由にしたい人が増えてきているからである」86.4%、2位「3.世の中が便利になり、一人でも生活できるからである」72.8%、3位「11.伝統的なライフスタイルに縛られず、結婚・出産・子育て・仕事に関することを自分の考え通りにしていきたいからである」67.3%、4位「6.対人関係が煩わしく、一人で生活している方が楽だからである」60.8%、5位「1.男性と女性の、それぞれの結婚相手に対する要求がくい違うためである」60.4%、6位「9.女は結婚しなく

とも、充実した人生を送ることができるからである」44.0%、7位「2.異性と知り合うチャンスやゆとりがないからである」42.4%、8位「5.親離れや子離れできない親子がふえてきているからである」41.3%、9位「10.男は結婚しなくとも、充実した人生を送ることができるからである」39.2%、10位「8.結婚しなくても、非難されないからである」37.6%、11位「12.社会の状況を見ていると、将来にさほど夢が描けないからである」35.0%、12位「7.対人関係や結婚生活で、失敗することが恐いからである」28.8%。

1位には「自由」をもとめていることがあげられ、結婚がいかに個人を束縛し、自由がなくなるとイメージされているかが分かった。3位の「伝統的ライフスタイルに縛られず、自分の考え通りにしたい」も同じ傾向の価値観である。晩婚化の理由として、自由への欲求が第1位で2位の「生活の便利さ」などがその実現を支えていると考えられる。

4位には「対人関係のわずらわしさ」、5位は「男性と女性の要求のくい違い」とコミュニケーションスキルの問題が続いていた。他人との関係性を深め、互いの違いを認めた上で付き合っていくことに労力を使うことをさける傾向がみられる。

(2) 性別／既婚未婚別「非婚・晩婚の増えた理由」

全体で1~3位の項目にはやや性差が認められ、「4.束縛されずに自由にしたい人が増えてきているからである」男性81.2%・女性89.4%、「3.世の中が便利になり、一人でも生活できるからである」男性69.5%・女性74.6%、「11.伝統的なライフスタイルに縛られず、結婚・出産・子育て・仕事に関することを自分の考え通りにしていきたいからであ

る」男性60.2%・女性71.4%といずれも女性の肯定率が男性を上回った。

「9.女は結婚しなくとも、充実した人生を送ることができるからである」は男性35.9%<女性48.6%と女性の肯定率が高く、11項目中性差が最も顕著であった。

既婚未婚別で差がみられる項目は以下のとおりである。「3.世の中が便利になり、一人でも生活できるからである」既婚78.1%>未婚68.9%、「5.親離れや子離れできない親子がふえてきているからである」既婚47.8%>未婚36.6%、「6.対人関係が煩わしく、一人で生活している方が楽だからである」既婚70.2%>未婚53.9%、「8.結婚しなくても、非難されないからである」既婚42.1%>未婚34.4%、「9.女は結婚しなくとも、充実した人生を送ることができるからである」既婚48.5%>未婚40.7%。以上はいずれも既婚者の肯定率が未婚者を上回っており、結婚生活の経験が反映した意見として考えられる。

「2.異性と知り合うチャンスやゆとりがないからである」は既婚36.2%<46.9%と未婚者が高く、未婚男性45.3%、未婚女性47.8%と性差なかった。当事者としての状況が明らかとなった。

(3) 結婚の意思別「非婚・晩婚の増えた理由について」

未婚者限定質問の「結婚の意思について」(表37)によって、結婚への積極度別に以下のごとく3群にわけ、非婚・晩婚の増えた理由とのクロス集計を行った。

結婚積極群：「結婚するつもりが相手がいる」921人+「相手はいないが早く結婚したい」374人+「ある程度の年齢までに結婚したい」929人の計2224人(全体の

31.4%) うち男性 769 人、女性 1455 人
非婚傾向群：「一生結婚するつもりはない」52 人+「結婚はしないがパートナーはほしい」176 人の計 228 人（全体の 3.2%）うち男性 106 人、女性 122 人
流動群：「理想的な相手がみつかれば結婚したい」1391 人（全体の 33.9%）うち男性 490 人、女性 901 人

3 群間に差が認められたのは「2.異性と知り合うチャンスやゆとりがないからである」で、男女合計の集計で結婚積極群 51.5%、流動群 44.1%、非婚傾向群 36.8%であった。性別の集計でも同傾向がみられ、結婚に積極的なほど異性と知り合うチャンスやゆとりの無さを肯定していた。

非婚傾向群が他の 2 群と差があったのは、以下の 3 項目であった。「6.対人関係が煩わしく、一人で生活している方が楽だからである」非婚傾向群 68.9%>結婚積極群 53.5%・流動群 52.1%で、この項目の非婚傾向群：女性のみでは 73.8%と更に高い肯定率であった（男性：63.2%）。

「10.男は結婚しなくとも、充実した人生を送ることができるからである」非婚傾向群 53.1%>結婚積極群 37.6%・流動群 39.8%、この項目は男女別でも同じ傾向であったが、男性がより顕著な差がみられた（男性：非婚傾向群 53.8%>結婚積極群 31.2%・流動群 35.9%）。

「12.社会の状況を見ていると、将来にさほど夢が描けないからである」非婚傾向群 47.4%>結婚積極群 33.7%・流動群 33.6%で、性別の非婚傾向群では男性 48.1%、女性 46.7%と性差がなく、他群より高い肯定率であった。

女性のみで差がみられたのは、「9 女は結婚しなくとも、充実した人生を送ることができ

るからである」非婚傾向群 56.6%>流動群 50.3%>結婚積極群 43.0%と男性より肯定率が高く、差もはっきりしていた（男性：非婚傾向群 36.8%・流動群 32.2%・結婚積極群 31.1%）。

全体で 1 位と肯定率の高かった「4.束縛されずに自由にしたい人が増えてきているからである」は非婚傾向群 90.8%>結婚積極群 85.5%・流動群 85.1%とやや非婚傾向群が高かった。

以上から結婚積極群は他群に比べ「異性と知り合うチャンスやゆとりがないこと」を、非婚傾向群は他群に比べ「対人関係が煩わしく一人の生活が楽である」「結婚しなくても充実した人生を送れる」ことを非婚・晩婚の増えた理由とする傾向があることが分かった。また、非婚傾向群は「社会の状況を見ていると、将来にさほど夢が描けない」とする傾向があることも分かった。

4) 社会通念（偏見・差別、男女の役割観）について

社会通念に関する設問として、結婚や子どもに関して（嫡子かどうかなど）偏見・差別がなくなれば子どもを生み育てる人が増えると思うか、男女の役割観が変われば、結婚する人がふえると思うかを聞いた（表 33-1、表 33-2、図 6-3、6-4）。

「結婚や子どもに関する偏見や差別がなくなれば、子どもを生む人や育てる人が今より増えるという考えに対してどのように思うか」に「そう思う」と答えたのは男性 24.8%<女性 37.1%。「夫が働き、妻が家事・育児を行うという結婚における男女の役割観が変われば、結婚する人が増えるという考えに対してどのように思うか」では男性 20.6%<女性 46.7%と、いずれも、女性の肯定率が高く

なっており、既婚未婚別では「偏見・差別」については既婚 28.3%<未婚 35.8%と未婚が高くなっていた。

別項で「公的サービスが充実すれば子を生み育てる人が増えると思うか」をきいているが(表 35)、これに「いいえ」と「わからない」と答えた人の合計は 2332 人(全体の 33%)であった。このうち 1218 人(52.2%: 全体の 17.2%)は上記の社会通念の変化「偏見は差別がなくなること」によっても「変わらない」「わからない」と答えていた。「役割観の変化」によっても同様に 53.2% (全体の 17.5%)は「変わらない」「わからない」と答えていた。公的サービスの向上・社会通念の変革いずれによっても非婚・晩婚・少子傾向が「変わらない」または「わからない」とする人は、全体の 17%程度存在した。

5) 小 括

子ども観・子育て観では、子どもの存在や子どもを育てることに関して、肯定的な意識を持つ人が多くみられたが、実際に自分で子どもを育てることについては約半数が「犠牲感」をもっていた。また、男性の半数は「子育ての大部分は男性もできる」とは思っていない。子どもの存在価値は認めるが、子育て

を自分が引き受けるかどうかは、別の問題ということであろう。しかし、子ども観について肯定率の比較的低い未婚男性と、女性との差がほとんどない既婚男性を対照させると、子どもに対するのイメージが結婚・出産・子育てを通して、マイナスからプラスへ変わっていく可能性を示していた。子育て支援はこの変化をサポートする重要な意義をもっているといえよう。

育児環境については性別・未婚既婚を問わず、ソフトとハード両面で子育てのしにくい社会環境が指摘され、環境整備の必要性が再確認された。

非婚・晩婚の理由では「自由」を求める意識が際立った。この自由を束縛するもののひとつが、偏見や差別など社会通念である。結婚や育児が自由を奪うものと認識されていたが、個々の内なる精神的束縛(たとえば、固定的な役割観)から解放されることが、結婚観・育児観の新しい展開を生むのではないだろうか。社会通念の変化がのぞまれる。

(齋藤幸子)

図6-1 子ども観・育児観について「そう思う」と答えた割合 (%)

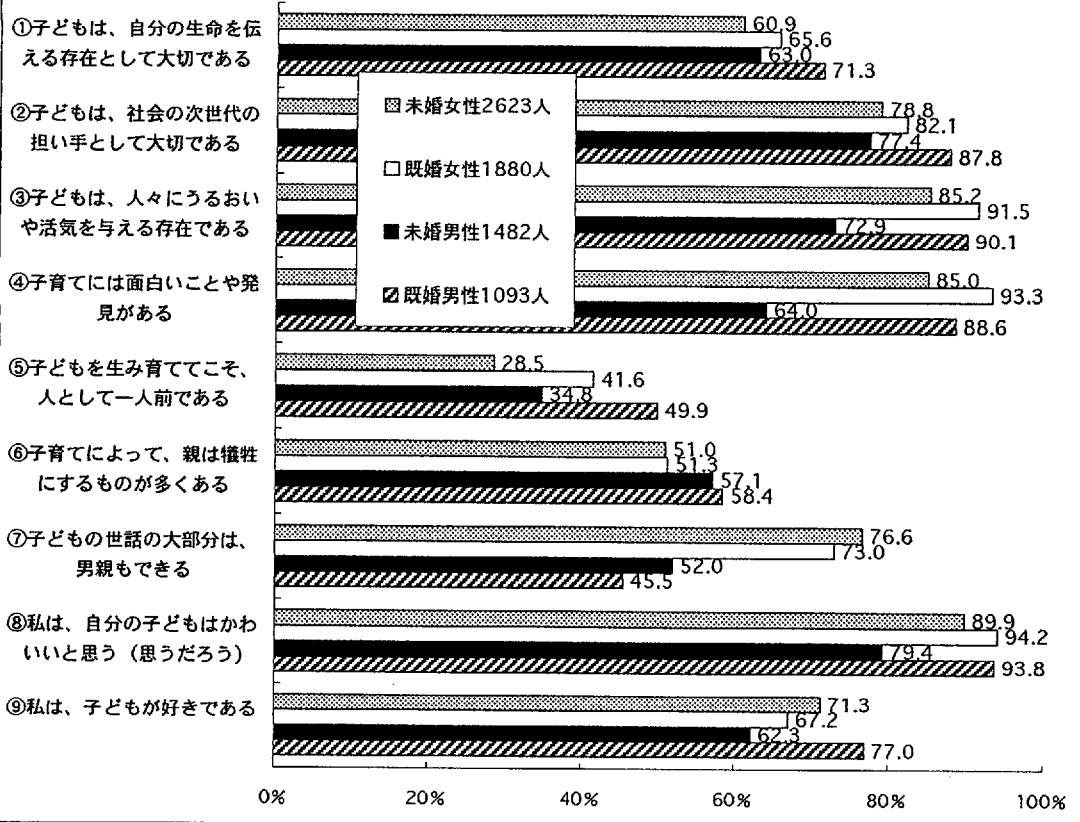


図6-2 子ども観・育児観について「そう思う」と答えた割合 (%)

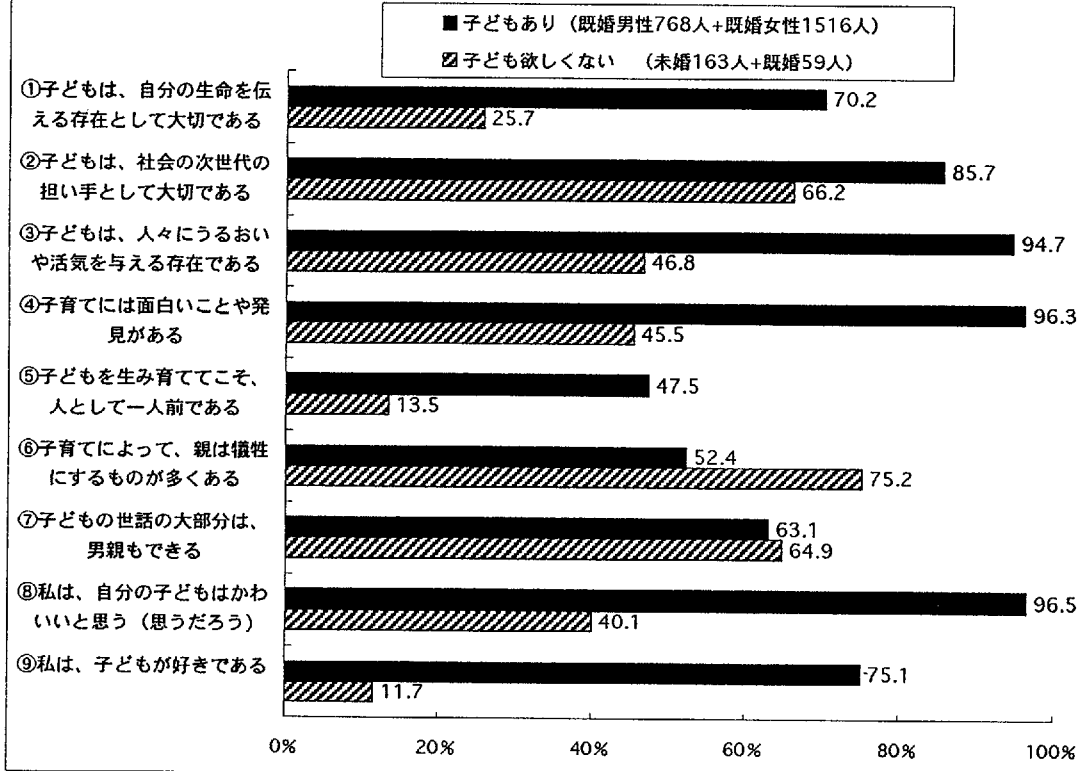


図6-3 「結婚や子どもに関する偏見や差別がなくなれば子どもを生む人や育てる人が今より増えるであろう」という考えがありますが、あなたはどのように思いますか。

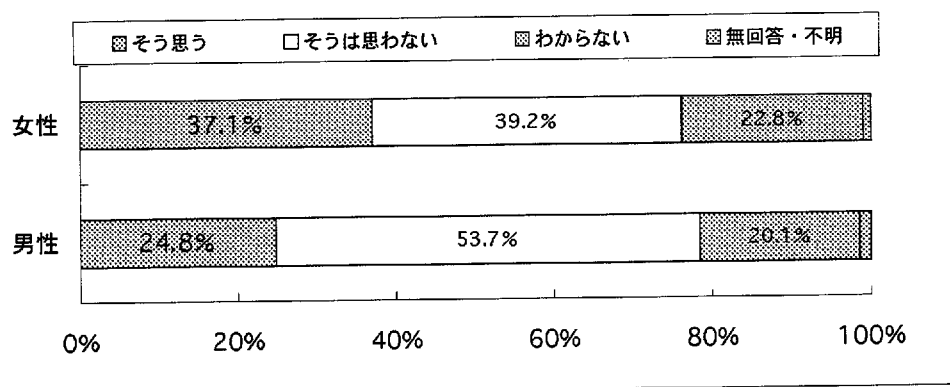
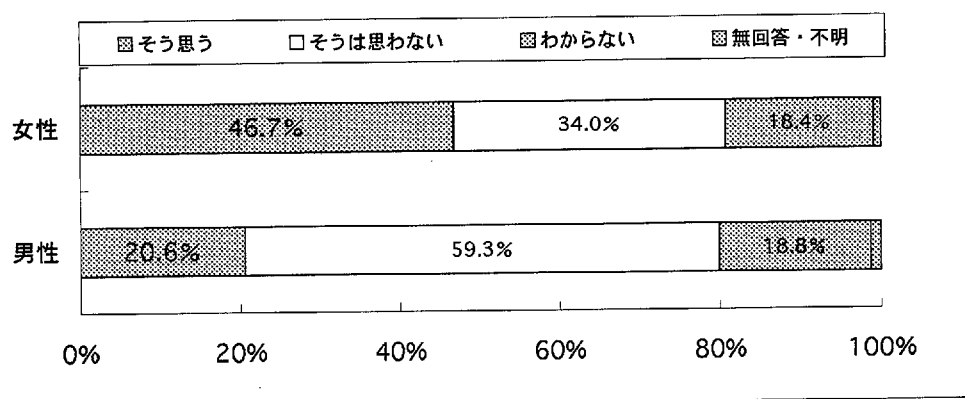


図6-4 「夫が働き、妻は家事・育児を行うという結婚における男女の役割観が変われば、結婚する人が増えるであろう」という考えがありますが、あなたはどのように思いますか。



7. 未婚者の結婚観と既婚者の結婚観・子ども観

1) 理想の子ども数

「あなたの理想としては、全部で何人くらい子どもが欲しいですか。当てはまる番号1つに○印をつけてください」という間に、／欲しくない／1人／2人／3人／4人以上／成り行きにまかせる／わからない／欲しいが事情があつてあきらめざるをえない／という選択肢から選んでもらった。

理想の子ども数(表34)は、未婚者では「2人」が男性47.3%、女性49.0%で1位、「3人」が男性18.9%、女性25.1%で2位であった。また「成り行きにまかせる」とするものが男性9.6%、女性7.5%であった。「欲しくない」ものは男性3.9%、女性4.0%であった。

既婚者では、「2人」が男性51.9%、女性37.6%、「3人」が男性18.9%、女性41.1%で、男性では「2人」が1位、女性では「3人」が1位と、順位が逆転が見られた。3位は男性では「1人」4.8%、女性では「4人以上」5.3%で、既婚女性の理想子ども人数は、既婚男性より高いことがわかった。「成り行きにまかせる」は男性3.1%、女性3.7%で、未婚男女より少なかった。「欲しくない」ものは男性1.8%、女性2.1%で、特に男性で未婚より少なかった。

理想の子ども数をあげたもののみについて、平均をとると(4人以上を4人として計算)、未婚男性2.14人、未婚女性2.18人、既婚男性2.32人、既婚女性2.48人で、既婚者、特に既婚女性がやや多かった。

理想の子ども数をいくつかの背景的事項との関係を見ると以下のごとくである。

理想の子ども数と年齢の関係： 具体的に子ども数をあげたものについて、平均で見ると

(但し4人以上は4人とした)、未婚男性の20-24歳では2.14人、25-29歳では2.21人、30-34歳では2.05人、35歳以上で1.96人であった。未婚女性では20-24歳で2.26人、25-29歳で2.11人、30-34歳で1.94人、35歳以上で1.87人であった。未婚の男女で年齢が高くなると理想の子ども数が減少するのは、ある意味で当然ともいえる。

既婚男性では25-29歳で2.23人、30-34歳で2.29人、35歳以上で2.40人であった。20-24歳では2人と答えたのが5人、3人と答えたのが4人で平均は2.44人であったが、早婚の男性の理想の子ども数は、多少多いといえるかも知れない。既婚女性では20-24歳では2.32人、25-29歳で2.35人、30-34歳で2.49人、35歳以上で2.55人であった。既婚者では年齢が高くなると理想の子ども数が増加するのは、現在の子どものほかに何人欲しいかと考えるためであろう。

理想の子ども数ときょうだい数の関係： 未婚男性ではきょうだい数1人(一人っ子)で平均2.07人、2人で2.05人、3人で2.27人、4人以上で2.44人であった。同様に未婚女性で、それぞれ、2.08人、2.14人、2.27人、2.36人であった。また、既婚男性ではそれぞれ2.01人、2.27人、2.47人、2.43人、既婚女性では2.36人、2.40人、2.57人、2.62人であった。これから見ると本人のきょうだい数が3人以上では、2人以下より理想子ども数が多いといえよう。

理想の子ども数と最終学歴： 既婚男性で中学校卒業が2.75人と高校以上卒の2.3-2.4人に比し高かったが、実数わずか11人であり、標本の偏りも疑われるので、解釈は差し控える。

理想の子ども数と現在の子ども数：理想の子ども数が現在の子ども数を下回っているもの、すなわち現在の子ども数が多すぎると感じているものは既婚男性では少ない。子ども数1人のもので「欲しくない」とするものは、理想数を答えた332人中2人であり、現在子ども2人では、「欲しくない」、「1人」とするものはなく、現在子ども3人のものでは、理想数を答えた74人中理想数2人以下は3人であった。

既婚女性では、現在子ども数1人で「欲しくない」は理想数を答えた342人中5人、現在2人で理想数0-1人は719人中12人、現在3人では理想0-2人は312人中23人で、既婚男性より、現在の子どもが多すぎると感じているものが多かった。

理想の子ども数と職業の関係：未婚女性のうち学生の理想子ども数が2.37人で、それ以外の2.1人前後に対し、やや多いが、保育科学生が多く含まれているためであろう。既婚女性の勤め人（工場などの現場）の理想子ども数が3.5人で飛び抜けて大きいのが、地域の偏りのためと思われる。

2) 子どもを産めない理由

「子どもが欲しくない、あるいは理想より子どもの数が少なくなる理由」について尋ねた（表34-1）。未婚男性で最も多かったのは「養育費などお金がかかるから」15.2%で、2位「育児が大変だから」9.0%、3位の「仕事や趣味を優先したい」6.5%、4位「育児の社会的な支援体制が不十分だから」5.7%などを抜いていた。女性も1位は「養育費などお金がかかるから」17.7%、2位「育児が大変だから」9.8%、3位「年齢的な理由」7.8%、

4位「妊娠・出産が大変だから」6.9%であった。5位に「育児と仕事の両立が困難だから」6.1%があるのが注目される。

既婚男性では、1位はやはり「養育費などお金がかかるから」24.4%、2位は「育児が大変だから」9.5%であったが、3位には「育児の社会的支援体制が不十分だから」8.5%が来た。「仕事や趣味を優先したい」、「妊娠・出産が大変だから」、「年齢的な理由」がいずれも5.3%で4位となった。既婚女性は、1位は「養育費などお金がかかるから」30.1%、2位は「育児と仕事の両立が困難だから」17.8%、「育児の社会的支援体制が不十分だから」12.3%であった。「年齢的理由」9.9%、「育児が大変だから」9.8%がそれに次いでいる。

未婚男女では可能性の問題として考えているのに、既婚男女では実際の切実な悩みとしてでてきていることがうかがえる。

3) 未婚者への質問

(1) 未婚者の結婚志向

「あなたの結婚に関するお考えなどは、次のどれに当てはまりますか。」（表37）という問に対しては、男性では19.5%の「結婚するつもりが相手がいるが、時期を待っている」ものを別にすると、「理想的な相手がみつければ、結婚したい」が33.1%で最も多く、ついで「現在相手はいないが、ある程度の年齢までに結婚したい」が24.2%でそれに次ぎ、「現在相手はいないが、早く結婚したい」は8.2%であった。「結婚はしたくないが、パートナーとなる人がほしい」は5.1%であり、「一生結婚するつもりはなく、パートナーもいない」は2.1%と少なかった。

女性では、「結婚するつもりが相手がいる」ものは24.1%で男性より多い。これを除いて、「理想的な相手がみつければ、結婚したい」

が 34.3%で1位、「現在相手はいないが、ある程度の年齢までに結婚したい」は 21.8%と2位、「現在相手はいないが早く結婚したい」が 9.6%と3位で、順位、割合なども男性とほとんど同じであった。「結婚はしたくないが、パートナーとなる人がほしい」は 3.9%、「一生結婚するつもりはなく、パートナーもいらない」は 0.8%にすぎなかった。

これで見ると制度的な結婚に抵抗を感じているものは存在するが、積極的に独身を通すつもりのもは少ない。

(2) 未婚の理由

「現在、未婚またはシングルでいる理由を以下の中から、3つ以内○印をつけて選んでください」(表38)に対しては、1位は「適当な相手が見つからない」で男性 43.1%、女性 44.8%、2位は「年齢がまだ若い」で男性 40.1%、女性 36.6%であった。「自由さや気楽さを失いたくない」は男性 25.6%、女性 32.7%、「経済的・物理的理由」は男性 40.2%、女性 23.3%で、この二つは男女差が大きい。「必要を感じない」が男性 26.6%、女性 25.0%で5位である。「仕事(または学業)が忙しい」は男子 19.1%、女子 14.9%、「仕事(または学業)に打ち込みたい」は男性 7.6%、女性 10.2%で、仕事に使命感をもつのは、女性に多い結果となった。「結婚生活に自信がない」は男性 7.8%、女性 13.0%で、女性に多いが、仕事と家庭との両立の困難さを意味しているのかもしれない。「相手の都合」というのが男性 5.3%、女性 8.7%、「結婚はめんどろ」というのが男性 7.5%、女性 7.6%にあった。

「あなたは何歳くらいの時に結婚したいですか」では、「25～29歳頃」が男女とも1位で、男性は 42.0%、女性は 50.7%であった(表39)。男性は「30～34歳頃」が2位

で 27.5%、24歳までには 4.3%であった。女性は「24歳までに」が 15.4%、「30～34歳頃」が 15.3%でほぼ伯仲している。「年齢にはこだわらない」ものは男性 11.3%、女性 12.3%であった。これからみると、結婚年齢についてのこだわりは、依然として存在するが、弱まっているとはいえそうである(特に女性について)。

未婚の理由—年齢別： シングルでいる理由を、20-24歳、25-29歳、30-34歳、35-39歳の4群に分けて集計した。「適当な相手が見つからない」ものは、男性では、上述の群の順に、34.2%、40.5%、56.8%、66.7%で、年齢の順に上昇するのは、「適当な相手が見つかった」順に結婚してゆくとすれば、「相手が見つからない」ものが高年齢で増加するのは当然であろう。女性では、33.7%、52.2%、63.9%、64.1%で、30-34歳、35-39歳でほぼ同率となるのは、女性では30歳に何らかの境があるのだろうか。

「自由や気楽さを失いたくない」ものは、男性では 21.9%、33.3%、29.9%、19.4%であった。20-24歳には学生が多く含まれ、結婚が差し迫った問題でないと解すれば、この年齢層で、これを選択するものが少ないことが理解できる。25歳以降は年齢と共に下降するのは、結婚に対する切実さの増大と考えてよいだろう。それに対して、女性では 28.7%、41.6%、41.4%、41.0%となり、25歳以降 41-42%と一定となるのは、独身生活のパターンが固定されるためと考えられる。

「経済的・物理的理由」は、男性で 47%、43.0%、28.2%、36.6%で、学生の多い 20-24歳を除くと、25-29歳よりも 30-34歳の方が経済的障害が減少するのは、年功序列的給与体系から理解できるが、35-39歳の層で増大

するのは、経済的・物理的理由で結婚できない人たちが残ったのかも知れない。女性は29.2%、21.2%、10.9%、7.7%と年齢と共に減少する。

「必要を感じない」ものが、男性で28.4%、26.6%、25.2%、23.7%と年齢と共にわずかに減少する。女性では28.9%、19.8%、17.7%、21.4%と、35-39歳で上昇するのは、「自由さ...を失いたくない」とあわせ考え、独身生活の固定化と考えられる。

「結婚はめんどろ」、「従来の結婚形態がいやだから」が男女とも年齢とともに上昇するのは、そのような考えの人が結婚せずに残るということであろう。

(3) 結婚で失うもの

「結婚生活で、＜犠牲にしたくないもの＞と＜犠牲にしてもよいもの＞」(表40)について尋ねた。現代社会は、独身者にさまざまなメリットを提供しており、結婚がそのようなメリットを犠牲にすることだという意識を、独身者が持っているのではないかと考えられたからである。

男女あわせて、「結婚生活で犠牲にしたくないものがある」とするものが、70.3%、「犠牲にしてもよいものがある」とするものが、56.2%であった。「犠牲にしたくないものがある」ものは、男性は59.1%であったが、女性は71.3%で、女性の方が結婚で失うものがあると考えているようであった。ほかに「何も犠牲にしたくない」とするものが15.3%あった。

男女とも「犠牲にしたくないもの」の1位には「自由な時間・行動」(男性64.0%、女性74.2%)があげられ、2位には「生き方(思想・主義・宗教)」(男性58.0%、女性44.9%)、3位には「現在の経済水準」(男性25.9%、女性38.8%)があげられた。「現在の職場(仕

事)」は4位であったが、「犠牲にしたくないもの」の回答者のうち、男性の16.0%、女性の12.3%があげたにすぎなかった。

「犠牲にしてもよいもの」では、男女に違いがあり、男性では1位は「現在の居住地」47.8%、2位は「親との同居」31.4%、3位は「現在の経済水準」27.5%、女性8.7%で、「自由な時間・行動」26.1%がそれとほとんど並んだ。女性では1位は「自分の姓(苗字)」71.4%、2位は「現在の職場(仕事)」35.2%、3位は「現在の居住地(住居)」35.2%、4位は「親との同居」18.6%であった。男女差が大きいものは、「自分の姓」を犠牲にしてよいものは、女性71.4%に対して男性21.4%、「現在の職場(仕事)」を犠牲にしてよいものは、女性43.8%に対して男性17.1%であった。また、「親との同居」を犠牲にしてよいものは、男性31.8%に対して女性18.6%、「現在の経済水準」を犠牲にしてよいものは、男性27.8%に対して女性8.7%、「自由な時間・行動」を犠牲にしてよいものは男性26.4%に対し、女性6.3%であった。「犠牲にしたくないもの」にも「犠牲にしてもよいもの」にも、「現在の経済水準」と「自由な時間・行動」が選ばれていること多いのが特徴的であった。

結婚で失うもの一年齢別： 「自由な時・行動」を犠牲にしたくないものは、男性では、年齢層順に41.6%、45.8%、43.2%、38.2%であった。学生の多い20-24歳を別にして、年齢とともに下降している。これを「犠牲にしてもよいもの」のほうから見ると、年齢とともに上昇しており、年齢が進めば、「自由な時・行動」より結婚をとる傾向が見られた。女性では、「自由な時・行動」を犠牲にしたくないものは、56.3%、56.1%、48.9%、47.9%であった。男性と同様、年齢とともに下降したが、

30-34 歳と 35-39 歳が接近していることが注目される。反対に「自由な時・行動」を犠牲にしてよいものは女性では年齢に関わらず少ない。ただ、女性では犠牲にしてよいものは、「現在の居住地」、「自分の姓」、「現在の職場」に集中したので、他の項目が低下して解釈しにくくなった。

「生き方（理想・主義・宗教）」を犠牲にしたいくないものは男性で 38.3%、37.8%、37.6%、38.7%と年齢的差は少ない。女性では 32.9%、30.2%、38.0%、29.9%となったが、年齢による変動の理由はさらなる解析が必要であろう。

「現在の経済水準」は男性では 13.9%、21.9%、21.8%、11.8%と 35-39 歳では、下がる。女性では 22.2%、40.3%、40.6%、45.3%と 35-39 歳で上昇し、男性と逆の傾向となる。

(4) 結婚プレッシャー

「あなたは現在、あなたの結婚に関するプレッシャーを周囲から感じていますか」（表 4 1）については、男性で「非常に感じる」、「かなり感じる」をあわせて 12.2%、「少し感じる」が 28.2%、「感じない」が 55.5%であった。女性では「非常に感じる」、「かなり感じる」をあわせて 18.2%、「少し感じる」が 31.4%、「感じない」が 48.6%であった。現在では、男女とも周囲からの結婚に関する心理的プレッシャーは一般に弱いと思われた。

「プレッシャーはどこから」（表 4 1-1）については、男性では 1 位は「親から」で 58.8%、2 位は「職場で」32.9%、3 位は「友人から」と「ばく然と」で共に 27.5%であった。女性では 1 位は「親から」64.1%、2 位は「親戚から」32.0%、3 位は「友人から」27.1%であったが、「職場で」、「ばく然と」が 26.5%、25.9%でほとんどそれに並んでいた。女性のほうが多方面からプレッシャーを受けている

が、特に「親戚から」が男性との違いが大きかった。

「プレッシャーに対して」（表 4 1-2）の反応は、「自分は自分だからあせらない」が男性 64.6%、女性 53.2%で男女とも 1 位、「あせるが具体的行動はおこさない」が男性 23.5%、女性 33.5%と 2 位となった。

(5) お見合・結婚相談所

「個人の紹介によるお見合い経験」（表 4 2）のあるものは、男性 8.9%、女性 16.2%、「結婚相談所・お見合い紹介システムの利用」（表 4 3）の経験は、男性 2.4%、女性 2.9%であった。

4) 既婚者への質問

(1) 知り合ったきっかけ

「結婚している相手と知り合ったきっかけ」（表 4 4）は、男女とも「仕事の関係」が 1 位で男性 45.5%、女性 34.2%、2 位は「友人・知人などを介して」男性 22.6%、女性 30.0%、3 位は「学校が一緒だった」男性 13.3%、女性 10.9%などである。これに次いで「趣味・嗜好を同じくする人の集まりで」が男性 5.2%、女性 5.6%であった。既婚合計ではこれと並んで 4 位であるが「個人的なお見合い」が男性 3.5%、女性 6.6%で男女に差があった。

(2) 結婚を決意した理由

「結婚を決意した理由」（表 4 5）については、既婚合計で 1 位は「一緒に暮らせそうな人だと思えたから」男性 42.4%、女性 32.1%、2 位は「好きな人と一緒にいたかったから」男性 33.7%、女性 36.3%であった。男性、女性別では順位が逆転しているが、特に意味があるとは思えない。男性の 3 位は「安らぎを得たかった」5.6%、4 位は「相手が強く希望

したから」4.3%であった。女性の3位は「相手が強く希望したから」6.9%、4位は「子どもができた」6.2%であった。

5) 小 括

独身者では、積極的に独身を通すつもりものは少ない。しかし、結婚は独身生活の楽しさを犠牲にしなければならないと考えているものも多い。

結婚年齢についてのこだわりは存在するが、かなり弱くなっている。周囲からのプレッシャーは、特に女性に対して存在するが、あま

り強いとはいえない。

既婚者への間では、結婚相手との出会いは、職場が多く、次いで同じ学校の出身であった。

理想子ども数は2人、3人をあげるものが圧倒的に多く、未婚者より既婚者、特に既婚女性の理想子ども数がやや多かった。

理想子ども数を産めない理由としては、養育費などの経済的理由を含め、仕事と育児を両立させる社会的条件が不十分なことがあげられていた。

(宮原 忍)

図1 シングルでいる理由（男性：年齢層別％）

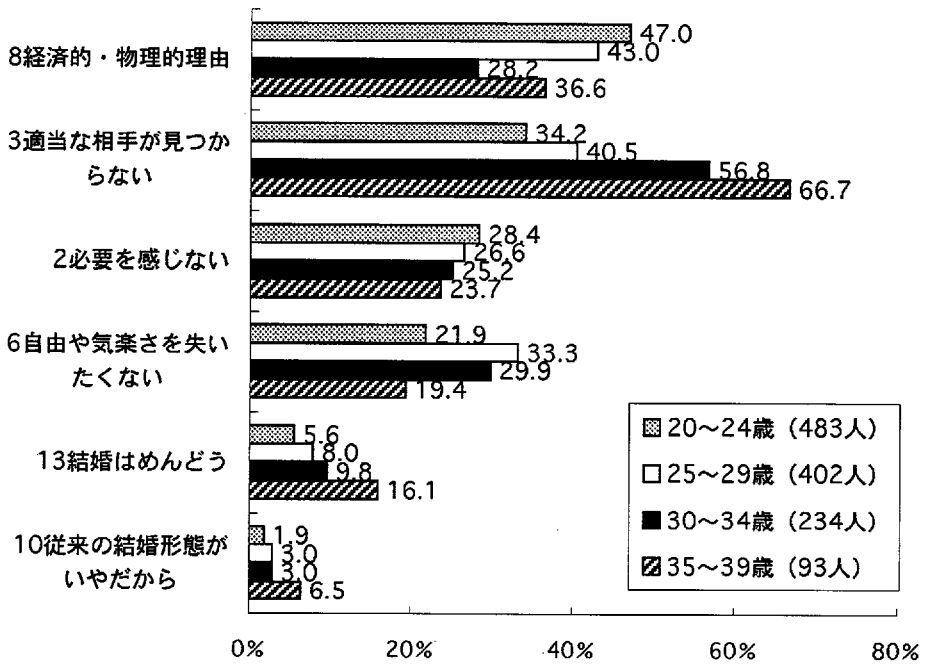


図2 シングルでいる理由（女性：年齢層別％）

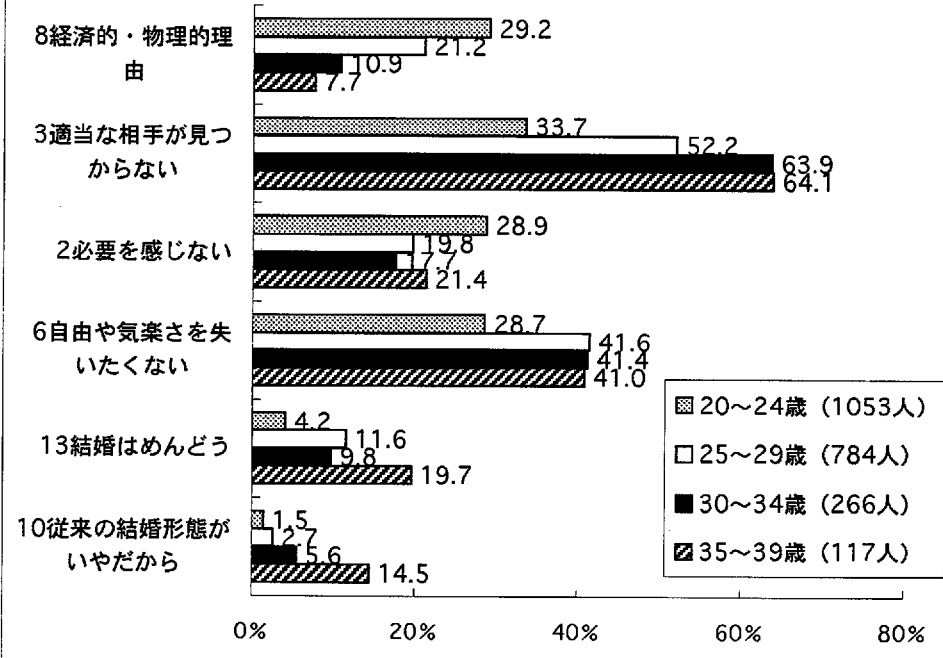


図3 結婚で犠牲にしたいくないもの（男性：年齢層別％）

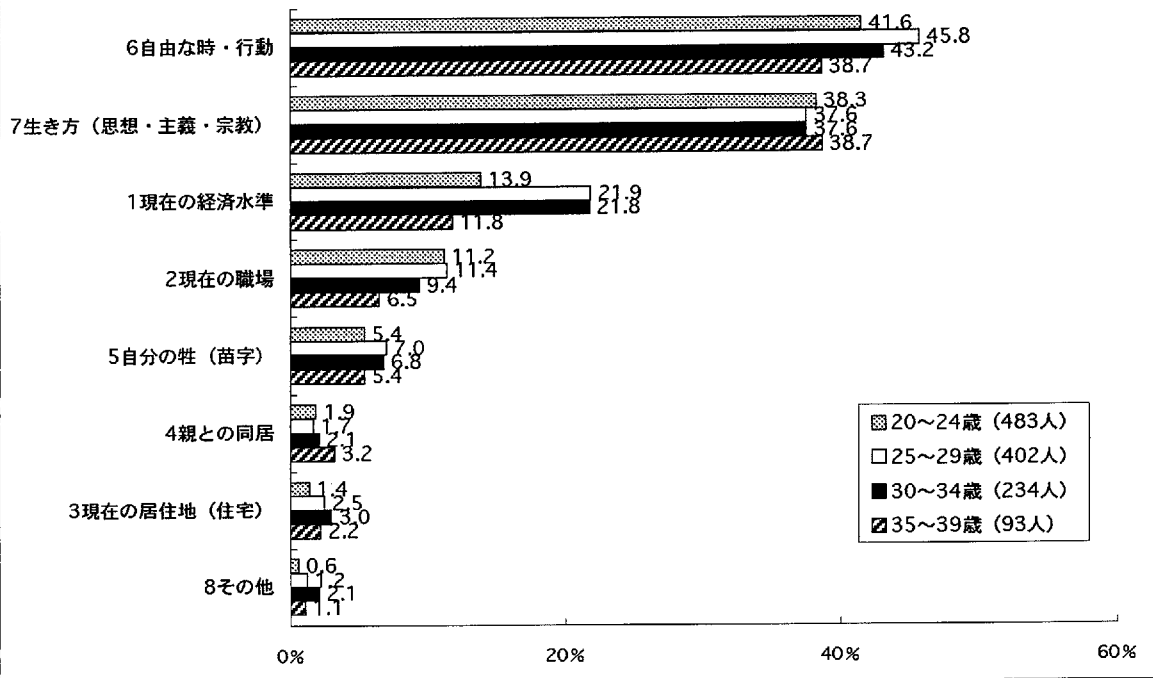


図4 犠牲にしてよいもの（男性：年齢層別％）

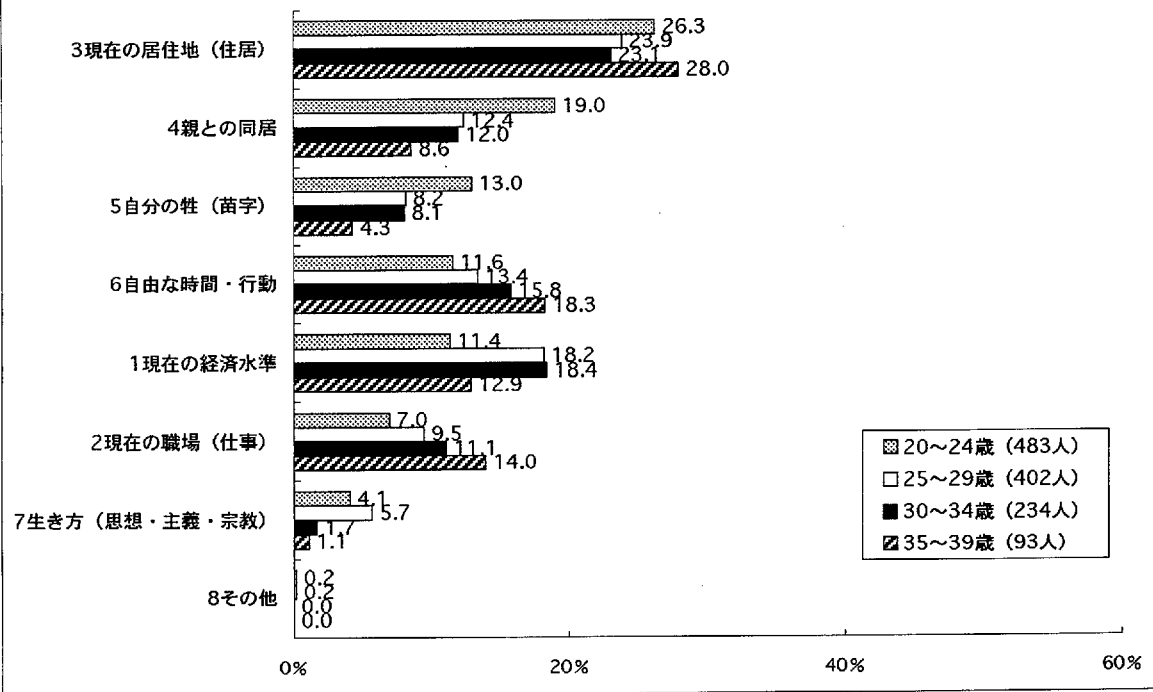


図5 結婚で犠牲にたくないもの（女性：年齢層別％）

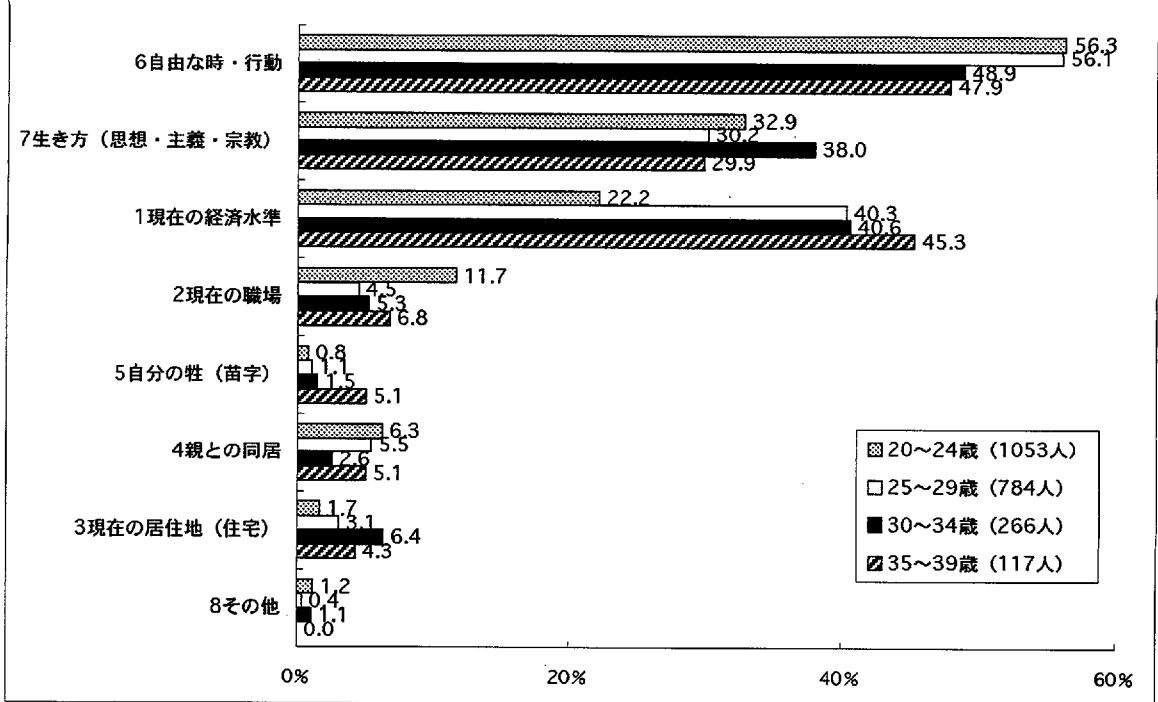
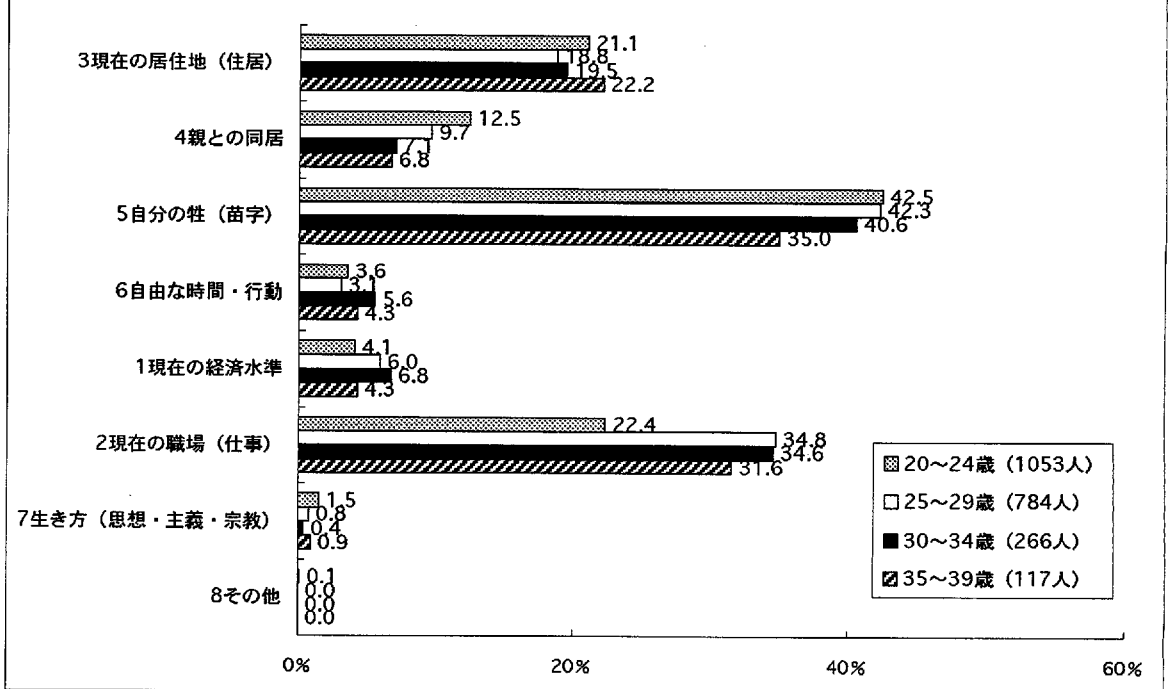


図6 結婚で犠牲にしてもよいもの（女性：年齢層別％）



8. エンゼルプランに関する認識

1) エンゼルプランの内容

エンゼルプラン（今後の子育て支援のための基本的方向について）は、少子化の進行や女性の社会進出などに対応し、行政をはじめ企業・職場や地域など社会全体の協力のもとに、安心して子どもを生み育てることができる「子育て支援社会」を構築するために策定された1）。

①子育てと仕事の両立支援の推進（育児休業制度の充実など、労働者が子育てをしながら安心して働くことができる雇用環境を整備し、さらに、低年齢児保育の拡充など保育サービスの整備、保育システムの多様化・弾力化を進める）、②家庭における子育て支援（安心して出産できる母子保健医療体制を整備するとともに、地域子育て支援センターの大幅な拡充などを進める）、③子育てのための住宅および生活環境の整備（良質な住宅の供給などによりライフサイクルに応じた住宅の確保を容易にし、家族のだんらんやゆとりある住生活を実現する）、④ゆとりある教育の実現と健全育成の推進（教育内容・方法の改善・充実、受験競争の緩和などによりゆとりある学校教育の確保を図るほか、家庭教育などを充実する）、⑤子育てコストの軽減（育英奨学事業の充実などにより修学などのための経済的負担の軽減を図るとともに、子育てコストへの社会的支援のあり方について検討する）の施策を推進することとした。

2) エンゼルプランへの希望

エンゼルプランの内容を、一般の人達にわかりやすいように9項目に分類し、その中から最も力を入れて欲しい施策を3つ選択させた結果を、男女別、未既婚別、地域別に検討

した（表35）。

希望する施策として最も多かった内容は、「子育てにともなう経済的負担の軽減（保育料、児童手当、税制上の措置）」62.4%であり、以下、「ゆとりある学校教育の推進（環境整備、受験競争の緩和など）」37.1%、「育児休業中の所得保障の充実」34.4%、「保育施設・保育サービスの充実」34.1%、「子どもに安全な遊び場や文化・スポーツ・自然などの活動体験メニューの充実」31.3%、「育児休業中の勤務時間の短縮や全体の労働時間の短縮」30.8%の順であった。

実際に子育てしていく際には、いろいろな面で費用がかかる点と、また調査時の平成不況を反映して、経済的な援助を希望する意見が多かった。しかし、国や地方自治体の財政も厳しく、多少の手当等の増額を行っても効果は少ないであろう。それよりも子育てにともなう実質的な経済的負担を、税制上控除する方針をより明確にして、宣伝する方が効果的であると考えられる。

①男女別比較

男女別の比較では、「育児休業中の所得保証」は（男 26.4%、女 39.0%）、「勤務時間の短縮」（23.7%、35.0%）、「保育の充実」（27.8%、37.7%）であり、仕事と保育に関する要望が女性に多かった。女性は、働く場合に子どもの保育や育児をどのようにしたら良いかに関心が比較的多かった。

それに対して、「良質な住宅の供給（職住接近、子育て家族向き）」（24.8%、11.4%）と、「子どもに安全な場の充実」（37.7%、27.7%）は、男性に多かった。男性は、どちらかという子どもが生活する場に関する関心が多かった。

②未既婚別比較

未既婚別にみると、既婚者は男女とも、「経

済的負担の軽減」(男 73.2%、女 73.9%)、「保育サービスの充実」(31.7%、41.9%)の希望が、比較的多かった。これらが、結婚して子育てをしていく場合の現実的な問題点であると考えられる。

「育児休業中の所得保障」や「労働時間の短縮」は、男性では、既婚者より未婚者の希望が多く、その割合は多少低いながらも、女性の割合に近づいていた。年齢別の比較では、未既婚とは無関係に若い男性が高かった。一般的な社会情勢を反映して、子育てに関する理解が、若い男性ほど高まってきている結果であろう。

③地域別比較

地域別の比較では、1995年の合計特殊出生率2)が1.11と最も低かった東京都(1.42以下の地域)と、1.62以上と高かった11県(岩手、山形、福島、福井、長野、鳥取、島根、佐賀、宮崎、鹿児島、沖縄)の平均値を比較すると、「良質な住宅の供給」が(前者29.4%、後者13.2%)であり、東京都の人は、より良い住宅を求める傾向が強かった。

それに対し、「育児休業中の所得保証」は、(23.8%、45.3%)であり、出生率が比較的高い地域では、子育て中の経済的な保証をより多く望んでいた。

エンゼルプランに関して、それぞれの地域の実情に応じたきめの細かい対策と対応が必要である。

3)理想の子ども数

理想の子ども人数は、全体では2人46.0%、3人29.3%と、2人が最も多かったが、既婚女性では3人(41.1%)が最も多かった(表34)。国が公表する標準家庭の子ども数が2人になっているので、理想子ども数2人との回答が多かったと考えられる。しかし、子育

て経験をしている既婚女性では3人が多かったのが、実際には、3人を望む人が多いのではない。

理想子ども数は、東京都の2人51.3%、3人22.0%に対し、高出生率の11県の平均値は2人39.2%、3人39.1%であった。実際の出生率の高低と、理想子ども数の多い少ないとの関連を示している。

子どもが欲しくない方、欲しいが実際は理想より子どもの数が少なくなりそうな方への理由を質問した(表34-1)。最も多かった内容は、「教育費などお金がかかるから」21.5%であり、次いで「育児が大変だから」9.6%、「育児と仕事の両立が困難だから」8.1%、「育児の社会的支援体制が不十分だから」7.9%であった。金銭面を含めた育児への負担軽減などがより多く望まれる。

4)今後の子育てへの希望

「子育てに関する公的サービスや雇用環境が充実したら、今より子どもを生み育てる人が増えると思いますか」の質問に対して、全体で63.3%が「はい」と回答し、その割合は既婚者に高かった。育児は以前より楽になったが、保育・育児休業制度などが十分でないと考えた人達が多かった(表31)、子育て環境のより一層の改善が望まれる。

子育て自身は楽しいと感じている人達が、既婚者では男女とも約90%であった(表30)、過剰な教育熱による不必要な教育費を減らしたり、子育てしながらも親自身の将来性を保証できる社会体制にしたり、子育てからの各種の束縛を取り除くことが、これからの日本を考えていく場合には是非、大切であると考えられる。

5)小括

エンゼルプランの内容別の希望では、「子育ての経済的負担の軽減」が最も多く望まれていた。そして、大都市圏では劣悪な住宅環境の改善、地方では育児休業中の所得保障を望む意見が比較的多かった。地域の実情にあったプランを策定し、一つ一つ子育てからの束縛を取り除き、改善していくことが必要である。そのようにして、よりよい子育て支援社会が形成されると考えられる。

参考文献

- 1) 厚生省児童家庭局監修：児童福祉法改正のポイント。1997。
- 2) 厚生省母子保健課監修：母子保健の主なる統計。1997。

(加藤忠明)

IV. 結 論

少子対策として、地域特性を十分に考慮しつつ、子育ての経済的支援・保育体制の充実が必要であることが、20代30代の男女対象および有識者対象の2つの調査によって再確認された。しかし、公的サービスの充実や雇用環境の整備により出生率の上昇が起きるかどうかについては、疑問をもつ人が20代30代の男女の1/3を占めた。現行の施策では対応できない要因とは何か。3歳児神話などが国の伝統的育児概念なども含め、結婚・出産を躊躇する人々の意識について観点別に整理し、提言を含め以下に示す。

- ① 家族関係：子の結婚により親子関係は変化するが、それぞれの親子によって、経済的・心理的つながりはさまざまな形相を示しながら続いていくことが明らかとなった。青年の＜離家年齢＞と結婚の関連を検討する場合、親子の経済的・心理

的つながりの分析が必要であり、その背景にはわが国の生活コストの高さや従来の親子観・育児観など社会・文化的要因を十分考慮する必要がある。その上で、家族構成の変化や加齢を踏まえた家庭支援策の検討が必要である。

- ② 心配事やストレス：仕事や経済や家族といった生活基盤に関する心配事が多くあげられた。その影響は心身両面へ広範囲に渡っており、結婚や性生活への影響も少なからず認められた。女性では、家庭内の心配ごとが男性より多く、身体面への影響もより多く感じていた。子どもが生まれてから支援するだけではなく、それ以前から、若い世代の男女それぞれが生活基盤の安定感・将来に対する安心感をもてるような施策が必要である。
- ③ 対人関係：未婚者の場合、休日に一人で過ごす割合が高く、既婚者の結婚相手は、仕事関係で出会った、というように交友関係は広くないことがわかった。非婚・晩婚の理由に対人関係が煩わしいからであると回答しているなど、対人関係が築きにくい傾向があることが認められる。
- ④ 結婚と育児に関する概念と実際：多くの人々が結婚はしたいと思っているが、自由を犠牲にしたくないので、理想の結婚にはなかなかたどりつけない。また、子どもは欲しく、社会にとって必要だと思うが、自分で育てるのは犠牲が多いと思っている。すなわち、自己犠牲が伴わない範囲で、結婚・出産を望んでいる。個人生活と、家庭生活・職業生活をどのように折り合いをつけていけるか、個人の問題としてではなく、家庭のあり方、社会のあり方として問われているといえよう。

- ⑤ 社会通念の変革と出生率：結婚形態や子どもに関する差別や男女の固定的役割観など、社会通念の変革によって結婚・出産が増えると思うかでは、女性が男性より多く肯定しており、特に男女の役割観について顕著な差がある。社会通念の変革はどのようにしたらもたらされるのか、具体策の検討が必要である。
- ⑥ 社会環境：子育てを取り巻く環境の不備や変化に対する指摘が高率であった。有

識者対象調査においても、人にやさしい社会環境を築き上げる必要性が指摘された。われわれが、人との関わりをどのように考え、どのような社会に生き、どのような人生を送りたいと考えるか、成熟社会への変革の可能性が問われているといえよう。

(高野 陽)

結婚・出産・育児と社会環境に関するアンケート調査

<付表一覧>

- 表1：年齢
 表2：性別
 表3：出生地
 表4：居住地
 表5-1：兄弟姉妹人数
 表5-2：何番目
 表6：最終学歴
 表7：職業
 表7-1：勤め人の就業状況
 表7-2：勤め人の夜勤の有無
 表7-2-1：夜勤回数
 表8：結婚歴（既婚/未婚）
 表8-1：結婚年齢
 表9：同居人
 表10：子どもの有無
 表10-1：子ども人数
 表10-2：子どもの年齢（複数回答）
 表10-3：出産年齢（1人目）
 表11：親と同居
 表12：親の接し方
 表13：親とのつながり
 表14：現在の親との関係
 表15：住居
 表16：平日の睡眠時間は足りているか
 表17：食事のしかたについて
 表18：休日などの自由時間に過ごす相手
 表19：余暇の過ごし方（コンピュータゲームやビデオ鑑賞をする頻度）
 表19-1：コンピュータゲームで余暇の過ごす利点（複数回答）
 表19-2：ビデオ（鑑賞）で余暇の過ごす利点（複数回答）
 表20：心配ごとと有無とストレスの程度
 表20-1：心配ごとなどからくる影響
 表21：心配ごとの話し相手・相談相手の有無
 表21-1：心配ごとの話し相手・相談相手はだれか（複数回答）
 表22：プライベートで使っている通信機器
 表23：結婚・出産・育児等の知識の情報源（複数回答）
 表24：中学生頃まで過ごした地域
 表25：地域行事・活動などが盛んだったか
 表25-1：行事・活動への関わり
 表26：中学生の頃の家族構成
 表27：中学生から20歳頃までの親の接し方
 表28：中学生あるいは高校生の頃に赤ちゃんや子どもの世話をしたり遊んだ経験
 表29：1人暮らしの経験
 表29-1：生活した経験はいかがですか
 表30：子どもや子どもを生き育てることについて
 表31：子育ての環境について
 表32：結婚しない人や、晩婚の人が増えている理由や原因について
 表33-1：「結婚や子どもに関する偏見や差別がなくなれば、子どもを生む人や育てる人が増える」という考えに対してどう思うか
 表33-2：「夫が働き、妻が家事・育児を行うという結婚における男女の役割観が変われば、結婚する人が増える」という考えに対してどう思うか
 表34：理想の子ども人数
 表34-1：子どもが欲しくない理由、少なくなる理由（MA）
 表35：エンゼルプランの中で力をいれて欲しい施策は何か（3つ選択）
 表36：子育てに関する公的サービスや雇用環境の充実により、子どもを生み育てる人が増えると思うか
- <未婚者限定質問>
 表37（未婚者限定）：結婚に関する考え
 表38（未婚者限定）：未婚・シングルでいる理由（複数回答）
 表39（未婚者限定）：何歳ぐらいの時に結婚したいか
 表40（未婚者限定）：結婚生活で<犠牲にしたいもの>と<犠牲にしてよいもの>（複数回答）
 表41（未婚者限定）：結婚に対するプレッシャー
 表41-1（未婚者限定）：プレッシャーは誰からあるいはどこから（複数回答）
 表41-2（未婚者限定）：プレッシャーに対しての思いと行動
 表42（未婚者限定）：個人の紹介によるお見合い経験
 表43（未婚者限定）：結婚相談所・お見合い紹介システムの利用
- <既婚者限定質問>
 表44（既婚者限定）：結婚のきっかけ
 表45（既婚者限定）：結婚を決意した理由

結婚・出産・育児と社会環境に関する調査集計表（既婚者&未婚者 7,078人）

表1：年齢

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 19歳以下	674	9.5%	271	10.5%	1	0.1%	270	18.2%	403	8.9%	0	0.0%	403	15.4%
2. 20～24歳	1,587	22.4%	493	19.1%	10	0.9%	483	32.6%	1,094	24.3%	41	2.2%	1,053	40.1%
3. 25～29歳	1,825	25.8%	607	23.6%	205	18.8%	402	27.1%	1,218	27.0%	434	23.1%	784	29.9%
4. 30～34歳	1,650	23.3%	710	27.6%	476	43.5%	234	15.8%	940	20.9%	674	35.9%	266	10.1%
5. 35～39歳	1,342	19.0%	494	19.2%	401	36.7%	93	6.3%	848	18.8%	731	38.9%	117	4.5%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表2：性別

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 男性	2,575	36.4%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2. 女性	4,503	63.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表3：出生地

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 北海道・東北	893	12.6%	175	13.7%	175	16.0%	179	12.1%	539	12.0%	252	13.4%	287	10.9%
2. 関東	2,284	32.3%	426	34.3%	426	39.0%	457	30.8%	1,401	31.1%	397	21.1%	1,004	38.3%
3. 中部	1,365	19.3%	158	13.2%	158	14.5%	181	12.2%	1,026	22.8%	675	35.9%	351	13.4%
4. 近畿	621	8.8%	130	11.2%	130	11.9%	159	10.7%	332	7.4%	170	9.0%	162	6.2%
5. 中国・四国	615	8.7%	86	11.6%	86	7.9%	213	14.4%	316	7.0%	150	8.0%	166	6.3%
6. 九州・沖縄	1,273	18.0%	113	15.5%	113	10.3%	285	19.2%	875	19.4%	230	12.2%	645	24.6%
7. 国外	8	0.1%	2	0.2%	2	0.2%	3	0.2%	3	0.1%	2	0.1%	1	0.0%
0. 無回答・不明	19	0.3%	3	0.3%	3	0.3%	5	0.3%	11	0.2%	4	0.2%	7	0.3%
合計	7,078	100.0%	1,093	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表4：居住地

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 北海道・東北	767	10.8%	293	11.4%	148	13.5%	145	9.8%	474	10.5%	228	12.1%	246	9.4%
2. 関東	2,900	41.0%	1,234	47.9%	646	59.1%	588	39.7%	1,666	37.0%	469	24.9%	1,197	45.6%
3. 中部	1,263	17.8%	296	11.5%	130	11.9%	166	11.2%	967	21.5%	679	36.1%	288	11.0%
4. 近畿	369	5.2%	107	4.2%	48	4.4%	59	4.0%	262	5.8%	146	7.8%	116	4.4%
5. 中国・四国	355	5.0%	112	4.3%	56	5.1%	56	3.8%	243	5.4%	135	7.2%	108	4.1%
6. 九州・沖縄	1,410	19.9%	528	20.5%	63	5.8%	465	31.4%	882	19.6%	219	11.6%	663	25.3%
0. 無回答・不明	14	0.2%	5	0.2%	2	0.2%	3	0.2%	9	0.2%	4	0.2%	5	0.2%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表5-1：兄弟姉妹人数

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 1人	409	5.8%	161	6.3%	70	6.4%	91	6.1%	248	5.5%	106	5.6%	142	5.4%
2. 2人	3,922	55.4%	1,490	57.9%	647	59.2%	843	56.9%	2,432	54.0%	927	49.3%	1,505	57.4%
3. 3人	2,181	30.8%	773	30.0%	314	28.7%	459	31.0%	1,408	31.3%	589	31.3%	819	31.2%
4. 4人	373	5.3%	103	4.0%	41	3.8%	62	4.2%	270	6.0%	169	9.0%	101	3.9%
5. 5人	85	1.2%	18	0.7%	8	0.7%	10	0.7%	67	1.5%	48	2.6%	19	0.7%
6. 6人	24	0.3%	4	0.2%	4	0.4%	0	0.0%	20	0.4%	15	0.8%	5	0.2%
7. 7人	13	0.2%	2	0.1%	0	0.0%	2	0.1%	11	0.2%	7	0.4%	4	0.2%
8. 8人	6	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	0.1%	4	0.2%	2	0.1%
9. 9人以上	3	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.1%	1	0.1%	2	0.1%
0. 無回答・不明	62	0.9%	24	0.9%	9	0.8%	15	1.0%	38	0.8%	14	0.7%	24	0.9%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表5-2：何番目

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 1番目	3,324	47.0%	1,266	49.2%	552	50.5%	714	48.2%	2,058	45.7%	826	43.9%	1,232	47.0%
2. 2番目	2,652	37.5%	958	37.2%	393	36.0%	565	38.1%	1,694	37.6%	675	35.9%	1,019	38.8%
3. 3番目	767	10.8%	269	10.4%	105	9.6%	164	11.1%	498	11.1%	219	11.6%	279	10.6%
4. 4番目	135	1.9%	30	1.2%	17	1.6%	13	0.9%	105	2.3%	77	4.1%	28	1.1%
5. 5番目	40	0.6%	9	0.3%	4	0.4%	5	0.3%	31	0.7%	23	1.2%	8	0.3%
6. 6番目	13	0.2%	2	0.1%	2	0.2%	0	0.0%	11	0.2%	7	0.4%	4	0.2%
7. 7番目	3	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.1%	1	0.1%	2	0.1%
8. 8番目	3	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.1%	3	0.2%	0	0.0%
9. 9番目以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
0. 無回答・不明	141	2.0%	41	1.6%	20	1.8%	21	1.4%	100	2.2%	49	2.6%	51	1.9%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表6：最終学歴

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 中学校	16	0.2%	5	0.2%	5	0.5%	0	0.0%	11	0.2%	11	0.6%	0	0.0%
2. 高校	1,561	22.1%	293	11.4%	159	14.5%	134	9.0%	1,268	28.2%	926	49.3%	342	13.0%
3. 専門・専修学校	640	9.0%	145	5.6%	59	5.4%	86	5.8%	495	11.0%	289	15.4%	206	7.9%
4. 短大	1,893	26.7%	48	1.9%	16	1.5%	32	2.2%	1,845	41.0%	436	23.2%	1,409	53.7%
5. 大学	2,769	39.1%	1,922	74.6%	764	69.9%	1,158	78.1%	847	18.8%	194	10.3%	653	24.9%
6. 大学院	145	2.0%	128	5.0%	73	6.7%	55	3.7%	17	0.4%	11	0.6%	6	0.2%
7. その他	40	0.6%	30	1.2%	16	1.5%	14	0.9%	10	0.2%	8	0.4%	2	0.1%
0. 無回答・不明	14	0.2%	4	0.2%	1	0.1%	3	0.2%	10	0.2%	5	0.3%	5	0.2%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表7：職業

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 管理職・経営者	882	12.5%	476	18.5%	323	29.6%	153	10.3%	406	9.0%	193	10.3%	213	8.1%
2. 勤め人	4,078	57.6%	1,368	53.1%	686	62.8%	682	46.0%	2,710	60.2%	1,317	70.1%	1,393	53.1%
3. 学生	1,360	19.2%	525	20.4%	1	0.1%	524	35.4%	835	18.5%	0	0.0%	835	31.8%
4. 専業主婦	204	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	204	4.5%	204	10.9%	0	0.0%
5. その他	58	0.8%	19	0.7%	15	1.4%	4	0.3%	39	0.9%	33	1.8%	6	0.2%
0. 不明	496	7.0%	187	7.3%	68	6.2%	119	8.0%	309	6.9%	133	7.1%	176	6.7%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表8：結婚歴（既婚/未婚）

カテゴリー	合計		男性		女性	
1. 現在、結婚	2,973	42.0%	1,093	42.4%	1,880	41.7%
3. 未婚	4,105	58.0%	1,482	57.6%	2,623	58.3%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	4,503	100.0%

表8-1：結婚年齢 Q8 1、2の選択者

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 19歳以下	63	2.1%	3	0.3%	3	0.3%	0	0.0%	60	3.2%	60	3.2%	0	0.0%
2. 20～24歳	1,127	37.9%	146	13.4%	146	13.4%	0	0.0%	981	52.2%	981	52.2%	0	0.0%
3. 25歳～29歳	1,465	49.3%	747	68.3%	747	68.3%	0	0.0%	718	38.2%	718	38.2%	0	0.0%
4. 30～34歳	279	9.4%	179	16.4%	179	16.4%	0	0.0%	100	5.3%	100	5.3%	0	0.0%
5. 35～39歳	30	1.0%	13	1.2%	13	1.2%	0	0.0%	17	0.9%	17	0.9%	0	0.0%
6. 40歳以上	1	0.0%	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
0. 無回答・不明	8	0.3%	4	0.4%	4	0.4%	0	0.0%	4	0.2%	4	0.2%	0	0.0%
合計	2,973	100.0%	1,093	100.0%	1,093	100.0%	0	0.0%	1,880	100.0%	1,880	100.0%	0	0.0%

表9：同居人

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 1人暮らし（単身赴任含む）	958	13.5%	600	23.3%	13	1.2%	587	39.6%	358	8.0%	3	0.2%	355	13.5%
2. 家生活	489	6.9%	305	11.8%	3	0.3%	302	20.4%	184	4.1%	0	0.0%	184	7.0%
3. きょうだいのみ	53	0.7%	8	0.3%	0	0.0%	8	0.5%	45	1.0%	0	0.0%	45	1.7%
4. 家族（親子・夫婦など）	5,452	77.0%	1,621	63.0%	1,071	98.0%	550	37.1%	3,831	85.1%	1,862	99.0%	1,969	75.1%
5. 家族以外の同性	24	0.3%	3	0.1%	0	0.0%	3	0.2%	21	0.5%	1	0.1%	20	0.8%
6. 家族以外の異性	44	0.6%	16	0.6%	3	0.3%	13	0.9%	28	0.6%	3	0.2%	25	1.0%
7. その他	29	0.4%	11	0.4%	1	0.1%	10	0.7%	18	0.4%	6	0.3%	12	0.5%
0. 無回答・不明	29	0.4%	11	0.4%	2	0.2%	9	0.6%	18	0.4%	5	0.3%	13	0.5%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表10：子どもの有無

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. いる	2,295	32.4%	771	29.9%	768	70.3%	3	0.2%	1,524	33.8%	1,516	80.6%	8	0.3%
2. いない	4,635	65.5%	1,743	67.7%	324	29.6%	1,419	95.7%	2,892	64.2%	359	19.1%	2,533	96.6%
0. 無回答・不明	148	2.1%	61	2.4%	1	0.1%	60	4.0%	87	1.9%	5	0.3%	82	3.1%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表10-1：子ども人数

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 1人	713	31.1%	344	44.6%	343	44.7%	1	33.3%	369	24.2%	364	24.0%	5	62.5%
2. 2人	1,107	48.2%	342	44.4%	341	44.4%	1	33.3%	765	50.2%	765	50.5%	0	0.0%
3. 3人	428	18.6%	78	10.1%	78	10.2%	0	0.0%	350	23.0%	350	23.1%	0	0.0%
4. 4人	28	1.2%	3	0.4%	3	0.4%	0	0.0%	25	1.6%	25	1.6%	0	0.0%
5. 5人	3	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.2%	3	0.2%	0	0.0%
0. 無回答・不明	16	0.7%	4	0.5%	3	0.4%	1	33.3%	12	0.8%	9	0.6%	3	37.5%
子どもあり合計	2,295	100.0%	771	100.0%	768	100.0%	3	100.0%	1,524	100.0%	1,516	100.0%	8	100.0%

表10-2：子どもの年齢（MA）

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 2歳未満	600	26.1%	304	39.2%	303	39.5%	1	33.3%	296	19.3%	295	19.5%	1	12.5%
2. 2歳～4歳未満	809	35.3%	319	33.8%	319	41.5%	0	0.0%	490	29.8%	488	32.2%	2	25.0%
3. 4歳から就学前	839	36.6%	243	25.7%	243	31.6%	0	0.0%	596	36.2%	596	39.3%	0	0.0%
4. 小学生	1,027	44.7%	241	25.5%	240	31.3%	1	33.3%	786	47.8%	784	51.7%	2	25.0%
5. 中学生	295	12.9%	30	3.2%	30	3.9%	0	0.0%	265	16.1%	265	17.5%	0	0.0%
6. 高校生	85	3.7%	2	0.2%	2	0.3%	0	0.0%	83	5.0%	83	5.5%	0	0.0%
7. その他	15	0.7%	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%	14	0.9%	14	0.9%	0	0.0%
MA回答数合計	3,670	159.9%	1,140	147.1%	1,138	148.2%	2	66.7%	2,530	164.6%	2,525	166.6%	5	62.5%
0. 無回答・不明	295	12.9%	0	0.0%	171	22.3%	2	66.7%	0	0.0%	118	7.8%	4	50.0%
Q10子どもいる合計	2,295	100.0%	775	100.0%	768	100.0%	3	100.0%	1,537	100.0%	1,516	100.0%	8	100.0%

表10-3：出産年齢（1人目）：女性限定設問

カテゴリー	女性合計		既婚女性		未婚女性	
1. 19歳以下	25	0.6%	25	1.3%	0	0.0%
2. 20～24歳	601	13.3%	598	31.8%	3	0.1%
3. 25～29歳	724	16.1%	723	38.5%	1	0.0%
4. 30～34歳	150	3.3%	148	7.9%	2	0.1%
5. 35～39歳	11	0.2%	11	0.6%	0	0.0%
6. 40歳以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
0. 無回答・不明	2,992	66.4%	375	19.9%	2,617	99.8%
合計	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表11：親と同居

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 自分の親と同居	2,701	38.2%	610	23.7%	95	8.7%	515	34.8%	2,091	46.4%	149	7.9%	1,942	74.0%
2. 配偶者またはパートナーの親と同居	551	7.8%	35	1.4%	34	3.1%	1	0.1%	516	11.5%	515	27.4%	1	0.0%
3. 同居していない、0+3	3,621	51.2%	1,835	71.3%	945	86.5%	890	60.1%	1,786	39.7%	1,178	62.7%	608	23.2%
4. 1+2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
0. 非該当（死亡など）、	59	0.8%	27	1.0%	12	1.1%	15	1.0%	32	0.7%	21	1.1%	11	0.4%
9. 無回答・不明	146	2.1%	68	2.6%	7	0.6%	61	4.1%	78	1.7%	17	0.9%	61	2.3%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表12：親の接し方（現在）

父親	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 私と一緒に行動したが、私の側にいつもいたがる	384	5.4%	103	4.0%	32	2.9%	71	4.8%	281	6.2%	52	2.8%	229	8.7%
2. 私に何をすべきか、どのようにすべきか何時も指示している	541	7.6%	184	7.1%	52	4.8%	132	8.9%	357	7.9%	139	7.4%	218	8.3%
3. 私の行動には口は挟まないが、いつも気づかってくれている	3,797	53.6%	1,385	53.8%	625	57.2%	760	51.3%	2,412	53.6%	1,028	54.7%	1,384	52.8%

母親	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 私と一緒に行動したが、私の側にいつもいたがる	1,072	15.1%	299	11.6%	98	9.0%	201	13.6%	773	17.2%	231	12.3%	542	20.7%
2. 私に何をすべきか、どのようにすべきか何時も指示している	1,329	18.8%	313	12.2%	64	5.9%	249	16.8%	1,016	22.6%	367	19.5%	649	24.7%
3. 私の行動には口は挟まないが、いつも気づかってくれている	4,533	64.0%	1,670	64.9%	775	70.9%	895	60.4%	2,863	63.6%	1,241	66.0%	1,622	61.8%

表13：親とのつながり（経済面、生活面）

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 親から住宅や家賃など住まいの援助を受けている	2,671	37.7%	688	26.7%	123	11.3%	565	38.1%	1,983	44.0%	408	21.7%	1,575	60.0%
2. 親から上記以外の経済的援助（金銭的、物質的）を受けている	2,597	36.7%	705	27.4%	137	12.5%	568	38.3%	1,892	42.0%	530	28.2%	1,362	51.9%
3. 親から日常的に自分や家族の世話をしてもらっている	3,111	44.0%	654	25.4%	138	12.6%	516	34.8%	2,457	54.6%	602	32.0%	1,855	70.7%
4. 親に経済的援助（金銭的、物質的）をしている	1,368	19.3%	377	14.6%	113	10.3%	264	17.8%	991	22.0%	336	17.9%	655	25.0%

表14：現在の親との関係はうまくいっているか

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. うまくいっている	4,040	57.1%	1,430	55.5%	640	58.6%	790	53.3%	2,610	58.0%	1,089	57.9%	1,521	58.0%
2. どちらかという、うまくいっている	1,998	28.2%	731	28.4%	303	27.7%	428	28.9%	1,267	28.1%	538	28.6%	729	27.8%
3. どちらともいえない	627	8.9%	254	9.9%	89	8.1%	165	11.1%	373	8.3%	141	7.5%	232	8.8%
4. どちらかという、うまくいっていない	161	2.3%	53	2.1%	24	2.2%	29	2.0%	108	2.4%	35	1.9%	73	2.8%
5. うまくいっていない	75	1.1%	28	1.1%	13	1.2%	15	1.0%	47	1.0%	21	1.1%	26	1.0%
0. 非該当	70	1.0%	34	1.3%	17	1.6%	17	1.1%	36	0.8%	25	1.3%	11	0.4%
9. 無回答・不明	107	1.5%	45	1.7%	7	0.6%	38	2.6%	62	1.4%	31	1.6%	31	1.2%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表15：住居

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 一戸建	3,544	50.1%	740	28.7%	277	25.3%	463	31.2%	2,804	62.3%	1,184	63.0%	1,620	61.8%
2. 集合住宅(マンション・アパート)	2,849	40.3%	1,407	54.6%	766	70.1%	641	43.3%	1,442	32.0%	661	35.2%	781	29.8%
3. 寮・下宿	601	8.5%	392	15.2%	24	2.2%	368	24.8%	209	4.6%	2	0.1%	207	7.9%
4. その他	72	1.0%	30	1.2%	23	2.1%	7	0.5%	42	0.9%	28	1.5%	14	0.5%
0. 無回答・不明	12	0.2%	6	0.2%	3	0.3%	3	0.2%	6	0.1%	5	0.3%	1	0.0%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表16：平日の睡眠時間は足りているか

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 足りている	1,473	20.8%	535	20.8%	209	19.1%	326	22.0%	938	20.8%	424	22.6%	514	19.6%
2. ほぼ足りている	2,582	36.5%	856	33.2%	388	35.5%	468	31.6%	1,726	38.3%	710	37.8%	1,016	38.7%
3. 少し足りない	2,256	31.9%	851	33.0%	373	34.1%	478	32.3%	1,405	31.2%	582	31.0%	823	31.4%
4. 足りない	751	10.6%	325	12.6%	120	11.0%	205	13.8%	426	9.5%	160	8.5%	266	10.1%
0. 無回答・不明	16	0.2%	8	0.3%	3	0.3%	5	0.3%	8	0.2%	4	0.2%	4	0.2%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表17：食事のしかたについて

1. 家族と一緒に食事をすることは楽しいと思う

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. そう思う	5,685	80.3%	1,974	76.7%	1,013	92.7%	961	64.8%	3,711	82.4%	1,699	90.4%	2,012	76.7%
2. そうは思わない	285	4.0%	136	5.3%	6	0.5%	130	8.8%	149	3.3%	27	1.4%	122	4.7%
3. どちらともいえない	1,019	14.4%	426	16.5%	55	5.0%	371	25.0%	593	13.2%	126	6.7%	467	17.8%
0. 無回答・不明	89	1.3%	39	1.5%	19	1.7%	20	1.3%	50	1.1%	28	1.5%	22	0.8%
(1)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

2. 1人で食べる食事は煩わしくなくてよいと思う

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. そう思う	1,296	18.3%	515	20.0%	161	14.7%	354	23.9%	781	17.3%	323	17.2%	458	17.5%
2. そうは思わない	3,291	46.5%	1,141	44.3%	607	55.5%	534	36.0%	2,150	47.7%	957	50.9%	1,193	45.5%
3. どちらともいえない	2,332	32.9%	864	33.6%	295	27.0%	569	38.4%	1,468	32.6%	538	28.6%	930	35.5%
0. 無回答・不明	159	2.2%	55	2.1%	30	2.7%	25	1.7%	104	2.3%	62	3.3%	42	1.6%
(2)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表18：休日などの自由時間を過ごす相手(MA)

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 一人で過ごす	2,735	38.6%	1,160	44.9%	158	14.5%	1,002	67.6%	1,575	34.9%	209	11.1%	1,366	52.1%
2. 親やきょうだいで	2,061	29.1%	288	11.2%	92	8.4%	196	13.2%	1,773	39.3%	419	22.3%	1,354	51.6%
3. 子どもと	2,103	29.7%	689	26.7%	688	62.9%	1	0.1%	1,414	31.3%	1,408	74.9%	6	0.2%
4. 恋人や婚約者と	1,548	21.9%	464	18.0%	16	1.5%	448	30.2%	1,084	24.0%	5	0.3%	1,079	41.1%
5. 配偶者やパートナーと	2,223	31.4%	894	34.6%	888	81.2%	6	0.4%	1,329	29.4%	1,323	70.4%	6	0.2%
6. 仕事関係の人と	418	5.9%	255	9.9%	82	7.5%	173	11.7%	163	3.6%	27	1.4%	136	5.2%
7. カラオケやサークルの仲間と	595	8.4%	306	11.9%	79	7.2%	227	15.3%	289	6.4%	85	4.5%	204	7.8%
8. 友人と	3,420	48.3%	1,154	44.7%	204	18.7%	950	64.1%	2,266	50.2%	285	15.2%	1,981	75.5%
9. その他の人	82	1.2%	31	1.2%	6	0.5%	25	1.7%	51	1.1%	14	0.7%	37	1.4%
10. 自由時間はほとんどない	200	2.8%	67	2.6%	34	3.1%	33	2.2%	133	2.9%	77	4.1%	56	2.1%
MA回答者数合計	15,385	217.4%	5,308	205.7%	2,247	205.6%	3,061	206.5%	10,077	223.2%	3,852	204.9%	6,225	237.3%
0. 無回答・不明	17	0.2%	0	0.0%	4	0.4%	2	0.1%	0	0.0%	6	0.3%	5	0.2%
MA回答者数合計	7,078	100.0%	2,581	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,514	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表19：余暇の過ごし方（コンピュータゲームやビデオ鑑賞をする頻度）

1.コンピュータゲームで遊びますか

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. ほぼ毎日	240	3.4%	169	6.6%	32	2.9%	137	9.2%	71	1.6%	32	1.7%	39	1.5%
2. 休みの日はほぼいつも	164	2.3%	114	4.4%	35	3.2%	79	5.3%	50	1.1%	14	0.7%	36	1.4%
3. 時々	1,660	23.5%	893	34.7%	324	29.6%	569	38.4%	767	17.0%	313	16.6%	454	17.3%
4. ほとんどなし	4,947	69.9%	1,380	53.6%	695	63.6%	685	46.2%	3,567	79.2%	1,500	79.8%	2,067	78.8%
5. 無回答・不明	67	0.9%	19	0.7%	7	0.6%	12	0.8%	48	1.1%	21	1.1%	27	1.0%
(1)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

2.ビデオ（映画）鑑賞しますか

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. ほぼ毎日	95	1.3%	53	2.1%	10	0.9%	43	2.9%	42	0.9%	17	0.9%	25	1.0%
2. 休みの日はほぼいつも	340	4.8%	161	6.3%	44	4.0%	117	7.9%	179	4.0%	57	3.0%	122	4.7%
3. 時々	4,483	63.3%	1,663	64.6%	677	61.9%	986	66.5%	2,820	62.6%	1,082	57.6%	1,738	66.3%
4. ほとんどなし	2,111	29.8%	679	26.4%	354	32.4%	325	21.9%	1,432	31.8%	704	37.4%	728	27.8%
5. 無回答・不明	49	0.7%	19	0.7%	8	0.7%	11	0.7%	30	0.7%	20	1.1%	10	0.4%
(2)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表19-1：コンピュータゲームで余暇を過ごす利点（MA）

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 人に関わらず、ひとりで楽しめる	366	5.2%	224	5.7%	68	6.2%	156	10.5%	142	1.8%	53	2.8%	89	3.4%
2. 人・子どもと共通の話題ができてよい	412	5.8%	179	4.5%	114	10.4%	65	4.4%	233	2.9%	171	9.1%	62	2.4%
3. 趣味の世界にひたれるのがよい	474	6.7%	341	8.6%	95	8.7%	246	16.6%	133	1.6%	40	2.1%	93	3.5%
4. 他人にやることがないのでやっている	748	10.6%	452	11.4%	92	8.4%	360	24.3%	296	3.7%	53	2.8%	243	9.3%
5. ストレス解消になる	734	10.4%	405	10.2%	161	14.7%	244	16.5%	329	4.1%	159	8.5%	170	6.5%
6. その他	174	2.5%	77	1.9%	22	2.0%	55	3.7%	97	1.2%	36	1.9%	61	2.3%
MA回答数合計	2,908	41.1%	1,678	42.4%	552	50.5%	1,126	76.0%	1,230	15.2%	512	27.2%	718	27.4%
0. 無回答・不明	4,952	70.0%	0	0.0%	691	63.2%	694	46.8%	0	0.0%	1,488	79.1%	2,079	79.3%
コンピュータゲーム合計	7,078	100.0%	3,960	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	8,070	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表19-2：ビデオ鑑賞で余暇を過ごす利点（MA）

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 人に関わらず、ひとりで楽しめる	794	11.2%	320	9.6%	84	7.7%	236	15.9%	474	7.8%	135	7.2%	339	12.9%
2. 人・子どもと共通の話題ができてよい	1,119	15.8%	337	10.1%	193	17.7%	144	9.7%	782	12.9%	459	24.4%	323	12.3%
3. 趣味の世界にひたれるのがよい	2,294	32.4%	907	27.3%	315	28.8%	592	39.9%	1,387	22.8%	418	22.2%	969	36.9%
4. 他人にやることがないのでやっている	896	12.7%	358	10.8%	91	8.3%	267	18.0%	538	8.8%	139	7.4%	399	15.2%
5. ストレス解消になる	944	13.3%	375	11.3%	169	15.5%	206	13.9%	569	9.4%	271	14.4%	298	11.4%
6. その他	418	5.9%	138	4.2%	56	5.1%	82	5.5%	280	4.6%	93	4.9%	187	7.1%
MA回答数合計	6,465	91.3%	2,435	73.2%	908	83.1%	1,527	103.0%	4,030	66.2%	1,515	80.6%	2,515	95.9%
0. 無回答・不明	2,332	32.9%	0	0.0%	393	36.0%	357	24.1%	0	0.0%	756	40.2%	826	31.5%
ビデオ(映画)鑑賞合計	7,078	100.0%	3,325	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	6,085	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表20：心配ごとの有無とストレスの程度

(1)労働（または学業）時間について

(1)心配や困っていること	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. あり	2,899	41.0%	1,060	41.2%	443	40.5%	617	41.6%	1,839	40.8%	617	32.8%	1,222	46.6%
2. なし	3,821	54.0%	1,463	56.8%	628	57.5%	835	56.3%	2,358	52.4%	992	52.8%	1,366	52.1%
0. 無回答・不明	358	5.1%	52	2.0%	22	2.0%	30	2.0%	306	6.8%	271	14.4%	35	1.3%
(1)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%
(1)以上の程度														
1. 非常に感じる	587	20.2%	219	20.7%	96	21.7%	123	19.9%	368	20.0%	127	20.6%	241	19.7%
2. かなり感じる	952	32.8%	359	33.9%	167	37.7%	192	31.1%	593	32.2%	189	30.6%	404	33.1%
3. 少し感じる	1,287	44.4%	459	43.3%	173	39.1%	286	46.4%	828	45.0%	285	46.2%	543	44.4%
4. ほとんどなし	44	1.5%	17	1.6%	5	1.1%	12	1.9%	27	1.5%	7	1.1%	20	1.6%
0. 非該当	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%	1	0.2%	1	0.1%
9. 無回答	27	0.9%	6	0.6%	2	0.5%	4	0.6%	21	1.1%	8	1.3%	13	1.1%
(1)以上の程度合計	2,899	100.0%	1,060	100.0%	443	100.0%	617	100.0%	1,839	100.0%	617	100.0%	1,222	100.0%

(2)通勤(または通学)時間について

(2)心配や困っていること	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. あり	1,549	21.9%	479	18.6%	198	18.1%	281	19.0%	1,070	23.8%	293	15.6%	777	29.6%
2. なし	5,153	72.8%	2,033	79.0%	863	79.0%	1,170	78.9%	3,120	69.3%	1,312	69.8%	1,808	68.9%
0. 無回答・不明	376	5.3%	63	2.4%	32	2.9%	31	2.1%	313	7.0%	275	14.6%	38	1.4%
(2)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%
(2)以上の程度														
1. 非常に感じる	335	21.6%	94	19.6%	34	17.2%	60	21.4%	241	22.5%	60	20.5%	181	23.3%
2. かなり感じる	488	31.5%	154	32.2%	72	36.4%	82	29.2%	334	31.2%	75	25.6%	259	33.3%
3. 少し感じる	668	43.1%	213	44.5%	85	42.9%	128	45.6%	455	42.5%	146	49.8%	309	39.8%
4. ほとんどなし	40	2.6%	14	2.9%	5	2.5%	9	3.2%	26	2.4%	8	2.7%	18	2.3%
0. 非該当	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
9. 無回答	17	1.1%	4	0.8%	2	1.0%	2	0.7%	13	1.2%	4	1.4%	9	1.2%
(2)以上の程度合計	1,549	100.0%	479	100.0%	198	100.0%	281	100.0%	1,070	100.0%	293	100.0%	777	100.0%

(3)仕事上の(または学校での)人間関係に関して

(3)心配や困っていること	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. あり	2,968	41.9%	986	38.3%	438	40.1%	548	37.0%	1,982	44.0%	670	35.6%	1,312	50.0%
2. なし	3,732	52.7%	1,530	59.4%	631	57.7%	899	60.7%	2,202	48.9%	935	49.7%	1,267	48.3%
0. 無回答・不明	378	5.3%	59	2.3%	24	2.2%	35	2.4%	319	7.1%	275	14.6%	44	1.7%
(3)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%
(3)以上の程度														
1. 非常に感じる	648	21.8%	172	17.4%	70	16.0%	102	18.6%	476	24.0%	163	24.3%	313	23.9%
2. かなり感じる	978	33.0%	331	33.6%	159	36.3%	172	31.4%	647	32.6%	218	32.5%	429	32.7%
3. 少し感じる	1,254	42.3%	445	45.1%	194	44.3%	251	45.8%	809	40.8%	272	40.6%	537	40.9%
4. ほとんどなし	45	1.5%	23	2.3%	7	1.6%	16	2.9%	22	1.1%	5	0.7%	17	1.3%
0. 非該当	3	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.2%	1	0.1%	2	0.2%
9. 無回答	40	1.3%	15	1.5%	8	1.8%	7	1.3%	25	1.3%	11	1.6%	14	1.1%
(3)以上の程度合計	2,968	100.0%	986	100.0%	438	100.0%	548	100.0%	1,982	100.0%	670	100.0%	1,312	100.0%

(4)職場や学校での性差別・セクハラ・いじめに関して

(4)心配や困っていること	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. あり	622	8.8%	119	4.6%	48	4.4%	71	4.8%	503	11.2%	187	9.9%	316	12.0%
2. なし	6,060	85.6%	2,382	92.5%	1,013	92.7%	1,369	92.4%	3,678	81.7%	1,419	75.5%	2,259	86.1%
0. 無回答・不明	396	5.6%	74	2.9%	32	2.9%	42	2.8%	322	7.2%	274	14.6%	48	1.8%
(4)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%
(4)以上の程度														
1. 非常に感じる	128	20.6%	26	21.8%	10	20.8%	16	22.5%	102	20.3%	47	25.1%	55	17.4%
2. かなり感じる	171	27.5%	31	26.1%	12	25.0%	19	26.8%	140	27.8%	57	30.5%	83	26.3%
3. 少し感じる	286	46.0%	52	43.7%	20	41.7%	32	45.1%	234	46.5%	70	37.4%	164	51.9%
4. ほとんどなし	24	3.9%	8	6.7%	6	12.5%	2	2.8%	16	3.2%	8	4.3%	8	2.5%
0. 非該当	2	0.3%	1	0.8%	0	0.0%	1	1.4%	1	0.2%	1	0.5%	0	0.0%
9. 無回答	11	1.8%	1	0.8%	0	0.0%	1	1.4%	10	2.0%	4	2.1%	6	1.9%
(4)以上の程度合計	622	100.0%	119	100.0%	48	100.0%	71	100.0%	503	100.0%	187	100.0%	316	100.0%

(5)仕事や勉強でOA機器(パソコンやワープロ)を使うことについて

(5)心配や困っていること	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. あり	1,603	22.6%	559	21.7%	243	22.2%	316	21.3%	1,044	23.2%	321	17.1%	723	27.6%
2. なし	5,076	71.7%	1,954	75.9%	827	75.7%	1,127	76.0%	3,122	69.3%	1,280	68.1%	1,842	70.2%
0. 無回答・不明	399	5.6%	62	2.4%	23	2.1%	39	2.6%	337	7.5%	279	14.8%	58	2.2%
(5)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%
(5)以上の程度														
1. 非常に感じる	205	12.8%	65	11.6%	19	7.8%	46	14.6%	140	13.4%	36	11.2%	104	14.4%
2. かなり感じる	390	24.3%	136	24.3%	58	23.9%	78	24.7%	254	24.3%	69	21.5%	185	25.6%
3. 少し感じる	897	56.0%	311	55.6%	145	59.7%	166	52.5%	586	56.1%	191	59.5%	395	54.6%
4. ほとんどなし	84	5.2%	35	6.3%	15	6.2%	20	6.3%	49	4.7%	18	5.6%	31	4.3%
0. 非該当	5	0.3%	3	0.5%	2	0.8%	1	0.3%	2	0.2%	1	0.3%	1	0.1%
9. 無回答	22	1.4%	9	1.6%	4	1.6%	5	1.6%	13	1.2%	6	1.9%	7	1.0%
(5)以上の程度合計	1,603	100.0%	559	100.0%	243	100.0%	316	100.0%	1,044	100.0%	321	100.0%	723	100.0%

(6)仕事や勉強や将来に備えての、資格・能力・成績・地位に関して

(6)心配や困っていること	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. あり	4,382	61.9%	1,566	60.8%	620	56.7%	946	63.8%	2,816	62.5%	1,040	55.3%	1,776	67.7%
2. なし	2,531	35.8%	954	37.0%	450	41.2%	504	34.0%	1,577	35.0%	763	40.6%	814	31.0%
0. 無回答・不明	165	2.3%	55	2.1%	23	2.1%	32	2.2%	110	2.4%	77	4.1%	33	1.3%
(6)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%
(6)以上の程度														
1. 非常に感じる	827	18.9%	296	18.9%	88	14.2%	208	22.0%	531	18.9%	198	19.0%	333	18.8%
2. かなり感じる	1,459	33.3%	546	34.9%	217	35.0%	329	34.8%	913	32.4%	344	33.1%	569	32.0%
3. 少し感じる	1,905	43.5%	651	41.6%	287	46.3%	364	38.5%	1,254	44.5%	445	42.8%	809	45.6%
4. ほとんどなし	117	2.7%	50	3.2%	17	2.7%	33	3.5%	67	2.4%	24	2.3%	43	2.4%
9. 無回答	74	1.7%	23	1.5%	11	1.8%	12	1.3%	51	1.8%	29	2.8%	22	1.2%
(6)以上の程度合計	4,382	100.0%	1,566	100.0%	620	100.0%	946	100.0%	2,816	100.0%	1,040	100.0%	1,776	100.0%

(7)家庭内の人間関係や家族の問題に関して

(7)心配や困っていること	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
	1. あり	2,382	33.7%	567	22.0%	289	26.4%	278	18.8%	1,815	40.3%	875	46.5%	940
2. なし	4,542	64.2%	1,952	75.8%	781	71.5%	1,171	79.0%	2,590	57.5%	946	50.3%	1,644	62.7%
0. 無回答・不明	154	2.2%	56	2.2%	23	2.1%	33	2.2%	98	2.2%	59	3.1%	39	1.5%
(7)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%
(7)以上の程度														
1. 非常に感じる	469	19.7%	77	13.6%	30	10.4%	47	16.9%	392	21.6%	225	25.7%	167	17.8%
2. かなり感じる	701	29.4%	161	28.4%	90	31.1%	71	25.5%	540	29.8%	254	29.0%	286	30.4%
3. 少し感じる	1,119	47.0%	300	52.9%	153	52.9%	147	52.9%	819	45.1%	362	41.4%	457	48.6%
4. ほとんどなし	61	2.6%	22	3.9%	11	3.8%	11	4.0%	39	2.1%	14	1.6%	25	2.7%
9. 無回答	32	1.3%	7	1.2%	5	1.7%	2	0.7%	25	1.4%	20	2.3%	5	0.5%
(7)以上の程度合計	2,382	100.0%	567	100.0%	289	100.0%	278	100.0%	1,815	100.0%	875	100.0%	940	100.0%

(8)地域やPTAなどの人間関係について

(8)心配や困っていること	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
	1. あり	834	11.8%	177	6.9%	112	10.2%	65	4.4%	657	14.6%	508	27.0%	149
2. なし	6,081	85.9%	2,340	90.9%	960	87.8%	1,380	93.1%	3,741	83.1%	1,311	69.7%	2,430	92.6%
0. 無回答・不明	163	2.3%	58	2.3%	21	1.9%	37	2.5%	105	2.3%	61	3.2%	44	1.7%
(8)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%
(8)以上の程度														
1. 非常に感じる	97	11.6%	18	10.2%	7	6.3%	11	16.9%	79	12.0%	60	11.8%	19	12.8%
2. かなり感じる	195	23.4%	46	26.0%	31	27.7%	15	23.1%	149	22.7%	129	25.4%	20	13.4%
3. 少し感じる	475	57.0%	92	52.0%	59	52.7%	33	50.8%	383	58.3%	293	57.7%	90	60.4%
4. ほとんどなし	46	5.5%	14	7.9%	10	8.9%	4	6.2%	32	4.9%	15	3.0%	17	11.4%
9. 無回答	21	2.5%	7	4.0%	5	4.5%	2	3.1%	14	2.1%	11	2.2%	3	2.0%
(8)以上の程度合計	834	100.0%	177	100.0%	112	100.0%	65	100.0%	657	100.0%	508	100.0%	149	100.0%

(9)家事・育児・介護など、家庭のことに関して

(9)心配や困っていること	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
	1. あり	1,922	27.2%	447	17.4%	335	30.6%	112	7.6%	1,475	32.8%	1,007	53.6%	468
2. なし	4,983	70.4%	2,065	80.2%	733	67.1%	1,332	89.9%	2,918	64.8%	808	43.0%	2,110	80.4%
0. 無回答・不明	173	2.4%	63	2.4%	25	2.3%	38	2.6%	110	2.4%	65	3.5%	45	1.7%
(9)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%
(9)以上の程度														
1. 非常に感じる	258	13.4%	46	10.3%	33	9.9%	13	11.6%	212	14.4%	174	17.3%	38	8.1%
2. かなり感じる	506	26.3%	103	23.0%	86	25.7%	17	15.2%	403	27.3%	291	28.9%	112	23.9%
3. 少し感じる	1,053	54.8%	270	60.4%	198	59.1%	72	64.3%	783	53.1%	494	49.1%	289	61.8%
4. ほとんどなし	63	3.3%	19	4.3%	12	3.6%	7	6.3%	44	3.0%	20	2.0%	24	5.1%
9. 無回答	42	2.2%	9	2.0%	6	1.8%	3	2.7%	33	2.2%	28	2.8%	5	1.1%
(9)以上の程度合計	1,922	100.0%	447	100.0%	335	100.0%	112	100.0%	1,475	100.0%	1,007	100.0%	468	100.0%

(10)恋愛や性生活について

(10)心配や困っていること	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
	1. あり	2,239	31.6%	682	26.5%	116	10.6%	566	38.2%	1,557	34.6%	331	17.6%	1,226
2. なし	4,667	65.9%	1,831	71.1%	951	87.0%	880	59.4%	2,836	63.0%	1,480	78.7%	1,356	51.7%
0. 無回答・不明	172	2.4%	62	2.4%	26	2.4%	36	2.4%	110	2.4%	69	3.7%	41	1.6%
(10)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%
(10)以上の程度														
1. 非常に感じる	391	17.5%	124	18.2%	12	10.3%	112	19.8%	267	17.1%	68	20.5%	199	16.2%
2. かなり感じる	632	28.2%	188	27.6%	31	26.7%	157	27.7%	444	28.5%	85	25.7%	359	29.3%
3. 少し感じる	1,083	48.4%	333	48.8%	68	58.6%	265	46.8%	750	48.2%	159	48.0%	591	48.2%
4. ほとんどなし	97	4.3%	26	3.8%	4	3.4%	22	3.9%	71	4.6%	11	3.3%	60	4.9%
9. 無回答	36	1.6%	11	1.6%	1	0.9%	10	1.8%	25	1.6%	8	2.4%	17	1.4%
(10)以上の程度合計	2,239	100.0%	682	100.0%	116	100.0%	566	100.0%	1,557	100.0%	331	100.0%	1,226	100.0%

(11)結婚(または出産)へのプレッシャーに関して

(11)心配や困っていること	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
	1. あり	1,935	27.3%	490	19.0%	73	6.7%	417	28.1%	1,445	32.1%	363	19.3%	1,082
2. なし	4,910	69.4%	1,985	77.1%	953	87.2%	1,032	69.6%	2,925	65.0%	1,428	76.0%	1,497	57.1%
0. 無回答・不明	233	3.3%	100	3.9%	67	6.1%	33	2.2%	133	3.0%	89	4.7%	44	1.7%
(11)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%
(11)以上の程度														
1. 非常に感じる	414	21.4%	85	17.3%	9	12.3%	76	18.2%	329	22.8%	102	28.1%	227	21.0%
2. かなり感じる	573	29.6%	135	27.6%	21	28.8%	114	27.3%	438	30.3%	98	27.0%	340	31.4%
3. 少し感じる	866	44.8%	248	50.6%	40	54.8%	208	49.9%	618	42.8%	147	40.5%	471	43.5%
4. ほとんどなし	52	2.7%	13	2.7%	2	2.7%	11	2.6%	39	2.7%	9	2.5%	30	2.8%
9. 無回答	30	1.6%	9	1.8%	1	1.4%	8	1.9%	21	1.5%	7	1.9%	14	1.3%
(11)以上の程度合計	1,935	100.0%	490	100.0%	73	100.0%	417	100.0%	1,445	100.0%	363	100.0%	1,082	100.0%

①経済的なことに関して

①心配や困っていること	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. あり	3,770	53.3%	1,275	49.5%	516	47.2%	759	51.2%	2,495	55.4%	1,156	61.5%	1,339	51.0%
2. なし	3,121	44.1%	1,234	47.9%	546	50.0%	688	46.4%	1,887	41.9%	650	34.6%	1,237	47.2%
0. 無回答・不明	187	2.6%	66	2.6%	31	2.8%	35	2.4%	121	2.7%	74	3.9%	47	1.8%
①の合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%
②ストレスの程度														
1. 非常に感じる	860	22.8%	296	23.2%	100	19.4%	196	25.8%	564	22.6%	311	26.9%	253	18.9%
2. かなり感じる	1,165	30.9%	403	31.6%	175	33.9%	228	30.0%	762	30.5%	351	30.4%	411	30.7%
3. 少し感じる	1,539	40.8%	512	40.2%	215	41.7%	297	39.1%	1,027	41.2%	429	37.1%	598	44.7%
4. ほとんどなし	98	2.6%	27	2.1%	6	1.2%	21	2.8%	71	2.8%	19	1.6%	52	3.9%
9. 無回答	108	2.9%	37	2.9%	20	3.9%	17	2.2%	71	2.8%	46	4.0%	25	1.9%
②の合計	3,770	100.0%	1,275	100.0%	516	100.0%	759	100.0%	2,495	100.0%	1,156	100.0%	1,339	100.0%

表 20-1：心配ごとなどからくる影響

* Q20の(1)~①心配ごとあり限定 (MA)

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
01. 仕事や家事・育児、勉強する意欲の減退	1,480	20.9%	406	12.6%	154	14.1%	252	17.0%	1,074	20.4%	444	23.6%	630	24.0%
02. 生きる気力がなくなった	347	4.9%	100	3.1%	24	2.2%	76	5.1%	247	4.7%	73	3.9%	174	6.6%
03. ある程度のストレスは何とかやっつけている	3,227	45.6%	1,116	34.6%	500	45.7%	616	41.6%	2,111	40.2%	850	45.2%	1,261	48.1%
04. 励みになって、人間的に成長した	931	13.2%	347	10.7%	124	11.3%	223	15.0%	584	11.1%	213	11.3%	371	14.1%
05. 人付き合いがいやになった	1,103	15.6%	288	8.9%	93	8.5%	195	13.2%	815	15.5%	287	15.3%	528	20.1%
06. いらいらして、周囲の人にあたって	1,758	24.8%	345	10.7%	150	13.7%	195	13.2%	1,413	26.9%	573	30.5%	840	32.0%
07. 結婚のチャンスがたり、恋人を失った	286	4.0%	115	3.6%	1	0.1%	114	7.7%	171	3.3%	3	0.2%	168	6.4%
08. 結婚に興味なくなった	219	3.1%	67	2.1%	3	0.3%	64	4.3%	152	2.9%	12	0.6%	140	5.3%
09. 結婚生活を続けるのがいやになった	215	3.0%	17	0.5%	15	1.4%	2	0.1%	198	3.8%	196	10.4%	2	0.1%
10. 身体症状がでた(病気になったり、体調をくずした)	1,287	18.2%	278	8.6%	126	11.5%	152	10.3%	1,009	19.2%	386	20.5%	623	23.8%
11. 食欲がなくなった	514	7.3%	126	3.9%	41	3.8%	85	5.7%	388	7.4%	140	7.4%	248	9.5%
12. 食べ過ぎるようになった	1,277	18.0%	262	8.1%	101	9.2%	161	10.9%	1,015	19.3%	346	18.4%	669	25.5%
13. たばこやお酒の量が増えた	1,190	16.8%	595	18.4%	265	24.2%	330	22.3%	595	11.3%	268	14.3%	327	12.5%
14. 性生活ができなくなった	123	1.7%	29	0.9%	11	1.0%	18	1.2%	94	1.8%	77	4.1%	17	0.6%
15. 性的欲求が減退した	379	5.4%	132	4.1%	78	7.1%	54	3.6%	247	4.7%	215	11.4%	32	1.2%
16. 性的欲求が増した	192	2.7%	125	3.9%	19	1.7%	106	7.2%	67	1.3%	12	0.6%	55	2.1%
17. 特に影響を感じない	878	12.4%	368	11.4%	123	11.3%	245	16.5%	510	9.7%	206	11.0%	304	11.6%
18. その他	143	2.0%	41	1.3%	14	1.3%	27	1.8%	102	1.9%	41	2.2%	61	2.3%
MA回答数合計	15,549	219.7%	4,757	147.3%	1,842	168.5%	2,915	196.7%	10,792	205.5%	4,342	231.0%	6,450	245.9%
00. 無回答・不明	1,404	19.8%	0	0.0%	304	27.8%	351	23.7%	0	0.0%	368	19.6%	381	14.5%
MA回答者合計	7,078	100.0%	3,230	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	5,252	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表 21：心配ごとの話し相手・相談相手の有無

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. いる	6,455	91.2%	2,155	83.7%	940	86.0%	1,215	82.0%	4,300	95.5%	1,785	94.9%	2,515	95.9%
2. いない	569	8.0%	386	15.0%	132	12.1%	254	17.1%	183	4.1%	83	4.4%	100	3.8%
0. 無回答・不明	54	0.8%	34	1.3%	21	1.9%	13	0.9%	20	0.4%	12	0.6%	8	0.3%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表 21-1：心配ごとの話し相手・相談相手は誰か (MA)

	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 同性の友人	4,840	75.0%	1,386	64.2%	416	44.3%	970	79.8%	3,454	80.3%	1,197	67.1%	2,257	89.7%
2. 異性の友人	1,314	20.4%	450	20.9%	70	7.4%	380	31.3%	864	20.1%	173	9.7%	691	27.5%
3. 恋人	1,248	19.3%	335	15.5%	5	0.5%	330	27.2%	913	21.2%	9	0.5%	904	35.9%
4. 親・きょうだい	3,049	47.2%	656	30.4%	195	20.7%	461	37.9%	2,393	55.6%	925	51.8%	1,468	58.4%
5. 配偶者・パートナー	2,081	32.2%	809	37.5%	797	84.8%	12	1.0%	1,272	29.6%	1,262	70.7%	10	0.4%
6. 上司・先生・先輩	1,167	18.1%	541	25.1%	232	24.7%	309	25.4%	626	14.5%	239	13.4%	387	15.4%
7. その他	102	1.6%	25	1.2%	8	0.9%	17	1.4%	77	1.8%	38	2.1%	39	1.6%
MA回答数合計	13,801	213.8%	4,202	194.7%	1,723	183.3%	2,479	204.0%	9,599	223.0%	3,843	215.3%	5,756	228.9%
0. 無回答・不明	7	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.2%
いる合計	6,455	100.0%	2,158	100.0%	940	100.0%	1,215	100.0%	4,304	100.0%	1,785	100.0%	2,515	100.0%

表 2 2 : プライベートで使っている通信機器

(1)パソコン通信またはインターネットを使っていますか

(1)	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
	1. 使っている	922	13.0%	547	21.2%	275	25.2%	272	18.4%	375	8.3%	154	8.2%	221
2. 使っていない	6,026	85.1%	1,987	77.2%	807	73.8%	1,180	79.6%	4,039	89.7%	1,668	88.7%	2,371	90.4%
0. 無回答・不明	130	1.8%	41	1.6%	11	1.0%	30	2.0%	89	2.0%	58	3.1%	31	1.2%
(1)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

(2)携帯電話・PHS・ポケベルのどれかを使っていますか

(2)	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
	1. 使っている	4,264	60.2%	1,534	59.6%	629	57.5%	905	61.1%	2,730	60.6%	899	47.8%	1,831
2. 使っていない	2,751	38.9%	1,011	39.3%	449	41.1%	562	37.9%	1,740	38.6%	963	51.2%	777	29.6%
0. 無回答・不明	63	0.9%	30	1.2%	15	1.4%	15	1.0%	33	0.7%	18	1.0%	15	0.6%
(2)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表 2 3 : 結婚・出産・育児等の知識の情報源 (MA)

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
	0 1. テレビ・ラジオ	4,325	61.1%	1,685	62.8%	638	58.4%	1,047	70.6%	2,640	57.6%	895	47.6%	1,745
0 2. 書籍・雑誌・新聞・ビデオ	4,579	64.7%	1,685	62.8%	808	73.9%	877	59.2%	2,894	63.1%	1,318	70.1%	1,576	60.1%
0 3. 医療・保健・福祉関係機関(病院、保健所、役所など)	658	9.3%	247	9.2%	193	17.7%	54	3.6%	411	9.0%	327	17.4%	84	3.2%
0 4. 市区町村の広報紙	268	3.8%	102	3.8%	76	7.0%	26	1.8%	166	3.6%	140	7.4%	26	1.0%
0 5. 家族・親戚	2,809	39.7%	861	32.1%	475	43.5%	386	26.0%	1,948	42.5%	880	46.8%	1,068	40.7%
0 6. 友人	3,367	47.6%	999	37.3%	322	29.5%	677	45.7%	2,368	51.6%	979	52.1%	1,389	53.0%
0 7. 職場で	1,770	25.0%	603	22.5%	287	26.3%	316	21.3%	1,167	25.4%	529	28.1%	638	24.3%
0 8. ナカなど、社会的活動の場で	291	4.1%	113	4.2%	30	2.7%	83	5.6%	178	3.9%	112	6.0%	66	2.5%
0 9. 学校教育の中で	883	12.5%	185	6.9%	19	1.7%	166	11.2%	698	15.2%	136	7.2%	562	21.4%
1 0. パソコン通信またはインターネット	39	0.6%	27	1.0%	13	1.2%	14	0.9%	12	0.3%	6	0.3%	6	0.2%
1 1. 電話相談	12	0.2%	1	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	11	0.2%	7	0.4%	4	0.2%
1 2. その他	81	1.1%	34	1.3%	10	0.9%	24	1.6%	47	1.0%	23	1.2%	24	0.9%
MA回答者合計	19,082	269.6%	6,542	244.0%	2,872	262.8%	3,670	247.6%	12,540	273.4%	5,352	284.7%	7,188	274.0%
0 0. 無回答・不明	189	2.7%	0	0.0%	33	3.0%	73	4.9%	0	0.0%	26	1.4%	57	2.2%
MA回答者合計	7,078	100.0%	2,681	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,586	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表 2 4 : 中学生頃まで過ごした地域

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
	1. 市街地だった	3,884	54.9%	1,519	59.0%	703	64.3%	816	55.1%	2,365	52.5%	912	48.5%	1,453
2. 市街地ではなかった	3,138	44.3%	1,033	40.1%	381	34.9%	652	44.0%	2,105	46.7%	952	50.6%	1,153	44.0%
0. 無回答・不明	56	0.8%	23	0.9%	9	0.8%	14	0.9%	33	0.7%	16	0.9%	17	0.6%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表 2 5 : 地域行事・活動などが盛んだったか

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
	1. 盛んだった	1,634	23.1%	586	22.8%	240	22.0%	346	23.3%	1,048	23.3%	440	23.4%	608
2. 盛んではないが、行事・活動はあった	3,970	56.1%	1,402	54.4%	597	54.6%	805	54.3%	2,568	57.0%	1,060	56.4%	1,508	57.5%
3. 行事・活動はほとんどなかった	808	11.4%	367	14.3%	193	17.7%	174	11.7%	441	9.8%	209	11.1%	232	8.8%
4. わからない	606	8.6%	198	7.7%	54	4.9%	144	9.7%	408	9.1%	148	7.9%	260	9.9%
0. 無回答・不明	60	0.8%	22	0.9%	9	0.8%	13	0.9%	38	0.8%	23	1.2%	15	0.6%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表 2 5 - 1 : 行事・活動への関わり

1・2	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
	1. 積極的に参加した	774	13.8%	288	14.5%	136	16.2%	152	13.2%	486	13.4%	235	15.7%	251
2. 積極とはいえないが参加していた	3,732	66.6%	1,286	64.7%	564	67.4%	722	62.7%	2,446	67.6%	1,016	67.7%	1,430	67.6%
3. ほとんど関わらなかった	1,070	19.1%	406	20.4%	134	16.0%	272	23.6%	664	18.4%	240	16.0%	424	20.0%
4. その他	17	0.3%	3	0.2%	0	0.0%	3	0.3%	14	0.4%	5	0.3%	9	0.4%
0. 無回答・不明	11	0.2%	5	0.3%	3	0.4%	2	0.2%	6	0.2%	4	0.3%	2	0.1%
1・2合計	5,604	100.0%	1,988	100.0%	837	100.0%	1,151	100.0%	3,616	100.0%	1,500	100.0%	2,116	100.0%

表 26：中学生の頃の家族構成

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 核家族（両親と子ども）	4,523	63.9%	1,730	67.2%	739	67.6%	991	66.9%	2,793	62.0%	1,088	57.9%	1,705	65.0%
2. 三世大家族（祖父母と両親と子ども）	2,075	29.3%	684	26.6%	288	26.3%	396	26.7%	1,391	30.9%	631	33.6%	760	29.0%
3. 単親（父親または母親）と祖父母と子ども	84	1.2%	32	1.2%	11	1.0%	21	1.4%	52	1.2%	21	1.1%	31	1.2%
4. 母親と子ども	232	3.3%	75	2.9%	31	2.8%	44	3.0%	157	3.5%	83	4.4%	74	2.8%
5. 父親と子ども	40	0.6%	14	0.5%	7	0.6%	7	0.5%	26	0.6%	17	0.9%	9	0.3%
6. その他	71	1.0%	16	0.6%	6	0.5%	10	0.7%	55	1.2%	25	1.3%	30	1.1%
0. 無回答・不明	53	0.7%	24	0.9%	11	1.0%	13	0.9%	29	0.6%	15	0.8%	14	0.5%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表 27：中学生から20歳頃までの親ごさんの接し方

父親(1)	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 私の考えや感じていることなどに耳を傾け、聞いてくれた	2,420	34.2%	960	37.3%	428	39.2%	532	35.9%	1,460	32.4%	540	28.7%	920	35.1%
2. 私に対するしつけや規則を守る事に関して厳しかった	2,995	42.3%	1,115	43.3%	498	45.6%	617	41.6%	1,880	41.7%	775	41.2%	1,105	42.1%
3. 私と一緒に行動したが、私の側にいつもいたがった	527	7.4%	140	5.4%	57	5.2%	83	5.6%	387	8.6%	116	6.2%	271	10.3%
4. 私に何をすべきか・どのようにすべきか、何時も指示していた	1,029	14.5%	392	15.2%	157	14.4%	235	15.9%	637	14.1%	284	15.1%	353	13.5%
5. 私の行動に口は挟まないが、いつも気づかってくれていた	3,914	55.3%	1,467	57.0%	682	62.4%	785	53.0%	2,447	54.3%	1,029	54.7%	1,418	54.1%

母親(6)	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 私の考えや感じていることなどに耳を傾け、聞いてくれた	4,481	63.3%	1,554	60.3%	702	64.2%	852	57.5%	2,927	65.0%	1,157	61.5%	1,770	67.5%
2. 私に対するしつけや規則を守る事に関して厳しかった	3,402	48.1%	1,151	44.7%	513	46.9%	638	43.0%	2,251	50.0%	893	47.5%	1,358	51.8%
3. 私と一緒に行動したが、私の側にいつもいたがった	1,248	17.6%	391	15.2%	170	15.6%	221	14.9%	857	19.0%	313	16.6%	544	20.7%
4. 私に何をすべきか・どのようにすべきか、何時も指示していた	1,867	26.4%	532	20.7%	189	17.3%	343	23.1%	1,335	29.6%	556	29.6%	779	29.7%
5. 私の行動に口は挟まないが、いつも気づかってくれていた	4,671	66.0%	1,731	67.2%	792	72.5%	939	63.4%	2,940	65.3%	1,259	67.0%	1,681	64.1%

Q 28：中学生あるいは高校生の頃に赤ちゃんや子どもの世話をしたり遊んだことの実験

1. 世話をした経験（おむつの交換やミルクを飲ませる）

	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. よくやった	446	6.3%	77	3.0%	34	3.1%	43	2.9%	369	8.2%	165	8.8%	204	7.8%
2. 少しやった	1,245	17.6%	326	12.7%	135	12.4%	191	12.9%	919	20.4%	375	19.9%	544	20.7%
3. やらなかった	5,297	74.8%	2,128	82.6%	910	83.3%	1,218	82.2%	3,169	70.4%	1,319	70.2%	1,850	70.5%
0. 無回答・不明	90	1.3%	44	1.7%	14	1.3%	30	2.0%	46	1.0%	21	1.1%	25	1.0%
(1)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

2. だっこしたり、あやした経験

1. よくやった	985	13.9%	248	9.6%	93	8.5%	155	10.5%	737	16.4%	273	14.5%	464	17.7%
2. 少しやった	2,342	33.1%	780	30.3%	301	27.5%	479	32.3%	1,562	34.7%	609	32.4%	953	36.3%
3. やらなかった	3,668	51.8%	1,508	58.6%	686	62.8%	822	55.5%	2,160	48.0%	978	52.0%	1,182	45.1%
0. 無回答・不明	83	1.2%	39	1.5%	13	1.2%	26	1.8%	44	1.0%	20	1.1%	24	0.9%
(2)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

3. 一緒に遊んだ経験

1. よくやった	1,328	18.8%	380	14.8%	131	12.0%	249	16.8%	948	21.1%	329	17.5%	619	23.6%
2. 少しやった	2,675	37.8%	947	36.8%	382	34.9%	565	38.1%	1,728	38.4%	661	35.2%	1,067	40.7%
3. やらなかった	2,992	42.3%	1,209	47.0%	567	51.9%	642	43.3%	1,783	39.6%	869	46.2%	914	34.8%
0. 無回答・不明	83	1.2%	39	1.5%	13	1.2%	26	1.8%	44	1.0%	21	1.1%	23	0.9%
(3)合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表 29：1人暮らしの経験（1ヶ月以上、20歳くらいまで）

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. ある	2,608	36.8%	1,428	55.5%	615	56.3%	813	54.9%	1,180	26.2%	577	30.7%	603	23.0%
2. なし	4,407	62.3%	1,119	43.5%	468	42.8%	651	43.9%	3,288	73.0%	1,288	68.5%	2,000	76.2%
0. 無回答・不明	63	0.9%	28	1.1%	10	0.9%	18	1.2%	35	0.8%	15	0.8%	20	0.8%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表29-1：生活した経験はいかがですか

ある	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 自由な感じ	1,242	47.6%	733	51.3%	306	49.8%	427	52.5%	509	43.1%	231	40.0%	278	46.1%
2. 自立した感じ	493	18.9%	275	19.3%	161	26.2%	114	14.0%	218	18.5%	110	19.1%	108	17.9%
3. 大変である	378	14.5%	225	15.8%	69	11.2%	156	19.2%	153	13.0%	66	11.4%	87	14.4%
4. 寂しい感じ	302	11.6%	103	7.2%	43	7.0%	60	7.4%	199	16.9%	115	19.9%	84	13.9%
5. 不安である	24	0.9%	4	0.3%	0	0.0%	4	0.5%	20	1.7%	7	1.2%	13	2.2%
6. その他	31	1.2%	20	1.4%	5	0.8%	15	1.8%	11	0.9%	4	0.7%	7	1.2%
0. 無回答・不明	138	5.3%	68	4.8%	31	5.0%	37	4.6%	70	5.9%	44	7.6%	26	4.3%
ある合計	2,608	100.0%	1,428	100.0%	615	100.0%	813	100.0%	1,180	100.0%	577	100.0%	603	100.0%

表30：子どもや子どもを生き育てることについて

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
①子どもは、自分の生命を伝える存在として大切である	4,543	64.2%	1,712	66.5%	779	71.3%	933	63.0%	2,831	62.9%	1,234	65.6%	1,597	60.9%
②子どもは、社会の次世代の担い手として大切である	5,719	80.8%	2,107	81.8%	960	87.8%	1,147	77.4%	3,612	80.2%	1,544	82.1%	2,068	78.8%
③子どもは、人々にうるおいや活気を与える存在である	6,021	85.1%	2,065	80.2%	985	90.1%	1,080	72.9%	3,956	87.9%	1,721	91.5%	2,235	85.2%
④子育てには面白いことや発見がある	5,900	83.4%	1,916	74.4%	968	88.6%	948	64.0%	3,984	88.5%	1,754	93.3%	2,230	85.0%
⑤子どもを生き育ててこそ、人として一人前である	2,590	36.6%	1,060	41.2%	545	49.9%	515	34.8%	1,530	34.0%	783	41.6%	747	28.5%
⑥子育てによって、親は犠牲にするものが多い	3,786	53.5%	1,484	57.6%	638	58.4%	846	57.1%	2,302	51.1%	965	51.3%	1,337	51.0%
⑦子どもの世話の大部分は、父親もできる	4,650	65.7%	1,268	49.2%	497	45.5%	771	52.0%	3,382	75.1%	1,373	73.0%	2,009	76.6%
⑧私は、自分の子どもはかわいいと思う(思うだろう)	6,331	89.4%	2,202	85.5%	1,025	93.8%	1,177	79.4%	4,129	91.7%	1,771	94.2%	2,358	89.9%
⑨私は、子どもが好きである	4,905	69.3%	1,766	68.6%	842	77.0%	924	62.3%	3,139	69.7%	1,268	67.4%	1,871	71.3%

表31：子育ての環境について

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
①子ども産業(紙おむつ、離乳食など)が盛んになってきたので、育児は以前より楽になった	5,214	73.7%	1,643	63.8%	828	75.8%	815	55.0%	3,571	79.3%	1,608	85.5%	1,963	74.8%
②子どもの世話をしながら働き続けると、仕事上の不利益をまねく	3,345	47.3%	1,212	47.1%	568	52.0%	644	43.5%	2,133	47.4%	940	50.0%	1,193	45.5%
③仕事と育児を両立させるための、保育・育児休業制度などが十分でない	5,236	74.0%	1,763	68.5%	866	79.2%	897	60.5%	3,473	77.1%	1,479	78.7%	1,994	76.0%
④健診や保育指導サービスの内容がよくなった	1,775	25.1%	603	23.4%	302	27.6%	301	20.3%	1,172	26.0%	655	34.8%	517	19.7%
⑤保育所や児童館など児童福祉施設が整ってきた	1,818	25.7%	607	23.6%	282	25.8%	325	21.9%	1,211	26.9%	594	31.6%	617	23.5%
⑥乳幼児を連れて外出するには、交通機関や公共施設に不都合が多い	4,069	57.5%	1,412	54.8%	680	62.2%	732	49.4%	2,657	59.0%	1,147	61.0%	1,510	57.6%
⑦安心して、子どもを遊ばせることのできる所が少なくなってきた	5,650	79.8%	1,954	75.9%	872	79.8%	1,082	73.0%	3,696	82.1%	1,537	81.8%	2,159	82.3%
⑧子育てをする親や子ども達に対し、思いやりや共感のない人達が多い	3,221	45.5%	1,209	47.0%	527	48.2%	682	46.0%	2,012	44.7%	864	46.0%	1,148	43.8%
⑨コンピュータゲームなどの一人遊びが増えたことには、子どもにとって好ましくないことだ	5,426	76.7%	1,787	69.4%	841	76.9%	946	63.8%	3,639	80.8%	1,522	81.0%	2,117	80.7%
⑩幼いころから習い事や塾に通わせることが、過熱しすぎている	5,749	81.2%	2,069	80.3%	915	83.7%	1,154	77.9%	3,680	81.7%	1,532	81.5%	2,148	81.9%

表3 2：結婚しない人や、晩婚の人が増えている理由や原因について

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
①男性と女性の、それぞれの結婚相手に対する要求がくい違いうためである	4,274	60.4%	1,523	59.1%	652	59.7%	871	58.8%	2,751	61.1%	1,214	64.6%	1,537	58.6%
②異性と知り合うゆとりやチャンスが少ないから	3,004	42.4%	1,088	42.3%	416	38.1%	672	45.3%	1,916	42.5%	661	35.2%	1,255	47.8%
③世の中が便利になり一人でも生活が出来るから	5,150	72.8%	1,789	69.5%	836	76.5%	953	64.3%	3,361	74.6%	1,485	79.0%	1,876	71.5%
④束縛されずに、自由にしたい人が増えてきているからである	6,118	86.4%	2,091	81.2%	923	84.4%	1,168	78.8%	4,027	89.4%	1,714	91.2%	2,313	88.2%
⑤親離れや子離れできない親子がふえてきているからである	2,923	41.3%	1,050	40.8%	519	47.5%	531	35.8%	1,873	41.6%	903	48.0%	970	37.0%
⑥対人関係が煩わしく、一人で生活している方が楽だからである	4,300	60.8%	1,518	59.0%	732	67.0%	786	53.0%	2,782	61.8%	1,356	72.1%	1,426	54.4%
⑦対人関係や結婚生活で失敗することが恐いから	2,036	28.8%	797	31.0%	345	31.6%	452	30.5%	1,239	27.5%	468	24.9%	771	29.4%
⑧結婚しなくても、非難されないからである	2,663	37.6%	964	37.4%	490	44.8%	474	32.0%	1,699	37.7%	762	40.5%	937	35.7%
⑨女は結婚しなくとも、充実した人生を送ることができるからである	3,115	44.0%	925	35.9%	460	42.1%	465	31.4%	2,190	48.6%	983	52.3%	1,207	46.0%
⑩男は結婚しなくとも、充実した人生を送ることができるからである	2,775	39.2%	935	36.3%	425	38.9%	510	34.4%	1,840	40.9%	749	39.8%	1,091	41.6%
⑪伝統的なライフスタイルに縛られず、結婚・出産・子育て・仕事など自分の考え通りにしていきたいからである	4,765	67.3%	1,551	60.2%	681	62.3%	870	58.7%	3,214	71.4%	1,353	72.0%	1,861	70.9%
⑫社会の状況を見てみると、将来にさほど夢が描けないからである	2,474	35.0%	951	36.9%	376	34.4%	575	38.8%	1,523	33.8%	699	37.2%	824	31.4%

表3 3-1：結婚や子どもに関する偏見や差別がなくなれば、子どもを生む人や育てる人が今より増えるという考えに対してどのように思うか

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. そう思う	2,309	32.6%	638	24.8%	239	21.9%	399	26.9%	1,671	37.1%	601	32.0%	1,070	40.8%
2. そうは思わない	3,148	44.5%	1,384	53.7%	680	62.2%	704	47.5%	1,764	39.2%	856	45.5%	908	34.6%
3. わからない	1,543	21.8%	518	20.1%	163	14.9%	355	24.0%	1,025	22.8%	404	21.5%	621	23.7%
0. 無回答・不明	78	1.1%	35	1.4%	11	1.0%	24	1.6%	43	1.0%	19	1.0%	24	0.9%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表3 3-2：夫が働き、妻が家事・育児を行うという結婚における男女の役割観が変われば、結婚する人が増えるという考えに対してどのように思うか

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. そう思う	2,632	37.2%	531	20.6%	191	17.5%	340	22.9%	2,101	46.7%	888	47.2%	1,213	46.2%
2. そうは思わない	3,057	43.2%	1,526	59.3%	736	67.3%	790	53.3%	1,531	34.0%	645	34.3%	886	33.8%
3. わからない	1,314	18.6%	485	18.8%	156	14.3%	329	22.2%	829	18.4%	331	17.6%	498	19.0%
0. 無回答・不明	75	1.1%	33	1.3%	10	0.9%	23	1.6%	42	0.9%	16	0.9%	26	1.0%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表34：理想の子ども人数

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
1. 欲しくない	222	3.1%	78	3.0%	20	1.8%	58	3.9%	144	3.2%	39	2.1%	105	4.0%
2. 1人	302	4.3%	112	4.3%	52	4.8%	60	4.0%	190	4.2%	80	4.3%	110	4.2%
3. 2人	3,259	46.0%	1,268	49.2%	567	51.9%	701	47.3%	1,991	44.2%	706	37.6%	1,285	49.0%
4. 3人	2,070	29.3%	640	24.9%	360	32.9%	280	18.9%	1,430	31.8%	772	41.1%	658	25.1%
5. 4人以上	194	2.7%	57	2.2%	30	2.7%	27	1.8%	137	3.0%	100	5.3%	37	1.4%
6. 成り行きに任せる	442	6.2%	176	6.8%	34	3.1%	142	9.6%	266	5.9%	69	3.7%	197	7.5%
7. わからない	359	5.1%	154	6.0%	18	1.6%	136	9.2%	205	4.5%	50	2.7%	155	5.9%
8. 欲しいが事情があてあきめざるをえない	42	0.6%	5	0.2%	3	0.3%	2	0.1%	37	0.8%	32	1.7%	5	0.2%
0. 無回答・不明	188	2.7%	85	3.3%	9	0.8%	76	5.1%	103	2.3%	32	1.7%	71	2.7%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表34-1：子どもが欲しくない理由、少なくなる理由（MA）

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
01. 仕事や趣味を優先したい	423	6.0%	155	6.0%	58	5.3%	97	6.5%	268	6.0%	132	7.0%	136	5.2%
02. 妊娠・出産が大変だから	417	5.9%	87	3.4%	58	5.3%	29	2.0%	330	7.3%	148	7.9%	182	6.9%
03. 育児が大変だから	679	9.6%	238	9.2%	104	9.5%	134	9.0%	441	9.8%	185	9.8%	256	9.8%
04. 育児に自信がないから	255	3.6%	44	1.7%	8	0.7%	36	2.4%	211	4.7%	82	4.4%	129	4.9%
05. 育児と仕事の両立が困難だから	571	8.1%	75	2.9%	33	3.0%	42	2.8%	496	11.0%	335	17.8%	161	6.1%
06. 子どもと暮らすのが苦手	69	1.0%	25	1.0%	7	0.6%	18	1.2%	44	1.0%	15	0.8%	29	1.1%
07. 健康上の理由	167	2.4%	31	1.2%	29	2.7%	2	0.1%	136	3.0%	88	4.7%	48	1.8%
08. 年齢的な理由	487	6.9%	95	3.7%	58	5.3%	37	2.5%	392	8.7%	187	9.9%	205	7.8%
09. 育児に家族の協力が得られないから	118	1.7%	7	0.3%	5	0.5%	2	0.1%	111	2.5%	103	5.5%	8	0.3%
10. 育児の社会的な支援体制が不十分だから	559	7.9%	178	6.9%	93	8.5%	85	5.7%	381	8.5%	231	12.3%	150	5.7%
11. 住宅がせまいから	363	5.1%	184	7.1%	128	11.7%	56	3.8%	179	4.0%	119	6.3%	60	2.3%
12. 教育費などお金がかかるから	1,521	21.5%	492	19.1%	267	24.4%	225	15.2%	1,029	22.9%	565	30.1%	464	17.7%
13. 自然環境、社会環境がよくないから	265	3.7%	101	3.9%	53	4.8%	48	3.2%	164	3.6%	68	3.6%	96	3.7%
14. 自分の遺伝子を伝えたくない	48	0.7%	20	0.8%	1	0.1%	19	1.3%	28	0.6%	10	0.5%	18	0.7%
15. 少ない子どもに手をかけて育てたい	185	2.6%	59	2.3%	26	2.4%	33	2.2%	126	2.8%	59	3.1%	67	2.6%
16. 男女（夫婦）関係を大切にしたい	246	3.5%	91	3.5%	27	2.5%	64	4.3%	155	3.4%	49	2.6%	106	4.0%
17. 配偶者やパートナーがほしがらないから	112	1.6%	46	1.8%	40	3.7%	6	0.4%	66	1.5%	58	3.1%	8	0.3%
18. その他	106	1.5%	36	1.4%	21	1.9%	15	1.0%	70	1.6%	48	2.6%	22	0.8%
MA回答数合計	6,591	93.1%	1,964	76.3%	1,016	93.0%	948	64.0%	4,627	102.8%	2,482	132.0%	2,145	81.8%
0. 無回答・不明	4,373	61.8%	1,735	67.4%	664	60.8%	1,071	72.3%	2,638	58.6%	919	48.9%	1,719	65.5%
MA回答者合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表35：エンゼルプランの中で最も力をいれて欲しい施策は何か（MA）

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
01. 育児休業中の所得保障の充実	2,437	34.4%	679	26.4%	220	20.1%	459	31.0%	1,758	39.0%	741	39.4%	1,017	38.8%
02. 育児期間中の勤務時間の短縮や全体の労働時間の短縮	2,183	30.8%	609	23.7%	210	19.2%	399	26.9%	1,574	35.0%	632	33.6%	942	35.9%
03. 保育施設・保育サービスの充実	2,411	34.1%	715	27.8%	346	31.7%	369	24.9%	1,696	37.7%	787	41.9%	909	34.7%
04. 安心して子どもを生き育てることのできる母子医療・健康支援体制の充実	1,609	22.7%	598	23.2%	254	23.2%	344	23.2%	1,011	22.5%	334	17.8%	677	25.8%
05. 良質な住宅の供給（職住接近、子育て家族向き）	1,152	16.3%	639	24.8%	305	27.9%	334	22.5%	513	11.4%	174	9.3%	339	12.9%
06. 子どもに安全な遊び場や文化・スポーツ・自然などの活動体験場の充実	2,218	31.3%	971	37.7%	408	37.3%	563	38.0%	1,247	27.7%	444	23.6%	803	30.6%
07. ゆとりある学校教育の推進（環境整備、受験競争の緩和など）	2,626	37.1%	992	38.5%	425	38.9%	567	38.3%	1,634	36.3%	734	39.0%	900	34.3%
08. 家庭教育や子育ての支援（相談体制）	452	6.4%	184	7.1%	81	7.4%	103	7.0%	268	6.0%	94	5.0%	174	6.6%
09. 子育てにともなう経済的負担の軽減（保育料、児童手当、税制上の措置）	4,416	62.4%	1,532	59.5%	800	73.2%	732	49.4%	2,884	64.0%	1,389	73.9%	1,495	57.0%
10. その他	103	1.5%	47	1.8%	25	2.3%	22	1.5%	56	1.2%	26	1.4%	30	1.1%
MA回答数合計	19,607	277.0%	6,966	270.5%	3,074	281.2%	3,892	262.6%	12,641	280.7%	5,355	284.8%	7,286	277.8%
0. 無回答・不明	330	4.7%	152	5.9%	28	2.6%	124	8.4%	178	4.0%	61	3.2%	117	4.5%
全体	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

表36：子育てに関する公的サービスや雇用環境の充実により、子どもを生き育てる人が増えると思うか

カテゴリー	合計		男性						女性					
			男性合計		既婚		未婚		女性合計		既婚		未婚	
はい	4,481	63.3%	1,533	59.5%	728	66.6%	805	54.3%	2,948	65.5%	1,273	67.7%	1,675	63.9%
いいえ	615	8.7%	332	12.9%	148	13.5%	184	12.4%	283	6.3%	120	6.4%	163	6.2%
わからない	1,717	24.3%	594	23.1%	194	17.7%	400	27.0%	1,123	24.9%	430	22.9%	693	26.4%
無回答・不明	265	3.7%	116	4.5%	23	2.1%	93	6.3%	149	3.3%	57	3.0%	92	3.5%
合計	7,078	100.0%	2,575	100.0%	1,093	100.0%	1,482	100.0%	4,503	100.0%	1,880	100.0%	2,623	100.0%

未婚・シングル（Q8の2、3）限定

表37：結婚に関する考え

カテゴリー	未婚合計		未婚男性		未婚女性	
1. 結婚するつもりが相手がいるが、時期を待っている	921	22.4%	289	19.5%	632	24.1%
2. 現在相手はいないが、早く結婚したい	374	9.1%	122	8.2%	252	9.6%
3. 現在相手はいないが、ある程度の年齢までに結婚したい	929	22.6%	358	24.2%	571	21.8%
4. 理想的な相手が見つければ、結婚したい	1,391	33.9%	490	33.1%	901	34.3%
5. 結婚はしたくないが、パートナーとなる人がほしい	176	4.3%	75	5.1%	101	3.9%
6. 一生結婚するつもりはなく、パートナーもいない	52	1.3%	31	2.1%	21	0.8%
7. その他	145	3.5%	53	3.6%	92	3.5%
0. 無回答・不明	117	2.9%	64	4.3%	53	2.0%
合計	4,105	100.0%	1,482	100.0%	2,623	100.0%

表38：未婚・シングルでいる理由（MA）

カテゴリー	未婚合計		未婚男性		未婚女性	
01. 年齢がまだ若い	1,556	37.9%	595	40.1%	961	36.6%
02. 必要を感じない	1,050	25.6%	394	26.6%	656	25.0%
03. 適当な相手が見つからない	1,813	44.2%	639	43.1%	1,174	44.8%
04. 仕事（または学業）が忙しい	628	15.3%	238	16.1%	390	14.9%
05. 仕事（または学業）に打ち込みたい	381	9.3%	113	7.6%	268	10.2%
06. 自由や気楽さを失いたくない	1,236	30.1%	379	25.6%	857	32.7%
07. 健康上の理由・身体的な理由	42	1.0%	18	1.2%	24	0.9%
08. 経済的、物理的理由	1,206	29.4%	596	40.2%	610	23.3%
09. 結婚生活に自信がない	456	11.1%	115	7.8%	341	13.0%
10. 従来の結婚形態がいやだから	105	2.6%	34	2.3%	71	2.7%
11. 異性に興味がない	14	0.3%	2	0.1%	12	0.5%
12. 家族の世話をすため	62	1.5%	16	1.1%	46	1.8%
13. 結婚はめんどう	311	7.6%	111	7.5%	200	7.6%
14. 相手の都合	307	7.5%	79	5.3%	228	8.7%
15. その他	144	3.5%	50	3.4%	94	3.6%
MA回答数合計	9,311	226.8%	3,379	228.0%	5,932	226.2%
00. 無回答・不明	122	3.0%	61	4.1%	61	2.3%
MA回答者合計	4,105	100.0%	1,482	100.0%	2,623	100.0%

表39：何歳くらいの時に結婚したいですか

カテゴリー	未婚合計		未婚男性		未婚女性	
1. 24歳までに	469	11.4%	64	4.3%	405	15.4%
2. 25～29歳頃	1,952	47.6%	623	42.0%	1,329	50.7%
3. 30～34歳頃	809	19.7%	407	27.5%	402	15.3%
4. 35～39歳頃	183	4.5%	111	7.5%	72	2.7%
5. 40歳以上	9	0.2%	6	0.4%	3	0.1%
6. 年齢にはこだわらない	490	11.9%	167	11.3%	323	12.3%
7. 結婚するつもりはない	93	2.3%	48	3.2%	45	1.7%
0. 無回答・不明	100	2.4%	56	3.8%	44	1.7%
合計	4,105	100.0%	1,482	100.0%	2,623	100.0%

表40：結婚生活で<犠牲にしたくないもの>と<犠牲にしてよいもの> (MA)

カテゴリー	未婚合計		未婚男性		未婚女性	
1. 結婚生活で犠牲にしたくないものがある	2,886	70.3%	945	59.1%	1,941	71.3%
2. 結婚生活で犠牲にしてよいものがある	2,307	56.2%	730	45.6%	1,577	57.9%
3. 何も犠牲にしたくない	630	15.3%	280	17.5%	350	12.9%
4. 結婚するつもりはない	91	2.2%	46	2.9%	45	1.7%
MA回答数合計	5,914	144.1%	2,001	125.1%	3,913	143.7%
0. 無回答・不明	218	5.3%	0	0.0%	0	0.0%
MA回答者合計	4,105	100.0%	1,600	100.0%	2,723	100.0%

* 1 を選択 (MA)

(1)犠牲にしたくないものがある	未婚合計		未婚男性		未婚女性	
1. 現在の経済水準	1,002	34.7%	247	25.9%	755	38.8%
2. 現在の職場 (仕事)	390	13.5%	151	15.8%	239	12.3%
3. 現在の居住地 (住居)	95	3.3%	28	2.9%	67	3.4%
4. 親との同居	170	5.9%	26	2.7%	144	7.4%
5. 自分の姓 (苗字)	138	4.8%	100	10.5%	38	2.0%
6. 自由な時間・行動	2,054	71.2%	610	64.0%	1,444	74.2%
7. 生き方(思想・主義・宗教)	1,427	49.4%	553	58.0%	874	44.9%
8. その他	40	1.4%	19	2.0%	21	1.1%
MA回答数合計	5,316	184.2%	1,734	182.0%	3,582	184.0%
0. 無回答・不明	14	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
(1)犠牲にしたくないもののある合計	2,886	100.0%	953	100.0%	1,947	100.0%

* 2 を選択 (MA)

(2)犠牲にしてよいものがある	未婚合計		未婚男性		未婚女性	
1. 現在の経済水準	340	14.7%	203	27.5%	137	8.7%
2. 現在の職場 (仕事)	817	35.4%	125	16.9%	692	43.8%
3. 現在の居住地 (住居)	909	39.4%	353	47.8%	556	35.2%
4. 親との同居	526	22.8%	232	31.4%	294	18.6%
5. 自分の姓 (苗字)	1,283	55.6%	156	21.1%	1,127	71.4%
6. 自由な時間・行動	293	12.7%	193	26.1%	100	6.3%
7. 生き方(思想・主義・宗教)	88	3.8%	59	8.0%	29	1.8%
8. その他	3	0.1%	2	0.3%	1	0.1%
MA回答数合計	4,259	184.6%	1,323	179.0%	2,936	185.9%
0. 無回答・不明	11	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
(2)犠牲にしてよいもののある合計	2,307	100.0%	739	100.0%	1,579	100.0%

表41：結婚に対するプレッシャー

カテゴリー	未婚合計		未婚男性		未婚女性	
1. 非常に感じる	219	5.3%	54	3.6%	165	6.3%
2. かなり感じる	439	10.7%	127	8.6%	312	11.9%
3. 少し感じる	1,250	30.5%	418	28.2%	832	31.7%
4. 感じない	2,098	51.1%	822	55.5%	1,276	48.6%
0. 無回答・不明	99	2.4%	61	4.1%	38	1.4%
合計	4,105	100.0%	1,482	100.0%	2,623	100.0%

表41-1：プレッシャーはどなたからあるいはどこから(MA)

カテゴリー	未婚合計		未婚男性		未婚女性	
1. 親から	1,193	62.5%	352	58.6%	841	64.1%
2. きょうだいから	193	10.1%	60	10.0%	133	10.1%
3. 親戚から	534	28.0%	114	19.0%	420	32.0%
4. 職場で	546	28.6%	198	32.9%	348	26.5%
5. 友人から	521	27.3%	165	27.5%	356	27.1%
6. 地域・近隣の人から	198	10.4%	31	5.2%	167	12.7%
7. ばく然と	505	26.5%	165	27.5%	340	25.9%
8. その他	59	3.1%	23	3.8%	36	2.7%
MA回答数合計	3,749	196.5%	1,108	184.4%	2,641	201.1%
0. 無回答・不明	6	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
M5. 1~3の合計	1,908	100.0%	601	100.0%	1,313	100.0%

表41-2：プレッシャーに対しての思いと行動

カテゴリー	合計		未婚男性		未婚女性	
1. あせるが、具体的な行動はしていない	580	30.4%	141	23.5%	439	33.5%
2. あせて、具体的な行動を起こしている	73	3.8%	28	4.7%	45	3.4%
3. 自分は自分だから、あせらない	1,083	56.8%	387	64.6%	696	53.2%
4. 反発する	103	5.4%	24	4.0%	79	6.0%
5. その他	50	2.6%	12	2.0%	38	2.9%
MA回答数合計	19	1.0%	7	1.2%	12	0.9%
0. 無回答・不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
M5. 1~3の合計	1,908	100.0%	599	100.0%	1,309	100.0%

表42：個人の紹介によるお見合い経験

カテゴリー	未婚合計		未婚男性		未婚女性	
1. はい	558	13.6%	132	8.9%	426	16.2%
2. いいえ	3,267	79.6%	1,197	80.8%	2,070	78.9%
0. 無回答・不明	280	6.8%	153	10.3%	127	4.8%
合計	4,105	100.0%	1,482	100.0%	2,623	100.0%

表43：結婚相談所・お見合い紹介システムの利用

カテゴリー	未婚合計		未婚男性		未婚女性	
1. はい	112	2.7%	35	2.4%	77	2.9%
2. いいえ	3,697	90.1%	1,289	87.0%	2,408	91.8%
0. 無回答・不明	296	7.2%	158	10.7%	138	5.3%
合計	4,105	100.0%	1,482	100.0%	2,623	100.0%

既婚・パートナーあり限定

表44：結婚のきっかけ

カテゴリー	既婚合計		既婚男性		既婚女性	
01. 仕事の関係	1,140	38.3%	497	45.5%	643	34.2%
02. 学校が一緒だった	349	11.7%	145	13.3%	204	10.9%
03. 友人・知人などを介して	811	27.3%	247	22.6%	564	30.0%
04. 個人的なお見合い	162	5.4%	38	3.5%	124	6.6%
05. 結婚相談所やお見合い紹介システムなど	27	0.9%	10	0.9%	17	0.9%
06. 街頭や旅先などで、知り合った	113	3.8%	30	2.7%	83	4.4%
07. 地域活動（青年団などの住民組織）を通じて	30	1.0%	4	0.4%	26	1.4%
08. 趣味・嗜好を同じくする人の集まりで	162	5.4%	57	5.2%	105	5.6%
09. ボランティアなどの自主的な社会活動を通じて	14	0.5%	5	0.5%	9	0.5%
10. 結婚情報誌などマスメディアを通じて	4	0.1%	4	0.4%	0	0.0%
11. パソコン通信・インターネットで	1	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
12. その他	113	3.8%	42	3.8%	71	3.8%
00. 無回答・不明	47	1.6%	14	1.3%	33	1.8%
合計	2,973	100.0%	1,093	100.0%	1,880	100.0%

表45：結婚を決意した理由

カテゴリー	既婚合計		既婚男性		既婚女性	
01. 好きな人と一緒にいたかった	1,051	35.4%	368	33.7%	683	36.3%
02. 相手が強く希望したから	177	6.0%	47	4.3%	130	6.9%
03. 一緒に暮らせそうな人だと思ったから	1,067	35.9%	463	42.4%	604	32.1%
04. 適齢期だった、またはそれを過ぎていた	77	2.6%	29	2.7%	48	2.6%
05. 子どもができた	152	5.1%	36	3.3%	116	6.2%
06. 親など周りの人からのプレッシャー	77	2.6%	18	1.6%	59	3.1%
07. 独身よりいい生活ができそうだった	33	1.1%	21	1.9%	12	0.6%
08. 安らぎを得たかった	172	5.8%	61	5.6%	111	5.9%
09. 性的満足を得たかった	2	0.1%	2	0.2%	0	0.0%
10. その他	83	2.8%	20	1.8%	63	3.4%
00. 無回答・不明	82	2.8%	28	2.6%	54	2.9%
合計	2,973	100.0%	1,093	100.0%	1,880	100.0%

結婚・出産・育児と社会環境に関するアンケートのお願い

皆様には、お元気で過ごしのこととお慶び申し上げます。

近年わが国は、長寿社会となる一方、生まれてくる子どもの数が減っており、このままの状態が続きますと、将来の社会的な問題につながる事が予測されています。

私どもは、厚生省の依頼を受け、少子化に関する研究を行うことになりました。

つきましては、多くの方々から、結婚・出産・育児についてのお考えやご意見をお聞かせいただきたく、今回の調査を企画いたしました。

調査項目の中には個人的なことも含まれていますが、ご回答の取り扱いには慎重を期し、コンピュータにより統計的に処理いたしますので、プライバシーに関するご迷惑はおかけいたしません。

ご回答くださいますようお願い申し上げます。

1997年10月

厚生省心身障害研究「少子化についての専門的研究」班
主任研究者 平山宗宏（日本子ども家庭総合研究所所長）

分担研究「社会環境が結婚・出産・育児に及ぼす影響に関する研究」
分担研究者 高野 陽（日本子ども家庭総合研究所母子保健研究部部長）

*ご記入にあたって

本調査では、「結婚」の定義については特に限定しておりません。「結婚」はあなたのお考えでイメージしてご回答ください。ただし、本調査では「籍を入れている方」を配偶者、「籍を入れずに、伴侶として一緒に暮らす方」をパートナー、といたしました。

1 記入の方法

- ・以下の設問で、あなたに当てはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
- ・（ ）などの空欄には該当する内容をご記入ください。
- ・質問によっては、お答えいただく方が限定されるところがありますので、矢印や [] 内の説明にご注意ください。

2 調査票の構成

- ・白い調査用紙は全員の方にお答えいただきます。
- ・色つきの用紙は、**ピンク**が「未婚の方と現在シングルの方」
ブルーが「現在、配偶者またはパートナーのいらっしゃる方」
となっています。それぞれ、該当する用紙だけにご記入ください。

3 調査票の回収方法

- ・ご記入済みの調査用紙は、無記名で、調査用紙の入っていた封筒に入れ、封をして担当者の指示する方法に従って、期日までにご提出ください。

*本調査に関する質問などのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〒106 東京都港区南麻布 5-6-8
社会福祉法人 恩賜財団 母子愛育会
日本子ども家庭総合研究所 母子保健研究部

☎&FAX (直通) 03-3442-1193 担当者：斎藤幸子
☎ (代表) 03-3473-8311

結婚・出産・育児と社会環境に関するアンケート

[1] あなたご自身のことについてうかがいます。

Q1 あなたの年齢を以下から選んで、番号に○印をつけてください。

1 19歳以下 2 20～24歳 3 25～29歳 4 30～34歳 5 35～39歳 6 40歳以上

Q2 あなたの性別の番号に○印をつけてください。

1 男 2 女

Q3 あなたの出生地 : () 都・道・府・県

Q4 現在の居住地 : () 都・道・府・県

Q5 あなたの兄弟姉妹数は、あなたを入れて何人ですか。そのうちあなたは何番目ですか。

() 人きょうだいの () 番目

Q6 あなたが最後に学んだ(または現在学んでいる)学校は次のどれですか。番号1つに○印をつけてください。

1 中学校 2 高校 3 専門・専修学校 4 短大 5 大学 6 大学院 7 その他 ()

Q7 あなたのご職業などは、次のどれに当たりますか。番号1つに○印をつけてください。

- 1 勤め人(専門職、管理職)
- 2 勤め人(事務、販売、サービスなど)
- 3 勤め人(工場などの現場労働)
- 4 農林漁業
- 5 農林漁業以外の自営業・会社経営
- 6 学生
- 7 専業主婦
- 8 その他 ()

→ [1～3の勤め人の方だけにうかがいます]

SQ7-1 就業状況は次のどれですか

1 正規の職員 2 パート、臨時 3 その他

SQ7-2 夜勤はありますか。ある方は月に約何回ですか。

1 夜勤あり→月平均(約)回 2 夜勤なし

[2] あなたの現在のご家族についてうかがいます

Q8 あなたは現在結婚していますか、あるいはこれまでに結婚したことがありますか。番号1つに○印をつけてください。

1 現在、結婚している 2 かつて結婚していたが、現在はシングルである 3 結婚したことがない

↓
[上記1.2.に○をつけた方にうかがいます]

SQ8-1 結婚をしたのは何歳の時でしたか。最初の結婚年齢に○印をつけてください。

1 19歳以下 2 20～24歳 3 25～29歳 4 30～34歳 5 35～39歳 6 40歳以上

Q9 あなたは現在、どなたと暮らしていますか。当てはまる番号1つに○印をつけてください。

- 1 一人で暮らしている(単身赴任を含む)
- 2 寮生活をしている
- 3 きょうだいだけで暮らしている
- 4 家族(親子、夫婦など)と暮らしている
- 5 家族以外の同性の人(友人など)と一緒に暮らしている
- 6 家族以外の異性の人と一緒に暮らしている
- 7 その他 ()

* お子さんについてうかがいます

Q10 あなたには、現在お子さんがいらっしゃいますか。

1 いる	2 いない
------	-------

↓
[お子さんがいらっしゃる方にうかがいます]

SQ10-1 お子さんは何人ですか () 人

SQ10-2 お子さん達の年齢は、次の項目のどれに当てはまりますか。すべてのお子さんについて、○印をつけてください。もし、お子さん2人以上が同じ項目になる場合は、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

1 2歳未満	2 2歳～4歳未満	3 4歳から就学前	4 小学生	5 中学生
6 高校生	7 その他			

[出産経験のある女性の方にうかがいます]

SQ10-3 あなたが1人目のお子さんを出産したのは、あなたが何歳の時でしたか。

1 19歳未満	2 20～24歳	3 25～29歳	4 30～34歳	5 35～39歳	6 40歳以上
---------	----------	----------	----------	----------	---------

* 親ごさんについてうかがいます

なお、親ごさんが死亡あるいは事情があってわからない場合、Q11～Q14の設問では [0 非該当] に○印をつけてください。

Q11 現在、あなたは親ごさんと同居していますか。当てはまる番号に○印をつけてください。

1 自分の親と同居している	3 同居していない
2 配偶者またはパートナーの親と同居している	0 非該当 (死亡など)

Q12 現在、あなたご自身の親ごさんはあなたに対してどのような接し方をしていると思いますか。父親・母親別に表の上の欄の選択肢からあなたのお考えに近い項目を選んで、記入欄の番号にそれぞれ1つ○印をつけてください。

		1 そう思う	2 そうは思わない	3 どちらとも いえない	0 非該当
父親	① 父は、私と一緒に行動したが、私の側にいつもいたがる	1	2	3	0
	② 父は、私に何をすべきか・どのようにすべきか何時も指示している	1	2	3	0
	③ 父は、私の行動に口は挟まないが、いつも気づかってくれている	1	2	3	0
母親	④ 母は、私と一緒に行動したが、私の側にいつもいたがる	1	2	3	0
	⑤ 母は、私に何をすべきか・どのようにすべきか何時も指示している	1	2	3	0
	⑥ 母は、私の行動に口は挟まないが、いつも気づかってくれている	1	2	3	0

Q13 あなたと親ごさんとのつながりについてうかがいます。

下記の①～④の項目ごとに、右の欄からあなたに当てはまる選択肢を選び、番号1つに○印をつけてください。

*なお、ここで言う<親>とは、あなたの親ごさんあるいは配偶者やパートナーの親ごさんのどちらも含んでいます。

① 私は、親から住宅や家賃など住まいの援助を受けている	1 はい	2 いいえ	0 非該当
② 私は、親から上記以外の経済的援助 (金銭的、物質的) を受けている	1 はい	2 いいえ	0 非該当
③ 私は、親から日常的に自分や家族の世話をしてもらっている	1 はい	2 いいえ	0 非該当
④ 私は、親に経済的援助 (金銭的、物質的) をしている	1 はい	2 いいえ	0 非該当

Q14 あなたとあなたご自身の親ごさんとの関係は、現在いかがですか。当てはまる番号1つに○印をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 うまくいっている | 4 どちらかという、うまくいっていない |
| 2 どちらかという、うまくいっている | 5 うまくいっていない |
| 3 どちらともいえない | 0 非該当 |

[3] あなたの現在の生活についてうかがいます

***生活一般についてうかがいます**

Q15 現在、あなたのお住まいは次のどれですか。番号1つに○印をつけてください。

- | | | | |
|-------|--------------------|--------|-------|
| 1 一戸建 | 2 集合住宅（マンション・アパート） | 3 寮・下宿 | 4 その他 |
|-------|--------------------|--------|-------|

Q16 平日の睡眠時間は足りていますか。番号1つに○印をつけてください。

- | | | | |
|---------|-----------|----------|--------|
| 1 足りている | 2 ほぼ足りている | 3 少し足りない | 4 足りない |
|---------|-----------|----------|--------|

Q17 食事のしかたについてうかがいます。次のことについて、あなたはどのように思いますか。右の欄の当てはまる番号1つに○印をつけてください。

- | | | | |
|-------------------------|--------|-----------|-------------|
| ① 家族と一緒に食事することは楽しいと思う | 1 そう思う | 2 そうは思わない | 3 どちらともいえない |
| ② 一人で食べる食事は煩わしくなくてよいと思う | 1 そう思う | 2 そうは思わない | 3 どちらともいえない |

Q18 休日などの自由時間は、主にどなたと過ごすことが多いですか。下記の項目から当てはまる番号を3つ以内選んで、○印をつけてください。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 一人で過ごす | 6 仕事関係の人と |
| 2 親やきょうだいと | 7 クラブやサークルの仲間と |
| 3 子どもと | 8 友人と |
| 4 恋人や婚約者と | 9 その他の人（) |
| 5 配偶者やパートナーと | 10 自由時間はほとんどない |

Q19 あなたは、余暇をコンピュータゲームやビデオ鑑賞で過ごしていますか。頻度について、それぞれ当てはまる番号1つに○印をつけてください。またこれらをお使いの方は矢印にしたがって、SQにお進みください。

- | | | | | |
|-------------------|--------|--------------|------|----------|
| ① コンピュータゲームで遊びますか | 1 ほぼ毎日 | 2 休みの日はほぼいつも | 3 時々 | 4 ほとんどなし |
| ② ビデオ（映画）を観賞しますか | 1 ほぼ毎日 | 2 休みの日はほぼいつも | 3 時々 | 4 ほとんどなし |

[余暇をコンピュータゲームで過ごす方にうかがいます]

SQ19-1 あなたにとって、コンピュータゲームで遊ぶ<利点>などは何ですか。下記の中から当てはまる項目をいくつでも選んで、番号に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1 人に関わらず、ひとりで楽しめるのがよい | 4 他にやることがないのでやっている |
| 2 人・子どもと共通の話題ができてよい | 5 ストレス解消になる |
| 3 趣味の世界にひたれるのがよい | 6 その他（) |

[余暇をビデオ鑑賞で過ごす方にうかがいます]

SQ19-2 あなたにとって、ビデオを鑑賞する<利点>などは何ですか。下記の中から当てはまる項目をいくつでも選んで、番号に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1 人に関わらず、ひとりで楽しめるのがよい | 4 他にやることがないのでやっている |
| 2 人・子どもと共通の話題ができてよい | 5 ストレス解消になる |
| 3 趣味の世界にひたれるのがよい | 6 その他（) |

*心配ごとや困っていることに関してうかがいます

Q20 あなたは自分のことやご家族の生活のことで、近頃、心配ごとや困っていることやがありますか。
 下記の項目ごとに「心配ごとや困っていることの有無」と、そのことで感じる「ストレスの程度」について、それぞれ
 当てはまる番号1つに○印をつけてください。

*なお、専業主婦の方は、項目①～⑤については、[0 非該当]に○印をつけて、項目⑥からご回答ください。

	心配ごとや困っていることの有無		ストレスの程度				
	1 あり	2 なし	1	2	3	4	0
			非常に 感じる	かなり 感じる	少し感 じる	ほとん どなし	非該当
① 労働（または学業）時間について	1	2	1	2	3	4	0
② 通勤（または通学）時間について	1	2	1	2	3	4	0
③ 仕事上の（または学校での）人間関係に関して	1	2	1	2	3	4	0
④ 職場や学校での性差別・セクハラ・いじめに関して	1	2	1	2	3	4	0
⑤ 仕事や勉強でOA機器（パソコンやワープロ）を使うことについて	1	2	1	2	3	4	0
⑥ 仕事や勉強や将来に備えての、資格・能力・成績・地位に関して	1	2	1	2	3	4	
⑦ 家庭内の人間関係や家族の問題に関して	1	2	1	2	3	4	
⑧ 地域やPTAなどの人間関係について	1	2	1	2	3	4	
⑨ 家事・育児・介護など、家庭のことに関して	1	2	1	2	3	4	
⑩ 恋愛や性生活について	1	2	1	2	3	4	
⑪ 結婚（または出産）へのプレッシャーに関して	1	2	1	2	3	4	
⑫ 経済的なことに関して	1	2	1	2	3	4	

【上記で心配ごとや困っていることが「あり」とお答えの方へうかがいます】

SQ20-1 前問の心配ごとなどは、あなたにどのような影響をあたえていると思いますか。下記の1～18の項目から
 いくつでも選んで番号に○印をおつけください。

[精神的・心理的なこと]	1 仕事や家事・育児、勉強する意欲が減退した 2 生きる気力がなくなった 3 ある程度のストレスは何とかやっつけていける 4 励みになって、人間的に成長した
[人との関わりについて]	5 人付き合いがいやになった 6 いらいらして、周囲の人に当たった 7 結婚のチャンスをのがしたり、恋人を失った 8 結婚に興味なくなった 9 結婚生活を続けるのがいやになった
[体のことについて]	10 身体症状がでた（病気になったり、体調をくずした） 11 食欲がなくなった 12 食べ過ぎるようになった 13 たばこやお酒の量が増えた 14 性生活ができなくなった 15 性的欲求が減退した 16 性的欲求が増した
[その他]	17 特に影響を感じない 18 その他：以下に具体的にご記入ください ()

[共通質問 4ページ]

Q21 あなたは、心配ごとや困ったことが生じた時、話を聞いてもらったり相談できる方がいらっしゃいますか。
番号1つに○印をつけてください。

1 いる	2 いない
------	-------

[上記で、1 に○印をつけた方にうかがいます]

SQ21-1 どなたに、話を聞いてもらったり相談しますか。いくつでも選んで○印をつけてください。

1 同性の友人	5 配偶者・パートナー
2 異性の友人	6 上司・先生・先輩
3 恋人	7 その他 ()
4 親・きょうだい	

* 通信・情報環境についてうかがいます

Q22 あなたは、仕事以外でプライベートに以下の通信機器を使っていますか。〈使用の有無〉についてご回答ください。

① パソコン通信またはインターネットを使っていますか	1 使っている	2 使っていない
② 携帯電話・PHS・ポケベルのどれかを使っていますか	1 使っている	2 使っていない

Q23 あなたは結婚・出産・育児（子育て）等に関する知識や情報をどこから得ていますか。よく利用する情報源を3つ選んで、番号に○印をつけてください。

1 テレビ、ラジオ	7 職場で
2 書籍、雑誌、新聞、ビデオ	8 サークルなど、社会的活動の場で
3 医療、保健、福祉関係機関（病院、保健所、役所など）	9 学校教育の中で
4 市区町村の広報紙	10 パソコン通信またはインターネット
5 家族・親戚	11 電話相談
6 友人	12 その他 ()

[4] あなたが育ってこられた家族やその他の環境などについてうかがいます

Q24 あなたが〈中学生頃まで〉を過ごした地域は、次のどちらだったと思いますか。当てはまる方の番号に○印をつけてください。

1 市街地だった	2 市街地ではなかった
----------	-------------

Q25 あなたが〈中学生頃まで〉を過ごした所は、地域の行事・活動などが盛んだったと思いますか。あなたの考えに当てはまる項目の番号1つに○印をつけてください。

1 盛んだった	3 行事・活動などはほとんどなかった
2 盛んではないが、行事・活動はあった	4 わからない

[上記 1・2 に○をつけた方にうかがいます]

SQ25-1 あなたは地域の行事・活動にどのように関わっていましたか。

1 積極的に参加していた（時には運営に関わっていた）	3 ほとんど、関わらなかった
2 積極的とはいえないが、参加していた	4 その他 ()

Q26 あなたが〈中学生の頃〉の家族構成は主に次のどれでしたか。番号1つに○印をつけてください。

1 核家族（両親と子ども）	4 母親と子ども
2 三世代家族（祖父母と両親と子ども）	5 父親と子ども
3 単親（父親または母親）と祖父母と子ども	6 その他 ()

Q27 あなたが〈中学生から20歳頃〉まで、あなたの親ごさんは、あなたに対してどのような接し方をしていたと思いますか。父親・母親別に、表の上の欄の選択肢からあなたのお考えに近い項目を選んで、記入欄の番号にそれぞれ1つ○印をつけてください。

* なお、親ごさんが死亡あるいは事情があってわからない場合は〔0 非該当〕に○印をつけてください。

		1 そう思う	2 そうは思 わない	3 どちらとも いえない	0 非該当
父親	①父は、私の考えや感じていることなどに耳を傾け、聴いてくれていた	1	2	3	0
	②父は、私に対するしつけや規則を守る事に関して厳しかった	1	2	3	0
	③父は、私と一緒に行動したが、私の側にいつもいたがった	1	2	3	0
	④父は、私に何をすべきか・どのようにすべきか、何時も指示していた	1	2	3	0
	⑤父は、私の行動に口は挟まないが、いつも気づかってくれていた	1	2	3	0
母親	⑥母は、私の考えや感じていることなどに耳を傾け、聴いてくれていた	1	2	3	0
	⑦母は、私に対するしつけや規則を守る事に関して厳しかった	1	2	3	0
	⑧母は、私と一緒に行動したが、私の側にいつもいたがった	1	2	3	0
	⑨母は、私に何をすべきか・どのようにすべきか、何時も指示していた	1	2	3	0
	⑩母は、私の行動に口は挟まないが、いつも気づかってくれていた	1	2	3	0

Q28 あなたは〈中学生あるいは高校生の頃〉に、赤ちゃんや小さい子どもの世話をしたり・遊んだことがありますか。下記の左欄①～③の項目ごとに、右欄の当てはまる項目の番号1つに○印をつけてください。

① 世話をした経験（おむつの交換やミルクを飲ませる）	1 よくやった	2 少しやった	3 やらなかった
② だっこをしたりし、あやした経験	1 よくやった	2 少しやった	3 やらなかった
③ 一緒に遊んだ経験	1 よくやった	2 少しやった	3 やらなかった

Q29 あなたは、20歳くらいまでの間に（学生さんは現在までに）〈1か月以上、一人〉で生活した経験がありますか。当てはまる項目の番号1つに○印をつけてください。

1 経験がある 2 経験がない

↓
[一人で生活した経験のある方に伺います]

SQ29-1 一人で生活した経験はいかがですか。最も当てはまる項目の番号1つに○印をつけてください。

- | |
|---|
| 1 自由な感じ
2 自立した感じ
3 大変である
4 寂しい感じ
5 不安である
6 その他（ ） |
|---|

[5] 子育て観・結婚観・家庭観・生き方などについてうかがいます。

Q30 <子どもや子どもを生き育てること>について、[1 そう思う]または[2 そうは思わない]のうち、あなたのお考えに近い選択肢の番号に○印をつけてください。

	どちらかというと		3 わから ない
	1 そう思う	2 そうは思 わない	
① 子どもは、自分の生命を伝える存在として大切である	1	2	3
② 子どもは、社会の次世代の担い手として大切である	1	2	3
③ 子どもは、人々にうらおいや活気を与える存在である	1	2	3
④ 子育てには面白いことや発見がある	1	2	3
⑤ 子どもを生き育ててこそ、人として一人前である	1	2	3
⑥ 子育てによって、親は犠牲にするものが多い	1	2	3
⑦ 子どもの世話の大部分は、男親もできる	1	2	3
⑧ 私は、自分の子どもはかわいいと思う（思うだろう）	1	2	3
⑨ 私は、子どもが好きである	1	2	3

Q31 最近の<子育て環境>について、[1 そう思う]または[2 そうは思わない]のうち、あなたのお考えに近い選択肢の番号に○印をつけてください。

	どちらかというと		3 わから ない
	1 そう思う	2 そうは思 わない	
① 子ども産業（紙おむつ、離乳食、育児用品など）が盛んになってきたので、育児は以前より楽になった	1	2	3
② 子どもの世話をしながら働き続けると、多くの場合仕事上の不利益をまねく	1	2	3
③ 仕事と育児を両立させるための、保育制度・育児休業制度などが十分でない	1	2	3
④ 健診や保健指導サービスの内容がよくなった	1	2	3
⑤ 保育所や児童館など児童福祉施設が整ってきた	1	2	3
⑥ 乳幼児を連れて外出するには、交通機関や公共施設に不都合なことが多い	1	2	3
⑦ 親が安心して、子どもを遊ばせることのできる所が少なくなってきている	1	2	3
⑧ 子育てをする親や子ども達に対して、思いやりや共感性のない人が多い	1	2	3
⑨ 子どもの遊びでコンピュータゲームなどの一人遊びが増えたことは、子どもにとって好ましくないことだ	1	2	3
⑩ 幼いころから習い事や塾に通わせることが、過熱しすぎている	1	2	3

Q32 最近のわが国における、＜結婚しない人や、晩婚の人が増えている理由や原因＞について、[1 そう思う] または [2 そうは思わない] のうち、あなたのお考えに近い選択肢の番号に○印をつけてください。

	どちらかというと		3 わからない
	1 そう思う	2 そうは思 わない	
① 男性と女性の、それぞれの結婚相手に対する要求がくい違うためである	1	2	3
② 異性と知り合うゆとりやチャンスが少ないからである	1	2	3
③ 世の中が便利になり、一人でも生活が出来るからである	1	2	3
④ 束縛されずに、自由にしたい人が増えてきたからである	1	2	3
⑤ 親離れや子離れできない親子がふえてきからである	1	2	3
⑥ 対人関係が煩わしく、一人で生活している方が楽だからである	1	2	3
⑦ 対人関係や結婚生活で、失敗することが恐いからである	1	2	3
⑧ 結婚しなくても、非難されないからである	1	2	3
⑨ 女は結婚しなくとも、充実した人生を送ることができるからである	1	2	3
⑩ 男は結婚しなくとも、充実した人生を送ることができるからである	1	2	3
⑪ 伝統的なライフスタイルに縛られず、結婚・出産・子育て・仕事などに関することを自分の考え通りにしていきたいからである	1	2	3
⑫ 社会の状況を見ていると、将来にさほど夢が描けないからである	1	2	3

Q33 次のような考えについて、あなたのお考えに近い選択肢の番号に○印をつけてください。

- 1 「結婚や子どもに関する偏見や差別（*）がなくなれば、子どもを生む人や育てる人が今より増えるであろう」という考えがありますが、あなたはどのように思いますか。

* 偏見や差別とは、例えば次のようなことに対するものを指します。

[入籍していない、夫婦別姓である、婚外子である、ひとり親である、養子であるなど]

1 そう思う 2 そうは思わない 3 わからない

- 2 「夫が働き、妻は家事・育児を行う、という結婚における男女の役割観が変われば、結婚する人が増えるであろう」という考えがありますが、あなたはどのように思いますか。

1 そう思う 2 そうは思わない 3 わからない



[次ページからはあなたの結婚に関するお考え等をおたずねします]

以下のように、あなたの該当する調査用紙＜ピンク＞か＜ブルー＞のどちらかのみご記入ください。

*未婚・シングルの方（かつて結婚していた経験のある、離婚・死別した方を含みます） →→ピンクの調査用紙

*既婚者（配偶者またはパートナーのいらっしゃる方） →→ブルーの調査用紙

[6] 未婚の方・現在シングルの方に、結婚・出産・育児などに関するお考えをうかがいます。

M1 あなたの結婚に関するお考えなどは、次のどれに当てはまりますか。番号1つに○印をつけてください。

- | |
|-----------------------------|
| 1 結婚するつもりが相手のいるが、時期を待っている |
| 2 現在相手はいないが、早く結婚したい |
| 3 現在相手はいないが、ある程度の年齢までに結婚したい |
| 4 理想的な相手が見つければ、結婚したい |
| 5 結婚はしたくないが、パートナーとなる人が欲しい |
| 6 一生結婚するつもりはなく、パートナーもいらさない |
| 7 その他 () |

M2 現在、未婚またはシングルでいる理由を以下の中から、3つ以内選んで○印をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 年齢がまだ若い | 9 結婚生活に自信がない |
| 2 必要を感じない | 10 従来結婚形態がいやだから |
| 3 適当な相手が見つからない | 11 異性に興味がない |
| 4 仕事(または学業)が忙しい | 12 家族の世話をするため |
| 5 仕事(または学業)に打ち込みたい | 13 結婚はめんどろ |
| 6 自由や気楽さを失いたくない | 14 相手の都合 |
| 7 健康上の理由・身体的な理由 | 15 その他 () |
| 8 経済的、物理的理由 | |

M3 あなたは、何歳ぐらいの時に結婚したいですか。番号1つに○印をつけてください。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 24歳までに | 4 40歳以上 |
| 2 25～29歳頃 | 5 年齢にはこだわらない |
| 3 30～34歳頃 | 6 結婚するつもりはない |
| 4 35～39歳頃 | |

M4 あなたには結婚生活で、<犠牲にしたくないもの>と<犠牲にしてもよいもの>がありますか。1～4の当てはまる項目の番号に○印をつけてください。あるとお答えの方は、下記の選択肢から各々2つずつ選んで()内に番号をご記入ください。

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1 <結婚生活で犠牲にしたくないもの>がある→ 項目番号 () () | ← |
| 2 <結婚生活で犠牲にしてもよいもの>がある→ 項目番号 () () | ← |
| 3 何も犠牲にしたくない | |
| 4 結婚するつもりはない | |

選択肢

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 現在の経済水準 | 5 自分の姓(苗字) |
| 2 現在の職場(仕事) | 6 自由な時間・行動 |
| 3 現在の居住地(住居) | 7 生き方(思想、主義、宗教) |
| 4 親との同居 | 8 その他 () |

M5 あなたは現在、あなたの結婚に対するプレッシャーを周囲から感じていますか。番号1つに○印をつけてください。

- | | | | |
|----------|----------|---------|--------|
| 1 非常に感じる | 2 かなり感じる | 3 少し感じる | 4 感じない |
|----------|----------|---------|--------|

[結婚に対するプレッシャーを感じている方にうかがいます]

M5-1 プレッシャーはどなたから、あるいはどこから感じますか。いくつでも選んで○印をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 親から | 5 友人から |
| 2 きょうだいから | 6 地域・近隣の人から |
| 3 親戚から | 7 ばく然と |
| 4 職場で | 8 その他 () |

M5-2 プレッシャーに対して、どのように思ったり、行動していますか。番号1つに○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1 あせるが、具体的な行動はしていない | 4 反発する |
| 2 あせて、具体的な行動を起こしている | 5 その他 () |
| 3 自分は自分だから、あせらない | |

(裏面へ続きます→)

M6 あなたは個人の紹介によるお見合いをしたことがありますか。

1 はい 2 いいえ

M7 あなたは結婚相談所やお見合い紹介システムなどを利用したことがありますか。

1 はい 2 いいえ

* 子どもに関することをうかがいます

M8 あなたの理想としては、全部で何人くらい子どもが欲しいですか。当てはまる番号1つに○印をつけてください。

- | | |
|---------|------------------------|
| 1 欲しくない | 5 4人以上 |
| 2 1人 | 6 成り行きに任せる |
| 3 2人 | 7 わからない |
| 4 3人 | 8 欲しいが事情があってあきらめざるをえない |

[子どもが欲しくない方、欲しいが実際は理想より子どもの数が少なくなりそうな方にうかがいます]

MS Q8-1 子どもが欲しくない理由、理想より少なくなる理由を3つ以内選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 仕事や趣味を優先したい | 10 育児の社会的支援体制が不十分だから |
| 2 妊娠・出産が大変だから | 11 住宅がせまいから |
| 3 育児が大変だから | 12 教育費などお金がかかるから |
| 4 育児に自信がないから | 13 自然環境、社会環境がよくないから |
| 5 育児と仕事の両立が困難だから | 14 自分の遺伝子を伝えたくない |
| 6 子どもと暮らすのが苦手 | 15 少ない子どもに手をかけて育てたい |
| 7 健康上の理由 | 16 男女（夫婦）関係を大切にしたい |
| 8 年齢的な理由 | 17 配偶者やパートナーが欲しがらないから |
| 9 育児に家族の協力が得られないから | 18 その他（ ） |

[7] 公的サービスについてうかがいます

Q34 国は平成6年、少子化の対応策として「エンゼルプラン」を発表し、次のような重点施策を打ち出しています。現在および将来を考慮して、この中から最も力を入れて欲しい施策を3つ選んで○印をおつけください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1 育児休業中の所得保障の充実 |
| 2 育児期間中の勤務時間の短縮や全体の労働時間の短縮 |
| 3 保育施設・保育サービスの充実 |
| 4 安心して子どもを生み育てることのできる母子医療・健康支援体制の充実 |
| 5 良質な住宅の供給（職住接近、子育て家族向き） |
| 6 子どもに安全な遊び場や文化・スポーツ・自然などの活動体験メニューの充実 |
| 7 ゆとりある学校教育の推進（環境整備、受験競争の緩和など） |
| 8 家庭教育や子育ての支援（相談体制） |
| 9 子育てにともなう経済的負担の軽減（保育料、児童手当、税制上の措置） |
| 10 その他（ ） |

Q35 もし仮に、子育てに関する公的サービスや雇用環境が充実したら、今より子どもを生み育てる人が増えると思いますか。

- | | | |
|------|-------|---------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 わからない |
|------|-------|---------|

*** 以上で、未婚およびシングルの方への設問を終わります。ご協力ありがとうございました***

* 最後にわが国の非婚・晩婚や少子化の傾向について、ご意見ご提案がございましたら、余白にご自由にお書きください

[9] 公的サービスについてうかがいます

Q34 国は平成6年、少子化の対応策として「エンゼルプラン」を発表し、次のような重点施策を打ち出しています。現在および将来を考えて、この中から最も力を入れて欲しい施策を3つ選んで○印をおつけください。

- | |
|--|
| 1 育児休業中の所得保障の充実 |
| 2 育児期間中の勤務時間の短縮や全体の労働時間の短縮 |
| 3 保育施設・保育サービスの充実 |
| 4 安心して子どもを生み育てることのできる母子医療・健康支援体制の充実 |
| 5 良質な住宅の供給（職住接近、子育て家族向き） |
| 6 子どもに安全な遊び場や文化・スポーツ・自然などの活動体験メニューの充実 |
| 7 ゆとりある学校教育の推進（環境整備、受験競争の緩和など） |
| 8 家庭教育や子育ての支援（相談体制） |
| 9 子育てにともなう経済的負担の軽減（保育料、児童手当、税制上の措置） |
| 10 その他（ ） |

Q35 もし仮に、子育てに関する公的サービスや雇用環境が充実したら、今より子どもを生み育てる人が増えると思いますか。

- | | | |
|------|-------|---------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 わからない |
|------|-------|---------|

*** 以上で、既婚およびパートナーのいらっしゃる方への設問を終わります。ご協力ありがとうございました***

* 最後にわが国の非婚・晩婚や少子化の傾向について、ご意見ご提案がございましたらご自由にお書きください



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要 旨:

我が国の少子化は大きな社会問題となっている。少子化の原因の究明に当たり、社会環境が結婚・出産・育児に及ぼす影響について検討した。研究は、全国の既婚・未婚の20代から30代の男女合計7,078人を対象としたアンケート調査、小児保健・児童福祉等の分野での指導的立場の人材からの少子化に関する意見聴取調査、3歳児神話などの我が国の伝統的な育児に関する文献的検討、の3方法によって実施した。その総括的な結果としては、わが国の伝統的結婚観や育児観のもとに、個人の自由を大切に束縛されたくないという気持ちが底辺にあって、結婚や育児を躊躇させる要因となっている。そのうえに、経済的理由が今日の若者の晩婚や非婚の原因となっていることも確認された。さらに、出産に障害を及ぼす要因に関しても、経済面や仕事と育児の困難性をもたらしている今日の諸制度の不備な状態をあげることができる。また、少子対策に関しても地域特性を十分に配慮した子育ての経済的支援、保育体制の整備等が必要であることも確認された。